

2012/3/26

古いマシンを維持するのは大変だと思います。でも、良い味を出していました。



トリミング後、上書き保存をしてしまい元画像喪失(泣)

2012/2/16

妻が使っているIBM_A22に代わるパソコンを考えています。使用パターンを考えるとiPadが最適なのですが、Macmini(coreduo)を使ってもらえると元手がかかりません。ところで、AppleはHPで2012年夏にOSX10.8山ライオンを発売予定とリリースしていました。こうなるとMacmini(i5)10.7からのup-to-dateプログラムの発表があるまで購入は見送りですね～。

D525mwは、2GB*2 DDR3 800MHz、SATA 3.0 Gb/s。新MacminiからDDR3、旧MacminiからHDDを移植すれば追加費用はかかりません。D525MW(wXP)を妻に使ってもらい、Macmini(i5)を買ったらMacmini(coreduo)にwXPをインストールすれば良いと思っていました。ところが、D510MOでは廃止されていたATX12V(2*2)ピンがD525MWでは復活しています。

1. D525MWとDDR3-1333/4GB*2を買う
 2. A22に組み込んでみる
 3. wXPが稼働する →めでたしめでたし
 4. A22(の電源)では動作しない→HDD購入を待ち、D945GCLF2と入れ替える
- ということか。

2012/2/3

OM復活の賑わいもパナセンサーで沈(ぶ)。でも、格好良いと思う。手にしたくなると思う。XZ-1を買うけど。

2012/1/29

SLRのデジタル化にあたって、旧来のマウントを継承したメーカーは混乱なく移行したと思いますが、「デジタル最適化」をしたOlympusは2003年10月に4/3初号機E-1を発売し、2008年8月にmicro4/3を発表しました。その後のコタゴタは思い出したくありませんが、事実上4/3はDisconの雰囲気です。冷静さを装っていえば、「光学性能を引き出すベクトルの4/3には同意したが、電子補正を前提にしたmicro4/3には馴染めない。」

2012/1/29

fedora16も落ち着きヒマ～。で、久しぶりに天気も良かったので、ネコ干をしながらsm@rtfor2coupemhdの洗車をしました。それでも時間があつたので庭の花を撮影しました。やはりE-300が吐き出す絵はいいわ。



E300+ZD35。外部露出計を使用。白は白く。



E300+ZD35。外部露出計を使用

2012/1/25

OSXの「`sudo dd if=/path/to/fedora.iso of=/dev/diskN bs=1m`」で作ったUSB-Flashメモリ(※)は職場のPCを起動させました(♪)。

※transcendのJetFlash600(8GB) 『先進のデュアルチャンネルテクノロジーにより200倍速の高速データ転送スピード』

2012/1/24

『S3』や『SP』を復刻させたNikonには意味も意義も見いだせるのですが、製品名として『PEN』を復活させたのは販売目的以上の意味を見いだせないのです。本当は新しい価値を作って欲しいところなのですが、今度は『OM』を復活させるようですね。昔どこかで読んだのですが、焦点距離を1/2にするワイドコンバータをつけたレンズは4/3でライカ版の画角を再現できる。それくらいのことはして欲しいね。

2012/1/23

記事を移動しました。

2012/1/19

記事を移動しました。

D525MWを買うところでした。D510MO以降のIntel製Atom_M/BにはPATAがないので、インストール時だけ必要なODDも、タイの水没以後高値どまりなHDDも新調しなければです。これでゆっくり中古板を探すこと

ができます(えへ)。ところで、MacminiでLionのリカバリーにUSBフラッシュメモリが使えるはずですし、Fedoraインストール用ODDの代わりにと、TranscendのUSB-Flash(8GB)を買いましたが、D945GCLF2の起動させるには至りませんでした。

D525MWも最新というには古いし、中古でみつけたFoxconnのD41s(single-core,DDR2,GbE,SATA)で間に合わせようかとも思った。2011年末にAtomが2Ghz超の報を聞いた気がするが、あまりやる気はないのだろうか？

2012/1/14

昨日のこと。借りたDDR2(800)2GBをD945GCLF2に挿してFedora16のinstallを試しましたが、相変わらずインストール後に起動できません(x86_64版)。もうこれはBIOSのupdateしか手がないなと。で、今日BIOSをupdateした後i386版で試してみましたが、結果的にはダメ。もしやU-ATAのHDDは非サポートか？と思い、Macmini(coresolo)純正S-ATAにinstallしてみましたが大ダメ。F16はあきらめます。

2012/1/7

Nikon_ED50+DSx16 → VCA-1+3649 → ステップダウンリング 55mm→49mm → コンバージョンレンズアダプタ CLA-12 + XZ-1 これでXZ-1でデジスコができそうな気がしてきた。

2012/1/6

一眼レフでもレンズ付きフィルムも『フルサイズ』だったわけで、この言葉に特別な意味はありませんでした。『フルサイズ』デジカメが登場しなければ、『フルサイズ』はフィルムでしか撮影できなければ、フィルム市場もスキャナ市場も今とは違っていたかもしれませんね。NikonのD-SLR旗艦機、Canonの新機軸コンパクト旗艦機？と、新製品の発表が続きそうです。センサーが小さくなるにつれレンズの精度はシビアになりますが、最適なセンサーのサイズってあるのでしょうか？
kodakの名が永く語り継がれることに疑いはありません。

2012/1/4

D945GCLF2にFedora16をインストールできない問題は、搭載RAM(1GB)が原因かもしれません。D510MOもDDR2なので、DDR2-800の2GBとHDDを買ってFedora16に再チャレンジするのも手ですが、まあ中古でOKとしても、2010年1月発売というのは悲しい。一方、D525MW(2010年11月発売)はMacmini純正メモリを流用できるので、Fedora15のサポートが切れるまでにMacminiを更新し、D525MWとHDDを買うのがベターでしょう。D525MWはで、2011年末にatomが2Ghz超えを
で、問題になるのは光学ドライブですが、USBフラッシュメモリからPCを起動させ、HDDにインストールさせることができるらしいのは助かります。

2012/1/3

気がついたら年が明けていました。



2011/12/25

2011年も残りわずかですが、初めて口にしたデザートワインがこれ。アイスワインと思い込んでいましたが、貴腐ワインでした。



モンバジャック(仏)

その後MONBAZILLACには巡り会えず、ドイツのアイスワインを挟みながら、代わりに飲んでいたのがTOKAJI。これはMONBAZILLACには感じられない樽の香りのようなものがありました。



トカイ(ハンガリー)

で、最近手に入れたのがこれ。モンバジャックと通じる口当たりの良さがあり、お値段はすこぶるリーズナブル。私はアルコールに弱く、ワインは一度に10ccくらいしか飲めない。はっはっは。



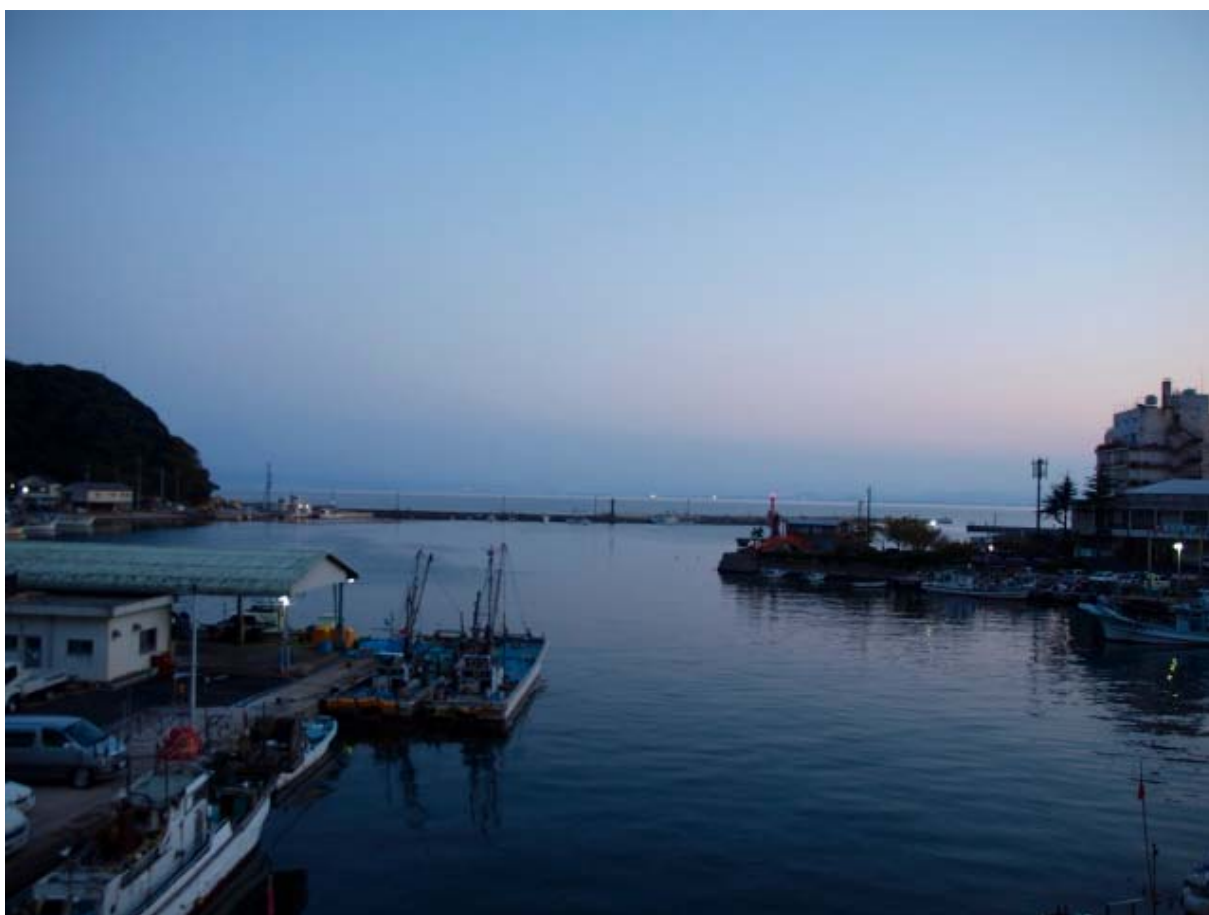
ソーテルヌ デロール

2011/12/19

smb.confの設定方法を忘れてしまいました。結構複雑なことをしていたのですね。
iBook13インチ(白)を使い始めたころからHHK-Lite2(USベージュ)を使い始めました。当時(今も)使っていた幅90cmのテーブルでも、HHK-Lite2の右横にマウス操作をするスペースを確保できます。コンパクトながら機能に制限がない点が気に入り、職場でももう一台のHHK-Lite2を使っています。その職場用HHK-Lite2のキーが効かなくなることが頻発するので、昨日マイクロファイバーの布でシートを拭きあげました。買い替えなくて済めば吉なのですが。

2011/12/17

D945GCLF2/Fedora15の運用に入りました。大切なデータの保管を頼みますね。で、一連の整理で再発見した、私の初めてのデジカメだったFinepix_i40で撮影した写真(上)と、その数年後同じ建物からE-620+zd14-54IIで撮った写真(下)。かわり映えがなくて鬱。



2011/12/14

upは急っていましたが、随時更新していました。

昨日、D945GCLF2/Fedora15はAppleTalkファイルサーバ(懐かしい表現)としてテスト稼働を始めました。OSX10.7対応のnetatalk-2.2系列です。OSのない外付けHDDは大切な写真を託せませんね。で、私が初めて運用する64bitOSはFedora15でした。Fedora17に備え、6月までに500GB級HDDを買います。そのサイズ

なら2.5inchでも良いかもですね。

2011/12/12

Fedora16リリースによりFedora14は2011年12月でサポートを終了すると知ったので、F16のクリーンインストールを試みていました。x86_64版、i386版、改めてDLしたx86_64版、terrentでdownloadしたx86_64版(全てDVD)を使いましたが、インストールは完了するもののHDDから起動しません。どのDVDも起動するとエラーメッセージを出すし、なんか変。Fedora15のx86_64版は起動したので2012年6月までF15を使うことにします。

ところで、今回は新しい内蔵HDDの調達を見送った(タイの水害影響で品薄)ので、撮りためていた写真の整理ができたのは大きな成果でした。昔の写真は、当時使っていたiPhoto2とかiphoto4が作った重複データやサムネイルの整理が大変で、最後は目と手で削除しました。OlympusViewer2は歴代コンパクトデジカメで撮影したjpeg書類のリネームができたので助かりました。

もっとも古い写真は2001年に200万画素のFinepix_i40で撮影した最大でも1.4MB位のJPEG画像たちだがモニターで見ると十分。JPEGは将来も互換性が維持されると思うが、機種別にユニークなRAWデータは心配ではある。当時の環境を再現できる仮想化はありがたいかもだが、現にDxO_OpticsはE-300に非対応。まあ、Olympusが存続する間は大丈夫だろうし、社外ソフトとしてApertureの動向を注意しておけば足るか。

2011/12/5

普段使いのMacminiに対してXZ-1はある種の記念撮影を目的に考えているので、XZ-1に目がいくのは仕方ないですね。で、Macminiより先にXZ-1を買ったとしてもMacminiで処理することに違いがある訳じゃないと思ってしまいますが、Macmini優先は揺るぎませんよ。山歩き用カメラは初夏までに買えば間に合いそう(※)ですし、使用頻度が違いますよ。で、OpenCL対応の独立GPUを装備しているのでMacmini_2.5Ghzを購入予定なのですが、OpenCLに対応したソフトウェアの導入予定がないところが悩ましい。2.3Ghzモデルで良いかとも思います。メモリは8GBですよ。

※ ライカ版換算28mmに絞りこむと、中古機が¥20k円台から手に入るSIGMA_DP1も選択肢に入る

2011/12/1

来春はD945GCLF2のFedoraをアップグレードする時期で、それを機に内蔵HDDの交換を考えています。まあ、内蔵電源もどうにかしたいのですけどね。Macminiの更新を最優先させますが、欲しいものは尽きません。

『ウッドフォード氏辞任』と聞き、もうダメと思いました。『新たな経営陣を構成する取締役の候補者を提案し、株主に判断の機会を提供するために、臨時株主総会を招集することをここに正式に求めます。』(出典: <http://www.olympusgrassroots.com>)とのこと。しかし、上場維持のためには12/14までに決算報告だったはずだが、大丈夫なのだろうか？

2011/11/29

RAW記録できるコンパクトデジカメの別の選択にCHDKを見つけました。デジスコやさん推奨現行モデルIXY_210FはCHDK版firmwareは未リリース。先代推奨モデルIXY_30S(IXUS300HS)はfirmwareもアタッチメントも出ています。

話は変わりますが、密封Boxで保存中の銀塩フィルム。年に一度くらい風通しをしています。デジタル化をしたいと思わないではありません。今ではフラットベット型でも往年のフィルムスキャナに遜色ない出力を何とか。Epson_X970の1ヶ月間レンタルを見つけたので、頃合いを見てやってみたいです。Macmini更新後じゃないと気が遠くなるでしょうね。

2011/11/27

暖かい週末でしたのでガラス磨きをしました。

XZ-1。fotopusを見ると、CCDだからなのかzuikoの血統なのか、E-300を思わせる作例も散見できます。E-300のサブカメラになりそうというか、XZ-1だけでもやっていけそうな気がします。とりあえず山歩き用品を探し中。

落下しない工夫とぶらぶら揺れない工夫をしてリュックの肩ベルトにデジカメケースを装着しようと思っている。Olympus純正のCSCH-84はレンズ部にふくらみがあるクラシカルな形状でベルトを通せる優れものだが横収納だから収まりが悪い。

ケース: ナショナルジオグラフィック_NG1149

カメラの軽量化分、TAMRAC_ZIP_SHOT(1,120/380mm/312g)を持ち歩こうかと思ったが、構造的に足の長さを調整できないらしいので止めた。

2011/11/22

次期購入カメラは、会社または光学機器部門の存続を条件にOlympus_XZ-1で、購入時期はMac_mini購入後とします。ただ、コンデジでレンズのMTFチャートが公表されているのは希有なこと(G12とP7000は未公開、X10は数値の表記がない)と分かったので、条件が整わない場合でも中古機を購入する方法は留保しておきます。で、2.5GHz_Mac_mini(core_i5,AMD Radeon HD 6630M)を買いたいです。

2011/11/21

MTFチャートと空間周波数を整理します。XZ-1は低周波は厳しく高周波は甘い基準といえます。もっとも、Nikon1(x2.7)のレンズは20本/60本の表示ですし、Nikon_DXレンズ(x1.5)はFXレンズと同じ10本/30本。各社とも何らかの基準があるのでしょうか。ね。

MTFチャート	35mm	4/3	XZ-1
クロップ	x1	x2	x4.67
コントラストの指標	10本/mm	20本/mm	50本/mm
解像度の指標	30本/mm	60本/mm	100本/mm

2011/11/20

山登り用カメラにはOlympus_XZ-1も選択肢に入ることになりました。D-SLRでCCD機が選べない今となっては希少な1/1.7CCDですし、レンズのMTFチャートで空間周波数をセンサーサイズに対応させているのも光学機器屋の良心を感じます。企業としての在り方は問われていますが。Canon_S95はフィールドスコープと接続できますが間もなく市場在庫もなくなるでしょうね。

	ボディ	キットレンズ	標準ズーム	
E-620 (CMOS1.2M/x2)	130*94*60/約521g(475g)	ZD_ED14-42 f3.5-5.6/190g	ZD14-54 f2.8-3.5II/440g	約711g/961g
E-PL1s (CMOS1.2M/x2)	114.6*72.2*41.5/342(296)g	MZD_ED14-42 f3.5-5.6/150g	+MMF-2/41g	498g/823g
E-PL2 (CMOS1.2M/x2)	115.4*72.7*42.0/362(317)g	MZD17f2.8/77g	MZD14-42f3.5-5.6 II /112g	439g/474g
XZ-1 (CCD1.0M/x4.67)	110.6*64.8*42.3	iZD6f1.8~24f2.5		275g
S100(CMOS1.2M/x4.61)	98.9*59.8*26.7	5.2-26f2.0-5.9		198(178)g
Nikon1_V1 (CMOS1.0M/x2.7)	113*76*43.5/383(294)g	10f2.8/77g	10-30_f3.5-5.6/115g	460g/498g

2011/11/15

週末、登山口200m→(352m→379m→350m→)605mに登りました。352mからの眺めは良かったのですが、その後は尾根伝いに樹木の間を縫うパターンで地形図に表れないupdownが多く、精神的に疲れました。今回はE-620+ZD14-54IIを持って行きましたが、やっぱり無理を感じました。しかし、COOLPIX_S5では二度とはない瞬間を撮るには心もとなく感じるのです。

それで、RAW記録できないコンデジよりましと割り切ってZD_ED14-42を買い足すのも良いかと思ったり、ZD14-42のメーカーオンラインショップ価格と同価格帯でamazonが販売しているE-PL1s+MZD14-42を買うか、否E-PL1sはモニタがしょぼいとか、中古ZD_ED14-42を¥7k~¥8kで買っても「山にはやっぱり無理」となった時にどうするかとか、考えています。

もう一つ、私が山で良く使う焦点域は広角域なので、広角単焦点という選択も出てきます。

1回の山歩きで5回は使用しないので、E-620+ZD14-54IIの約1kgは客観的に無駄な重量か。V1はEVF内蔵だがE-PL2は意外と健闘。V1はデジスコにも使える強みがある。

2011/11/7

11/2に妻と1787mに登りました。「1384mの登山に比べたらハイキングだよ」と侮っていましたが、空気が薄くて(うそ)それなりに大変な目に逢いました。というのは天候で、曇り時々晴れの予報でしたが、現地到着時は霧+強風。開始後しばらくは「いつ引き返そうか」と心配しましたが、登るにつれ天候の心配は薄れていき、1787mの山頂では数分間でしたが下界が見えました。少し下った避難小屋周辺で昼食を摂っているとパラパラと降雨。それは数分で止んだので、1762mを目指していると降ってきました。折しも岩が多くなりトレースが分からなくなっていたので避難小屋周辺まで引き返しました。雨は止みそうになかったし周りの

人は行動していたので、衣類の撥水性を頼りに下山にかかりました。幸い雨は途中で上がり、霧も晴れ、景色を楽しむことができました。雨対策の大切さが分かった登山でした。妻はお正月登山も考えているので、後日2人分の風を通さないフード付きの上着（非ゴアテックス）と、私の厚めズボンを買いました。C3fitパフォーマンスの効果か妻のペースが速く、翌日も筋肉痛はなかったことが救いでした。

登山地図に書かれていた避難小屋周辺から1762mまでのルート確認が甘かったと反省。当日の天候が良くないことは登山開始時と昼食時に分かっていたことで、昼食後下山するべきだった。地形図にはそのルートはなく、現地は笹やぶにトレースがついていたものの同行者はいなかった。そのまま進んでいれば1762mに着いた可能性はあるが、引き返すタイミングとしてはラストチャンスだった。

2011/11/4

雪豹はLeopardのUpgradeインストールだったし、少し前から入力モードの切り替えがもたついていたので、Mac_mini/OSX10.6のクリアインストールを行いました。Homeディレクトリ.tar.gzを別のボリュームに退避させ、起動HDDをフォーマット、OSXをインストールするまで数時間を費やしました。更に、OSXのマイナーバージョンを上げ、セキュリティアップデートをかけます。これでようやくOS環境が整ったので、Xcode3.xをインストール。clamAVのmake、make install、freshclam、clamscanを自動実行させる設定(Lingon)を行いました。が、残念ながら目に見えた効果はありません。32bitCPUはOSXの次期アップグレードでは非対象機種となると思っていますので、諦めはつきますが・・。
ところで、最新のXcode4は有償で雪豹には非対応。

2011/10/28

玄関の外灯が点かなくなったので蛍光灯を買いに家電量販店へ行くとPentax_QもNikon1も展示していました。Pentax_Qのレンズを取り外して「小指の爪の半分くらいの」1/2.3インチCMOSを初めて見る事ができました。ズームレンズを付けても手のリサイズでしたが、物欲は沸き上がりませんでした。
次にNikon1。J1には特に感じるものはありませんでしたが、V1を手にとりファインダーを覗くと「これかも」と思いました。
また、E-PL2を手にとるとちょうど良いサイズですが、モノとしての凝縮感がなかった。例えるなら初代EUNOS.Roadstar(NA)のトランスミッションのカチツとしたつくり込みというか。で、家に帰るとダイニングの蛍光灯も1本切れて鬱。

2011/10/26

昨年からの課題だった自動車のボディコーティングを済ませたので、新しいお買い物の計画を練るとします。
まずは2007年に購入したMac_mini(coresolo改coreduo)の更新。予算と設置場所の関係からiMacは難しいので、Mac_miniになると思います。ただ、2012年モデルが採用するであろうOpenCL対応のIvy Bridgeを待ちたい気持ちもあります。
次にカメラ。山歩きに持って行くことを考えるとミラーレスでしょうね(※)。最近騒がしいOlympusから選ぶとすると安価になっているE-PL2。ZD14-54IIやZD35を活用できますが、鳥撮り用カメラが別途必要。メーカー純正鳥撮りカメラの現行製品はcoolpix_P300+FSB-8ですが、私は何世代前の機種だろう？のcoolpix_S5+FSB-5。コンデジくらい買い替えを楽しむのもありかも。別の選択としては1台で山歩きも鳥撮りもカバーできるPentax_QとNikon1ってところですね。

※先日の1383m頂上では私より年上と思しき方がNikonの中級機以上のD-SLRを振り回していた(三脚も持っていたと思う)。要は荷物の重量に負けない体力があればよいわけで、今は4kgの水を背負って30分を脈拍110~120/分で歩いている。体力に自信がついたらD-SLRを持って山歩きをするもよし。

2011/10/21

「Adobe InDesign CS5.5 7.5.2 update for Macintosh」に反応してしまう私は漢字talk7.1からのmacユーザ。

BORGによるとNikon1はレンズを取り付けないとAE及び露出計が機能しないとのこと。つまり、Nikon1_J1(V1)で直焦点撮影をしようとすると、もちろんMFですし露出計のない状態でマニュアル露光をすることになります。こうなってくると、口径60ミリ焦点距離400ミリの望遠鏡が、35ミリ換算2200ミリF6.6の超望遠レンズとなるPENTAX_Qが魅力的。

35ミリ換算1000ミリ級の状況を整理すると、

ベンダー	カメラ	デジスコ(コリメート)	直焦点	
nikon	COOLPIX_P300	FSB-8	なし	RAW記録非対応
野鳥写真研究室	nikon1_J1	10-30用、10-100用		電子シャッター
BORG	PENTAX_Q		Tマウントアダプタ	電子シャッター
	Nikon1		Tマウントアダプタ	露出計非連動

2011/10/10

春に登った1684mの東峰1683mに妻と登りました。私はVAAMとPRW-2000とE620の性能確認をしました。まず、E620。今回はISO100で撮影したせいか、春登山で気になったノイズはほとんど目立ちません。また、今回は「ケンコー・トキナー アオスタプロ1D2 ZB-S」を使いました。登りはヒップバックにしていたので撮影したいときは気軽にカメラを取り出せたのですが、動きを制限される感じがしていたので頂上付近の鎖場でリュックバックに収納しました。するとカメラを取り出すためにリュックをおろす必要が出てきますよね～。D-SLRを山に持っていくのは無理かな、と思っています。

PRW-2000は標高測定で重宝しました。地形図から登山口の標高を読んで入力していたのですが、山頂では1680(後刻1690)mと満足できる数値を示していました。現在地確認ができるポイントに乏しい登山道でしたが、標高表示を参考に、計画的な登山ができたと思います。

最後にVAAMですが、使用したのは運動前に飲むVAAMゼリーで、約1時間前に摂取。春の登山より約2Kgの装備重量増(水1L、コンロ関係)のせいか、山頂までは正直きつかった。でも、翌日以降は日常生活に支障がないレベルの筋肉痛でしたし、効果はあったと思います。

余談ですが、妻はアミノバイタルと杖、C3Fitサポートロングタイツを装備して臨みましたが、翌日の筋肉痛に苦しんでいました(うふふ)。



雲が湧き立つところ

律儀にその名の時期に咲いた彼岸花と今年最高のバラ。



相変わらず良い色。雄しべが残念だったが。



2011/9/26

ファインダーさえ無駄と割り切ったデザインのJ1と、J1に軍艦部を追加したようにも見えるV1ですね。CXフォーマットなのだから「Nikon CX-V1、Nikon CX-J1」とでもすれば良かったのにとおもいます。ところで、「野鳥写真研究室」によると、ニコンEDGシリーズのアイピースとVR10-30の相性は良さげとのこと。ニコン

EDGは高額なので、EDG専用となるとちょっと手が出せない。天体望遠鏡も視野に入れるべきでしょうね。で、アイピースを使った拡大撮影を考えるとm4/3もメイン機材となりえますね。

2011/9/20

何度目かの正直になるか？のnikon社ミラーレスカメラ。買った場合は鳥撮りと山歩き用になるので、coolpix_p300の後継機に注意しながらニコンビジョンの出方を伺う作戦です。ところで、BORG開発者blogでは試作アダプタでPentaxQのカワセミ写真などを掲載しています。若干「塗絵」っぽい部分も見受けますが、COOLPIX_P300+Nikon ED50でこれ以上の画像が残せるとは思えません。まあ、RAW記録する場合は秒1コマとかシャッターがないから被写体が歪むとかカメラの性能には疑問が残りますが、レンズの分解能が優れていればx5.6クロップは生きてきますね。

モータ内蔵絞リ環なしFマウントレンズが純正アダプタ経由で使えるという噂だが、高額な超望遠レンズのx2.6クロップ画像を見て失望しないか心配だ。というのは、この手のレンズは『フルサイズ』用に設計されているが、噂通りの10M画素1インチセンサは約67M画素フルサイズの中央部1/6.7を切り出していることと同意。専用レンズ次第では恐ろしく精細な画像を吐き出すことになると思うが、センサが要求する空間周波数をレンズが提供できるか？に関心を持っておく。

SandyBridgeのcoreixはuOPキャッシュ搭載でした。Intelの次世代CPU「IvyBridge」はSandyBridgeのGPU強化版でopenCL対応のようです。

2011/9/6

『たるさんのHaswell予想その1』を読みました。uOPsキャッシュといえばNetburstですが、バイナリがuOPを吐き出すならx86命令をデコードする必要はないわけで。

全てのx86命令を逐一デコードすることを考えるとuOPsキャッシュは良い仕組みと思う。ところで、キャッシュ内に必要なuOPが見つからない時はメインメモリからx86命令を呼び出すのだから、仮定としてメインメモリにuOPがあればそれを呼び出すことは不可能ではないと思う。ダイ上に通常のキャッシュ(優先)とuOPキャッシュ及デコーダを搭載する。読み込んだ命令がuOPならそのまま処理し、uOPでなければトレースキャッシュ経由でx86命令を処理する。つまり「uOP」命令を処理する純粋RISCプロセッサへの移行。ただね、x86命令を個々のCPU内部で発行している内部命令をuOPsと称しているわけで、現状で「これがuOPだ」と定義付けられているコードはない。てへ。

起動ディスクが見つかりませ～んとIBM_A22(winOS)が言うので久しぶりにwinXPをクリアインストールしました。ちなみに、同OSの延長サポート終了は2014年4月8日。フレッツ光のアンチウイルス(トレンドマイクロ?)は、Celeron1.3Ghz/512MB-PC133)には荷が重いと思う場面もあったので、clamavエンジンを採用したImmunet 3.0に乗り換えました。

PENTAX_Qのサンプル画像が出回るようになってきました。レンズにコストをかけた分、同じサイズのセンサを搭載するコンパクトデジカメより良い写りと思います。ただ、センサ面積が9倍のu4/3と画質を比べることはフェアではありませんが、未だメイン機として悔いなく使えるレベルではないと思う。MTF評価周波数が5倍にする?など、ハイレベルなレンズ加工精度や組立精度をクリアすればAPS-C機以上に精細な画像を出力するでしょうが、その際のコストは問題になるでしょうね。ボディにメカニカルシャッターを搭載していないことは致命的ですし、残念ですが購入は見送りです。

ようやくPRW-2000A-1JFを買いました。犬の散歩でも高度差を示しますが、日常使用では気圧計測が面白い。先週の台風12号の移動に伴って気圧が下がっていく様子がグラフで見てとれましたが、『どの位気圧が下がったら雨が降る』ってなものではないようで、「気圧が下降傾向にあって山歩き当日を迎える雰囲気なら雨具の用意をしておく」程度に考えた方が良いでしょうね。

2011/8/21

8/24に発表と噂されるnikonの新型カメラのリーク情報が入らないね。

e620を見限りろうと思っている理由なのですが、↓のe620で撮影した山の写真はどう鼻屑目に見てもノイズが多い。山歩き自体が修行のようなものですし、小型軽量の4/3システムですからカメラの重さに文句は言いませんが、「この程度の写りならCOOLPIX_S5で良い」と思ったのです。否、このときに限ってISO200だったのだと自分を納得させていたのですが、改めて見てみるとISO200で撮影した2010年秋の旅行先での夜景はノイズが目立つとは思えません。こうなると、山歩きときは熱ノイズを拾っていた可能性を考える必要があるかも。当日はプチプチ緩衝材にくるんでリュックに入れ、9分目くらいのところでリュックから取り出し首から下げて撮影しながら歩きました。秋の山歩きでe620で再チャレンジしてみるかな。

ここで言うことでもないが挑戦という言葉には同音異語があるので意識して使わないことにしている。再チャレンジ内容として

は、

1. ISO100にする。
2. 絞りは8までにする。
3. カメラ本体を温めないように心掛ける

くらいか。

ネオブレーンは耐衝撃性にも優れるからケースを探してみるか。

2011/8/21

見頃を過ぎた花2つ。桜もバラ科だそうです。長く咲いているほど花の色が薄くなって行きます。雨が上がった薄日の午前。露出計使用。普段はカメラ本体の中央重点測光ですが、バックの明暗を考えなくて良いから楽です。もともと柿色っぽい色のバラの花ですが、E-300はとんでもない発色をすることがあります。私にはこれ以上を望む必要はない写りです。

8/23はキヤノン、8/24はニコンとソニーから新製品の発表があるとか。





e620の未現像データを見つけました。



2010_三保関



2011_由布山



2011_由布山

2011/8/7

久しぶりに。





2011/8/4

『ARMの歴史は次の通り 1990年 - エイコーン・コンピュータ、アップルコンピュータ、VLSIテクノロジーのジョイントベンチャーとして創業(出典: <http://ja.wikipedia.org>)』

以前にも書いたと思いますが、ARMのベースとなったのは『MOS6502』で、MOS6502のベースはモトローラMC6800。MOS6502はAppleIIのCPUであり、ファミコンはその互換チップを搭載。その後AppleはMacintoshのCPUをMC68xxxからPowerPCにtransitionしつつ、NewtonMessagePadにARM610を採用。そのARM610は『同クロックの80486より?倍速い』と当時のMacPOWERに書かれていました。現CEOのjobsさんが復帰しNewtonプロジェクトをDiscon。PDAはマーケットシェアが小さいので再参入はしないと、『MacOS light』を発売するとかの噂程度の動きがありましたが、iPhone (iPodtouch)によりARM市場とPDAに再参入を果たしました。そして、MacintoshもARMにtransitionするか?との予測どころか、IntelがARMプロセッサを開発するとの噂も出ています。結果的には『世界を変えた』『砂糖水売り』ということでしょう。ただ、Apple A4でもcore_i5の性能には劣るわけですし、64bit対応しないとARMコアがMacintoshに採用されることはないでしょう。

一方、iOSデバイスは「メディアプレーヤ」から出発していますが、Macintoshはクリエイティブな作業を行うツールを基本としているはず。Macでwebブラウジングするのが日常だとしても、RAW画像の現像をストレスなくできる処理能力は欲しいわけです。

比較的コンパクトなCPUと主に並列処理を行う多数のベクトルユニット(から成るGPU)を一体化したSoCをMacで見たい。

2011/7/28

お買い物リストを更新しました。

スタジオで使われている(数分の1サイズの)コダック製フルフレームCCDを採用したOlympusE-1、E-300、E-500は貴重なコンシューマ機だったと思うし、今E-300ユーザであることを誇りに思います。また、今後CCDを採用するD-SLRは製品化されないと思うので、E-300+ZD35+ZD14-54IIをメイン環境とします。とはいっても、PentaxQが山歩き・鳥撮りをカバーする仕上がり具合なら、次期メイン機に据え置いても良いと思いますし、PentaxQが残念な製品なら1インチセンサと噂されるnikonのミラーレスに期待します。

そもそもCMOSイメージセンサはPDの出力をアナログアンプで増幅する点で「RAWといえる?」だし、sonyセンサのようにRAW出力の前段階でノイズ処理をやっているRAW現像でも塗絵になる可能性はある。

ミラーレス機をメイン機とするためには、マクロ(ニコンはマイクロ)レンズが欲しい。この点でZD35が生かせるu4/3が一步リードする。u4/3でZDレンズを使えば、ハンドリングは悪くなるが、4/3の「テレセントリック性」はそのまま生きる。

2011/7/20

Macminiがupdateしました。corei5採用は嬉しいですが、驚きの全機種光学ドライブなし。まあ、私は実際のところOSのインストールと音楽CDをiTunesにコピー？する時しか内蔵光学ドライブを使わないし、内蔵ODDがないならFirewire外付けドライブでしのげますけど。ところで、OSX10.7はネットワークインストールできるそうですが、クリアインストールをしたいときは『8月後半より、USBメモリに入ったLionをApple Online Storeにて6,100円で販売します。』を利用するしか方法がないのでしょうか？

2011/7/19

E-300をオリンパスのサービスセンターへOHに出しましたが、特に修理を要する箇所はないとのことでした。web申込を経てプレミアム会員割引を適用。

「トリミング」と「クロップ」を混同している節があるが、センサが記録した画像サイズを拡大する(画像サイズの一部を切り取ることを含む)ことがフィルム時代の「トリミング」に等しい処理と思う。フルサイズ用のレンズが分解した像の一部を切り取って記録するニコンD3の『クロップモード』はトリミングだが、4/3はセンササイズに対応したレンズ設計をしているので「フルサイズのトリミング」ではないと思っている。8.0M画素の4/3は32.0M画素のライカ版の中央部1/4に相当すると考えているので、E-300も今後数年は十分現役。KAFはフルフレームCCDというのも貴重だ。センサが小さくなるほどレンズは高い加工精度が求められるのだが、世の中の製品はその逆傾向。

2011/7/11

極小自動車の1年点検。妻は「エアコンはこれくらいしか効かない？」と言っていたので点検を依頼していたら、コントロールユニット不良とのことで保証対応。あと、純正ドリンクホルダを買いました。ナルゲンの広口500mLボトルをしっかりとホールドするすぐれものです。

代車は100,000km台を走行したsmartfour1.5。ダンパが抜けてブワブワする感じがあったがボディはしっかりしていた。エンジンは軽快で6速softech+はシフトチェンジのショックも小さく空走感も微小。ただ、トルコン風にクリープを演出しているので停止直前など、ぎくしゃくする。ロボタイズドクラッチを前面に押し出してクリープしない仕様とした方が独自性を出しやすかったと思う。どのみち絶版車だけど。

ところで、次期smartfortwoが“down sizing”の流れを受けて2気筒エンジンになるのか、dieselエンジンはどうなるのか、注目していこう。

2011/7/8

半導体製品である撮像素子の進化の方向性は従来大型センサーで実現できていた性能をより小型のセンサーで実現することだと思います。だから、小さいサイズのセンサの将来性を信じます。ところで、D-SLRのマウント面からミラーボックス内に埋没する形でバックフォーカスの短いレンズを作るとする。このレンズ装着時はミラーアップしているので、イメージャAFでのライブビュー撮影となる。ボディが任意のD-SLR規格に準拠していればそのD-SLR用レンズも利用できる。マウント周りが突出していないE-300のような形なら、流行りのレンジファインダー風外観で豊富な「過去の遺産」を利用できる。と思うんですよ。

2011/7/4

6/20の続きというか

nikon次第だが、次期鳥撮り及び山歩き用カメラはpentax_Q。
山歩き用腕時計はPRW-2000。ただ、電波機能が必要かどうか考えてしまう。
Macminiは引き続き様子見。
自動車のコーティングはMG-1で考え中。

2011/6/28

今度のE-PM1(と噂される機種)に興味あり。ZD14-54IIをE-PL1sに取り付けた時はAF動作にもたつき感がありましたがE-PL2ではスムーズに合焦したので最新機種は心配ないでしょう。でもね～、ZDレンズをu4/3ボディに取り付ける時はマウントアダプタを必要とする分ハンドリングが悪くなるし、E300を残すのでZD14-54IIとu4/3ボディのマッチングはそれほど重要ではないかも。
現状、E300+ZD14-54II/ZD35をメイン機、鳥撮り用coolpix_S5をバックアップ機として使っている訳ですね。Pentax_QはS5を代替しようと思います、

u4/3にはマクロレンズがないからメイン機とはなりにくい。Tマウントアダプタはあるがx2の換算率ではさみしいし、フィールドスコープに接続する市販アダプタはないので鳥撮り兼バックアップ機には向かないかも。今、E-PM1はどの位置にもはまらな

い。

2011/6/23

1/2.3型センサ搭載レンズ交換式デジカメpextax_Qが発表されました。x5.6のライカ版換算焦点距離、RAW記録対応はデジスコ用にも山歩き用にも期待できそうなスペックですが、3型46万画素の液晶モニターでMFができるか心配です。

リモートケーブルの類とTマウントが必要だが、望遠鏡直焦点の野鳥撮影には面白いと思う。

2011/6/21

Olympusが6/30に3機種 of 新型u4/3機を発表するという噂がありますが、そのうちの小型機種という画像が出回っています。レンズマウント部を凸状としてフランジバックを稼ぎ、他の部分を薄くするデザインにより、同社XZ1(1/1.6型センサー)並の外観サイズにしている模様。「レンズマウント凸部をコントロールリングにすれば？」というアイデアも出ていますが。

レンズマウントを本体と面一にした場合のフランジバックがn/a社の仕様と一致する。というのはどうだろう？

2011/6/20

デジスコ作例を見るとcoolpix_p300でも良いかと思えてきますが、山歩きにも持って行けるレンズ交換式カメラが欲しいですね。ただ、肌寒くなるころまでカワセミの撮影の予定はないので、噂の1型センサミラーレスを見てみたい。

それより、Lionが話題を提供するようになっていきますよね～。私のMac_mini(coreduo)は非対応。それに、入力モードの切替え時に生じる待ち時間をストレスに感じているのでcore_ix搭載のMac_miniを買いたいと思ってたんですよ～。そう考えると今の課題は、次の通り。

coolpix_S5を買い替える必然性を感じていない。
使用頻度を考えればprotrekは必要といえるほどの重要度はない。
Mac_mini(coreduo)/10.6.xも来年まではセキュリティパッチを期待できている。
sm@rt451のボディコーティングをしたい。

つまり、貯金に励まなければならない。つてのは味気ない。先にプロトレックを買い、貯金をしながら自動車のボディコーティングとMac_miniの購入時期を図る。つてのが吉か。

2011/6/3

nikonのD-SLRエントリー機で手を打つかと考えましたが。

当面、デジスコ用にコンデジは必要だから購入候補はCOOLPIX_P300。山歩きに持っていくことを考えても小さく軽い方が良いのですが、P300はRAW記録ができません。現実的にはRAW記録するほどの画質ではないかもしれませんが、JPEG画像では色温度を変えるにも画像サイズを小さくするにも、加工するたびに不可逆圧縮(画像が劣化)します。RAW記録できるようにしてくれれば済むことなのに、と残念でたまらない。フィルムカメラのころ、プリントされた写真からフィルムを起こして焼き増しすることもできましたが、フィルムからプリントするほうがもちろんきれいな仕上がりになりました。RAW記録された画像はフィルムに相当し、JPEG画像はプリントした写真に相当すると思っています。D-SLRでもJPEG撮って出し画像で評価する時代ですけどね。

4/3はレンズ交換ができて、直焦点撮影でもライカ版換算x2の焦点距離が稼げるし、もちろんRAW記録もできる。さらに、1インチセンサーだと換算焦点距離はx2.5になるし、1/2.3インチセンサーならx5.6相当だから、直焦点撮影でも重宝しそうだし、デジスコでもいけるかもしれない。

と思っていたら、1200万画素裏面照射型センサ(1/2.3?)搭載のレンズ交換式カメラ「Pentax Q」という噂が入ってきましたよ～。直焦点とかコリメートとか期待してしまいます。昔「Cue-X」というコンセプトカーがありましたが、きっと「Q」は「cue」。まだまだデジカメはおもしろいかも。高密度化や小型化がトレードの半導体世界にあって、大型センサーを維持する特殊な環境はいつまで続くか？否、この特殊性が壊れるとき、日本の光学機器メーカーは終わるのかもしれませんが。特殊性を維持しているのはここでも『過去の遺産』です。

過去の遺産つながりで、appleがMacにARMアーキテクチャーを採用するという噂があります。反論する向きもありますが、iOSはMac_OSXのサブセットでiPadでSafariが不足なく動いているのだから、これはアリです。というか、AppleならHWのコントロールを目指すはずで。

2011/5/25

家電量販店でnikon_Dx5100(たぶん)でMFをしてみると思いのほか良好な感触でした。
nikonのD-SLRは、一桁機はプロシューマ向け(2桁番を予約?)、三桁機がミドルレンジ、四桁機はエントリーということなのでしょう。ところで、D3000系はD5000系より下位機種ですよ? で、現行機種ではD3が最上位ですから数字が小さい方が上位という法則でもなさそうです。この点では『canonのEOS-1D mark IV』の方が分かりやすいと思いますが、『D1-2011、D10-2011、D100-2011』みたいなネーミングの方が嬉しい。

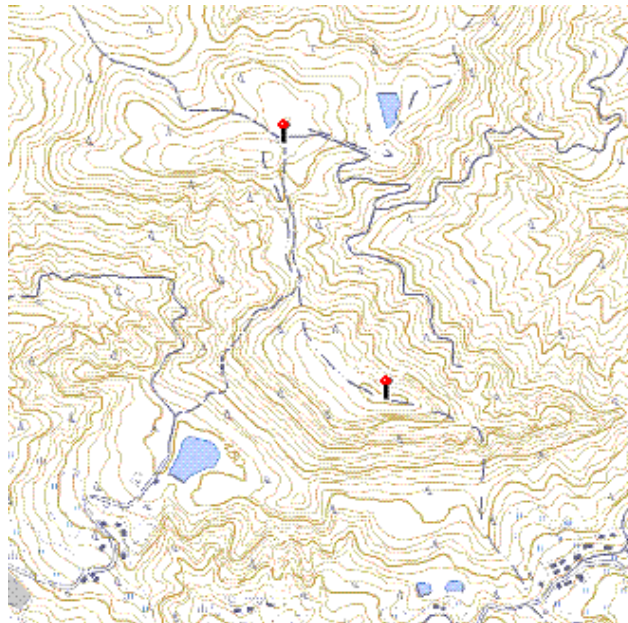
D3の次世代機はD4で、D9の次はD10となるのだろう。「D5100」なら「D5000のバージョン1」と読めなくもないが、D一桁機種ではうまくいかないか。

プロトレックを買う予定なので「せめてコンパスだけでも」と選んだスントA-30はオイル式ではないような軽い動きをします。

夏までに1700m級の山にチャレンジしたかったのですが、終始日影がないという情報を見てしまい躊躇しています。これからの季節、低山では毛虫を見かけそうですし、管理している土地の草刈りなど日常の雑務にも時間を取られます。朝夕涼しくなるまで山歩きは休止時期に入りそうです。

2011/5/17

5/14に653mの山へ登りました。私の主な装備は水1kg*2+500ml、ガスボンベ中、鍋、バーナ。妻は水500ml*2。お湯を沸かしてカップ麺を作りましたが、自宅で食べるより3倍くらい美味かった気がしました。コーヒーも飲めるねと話しながら休憩をとって、尾根伝いに647mの山にある神社へ足を伸ばしました。昼食で約1kgの水を消費した分私のペースが上がったようで午後は登り坂で妻を待つことが多かったものの、午前中は杖効果と重量ハンディがバランスしたのか、地形と眺望から地形図上で現在地を推定したり山座同定を試したりしながら良いペース運びでした。(下図で右下の集落あたり→下側の目印:658m→上側の目印:647m近辺の神社 1:25,000相当)



653mまでは登山口入口からの距離プレートや道標が多数表示されていましたが、山頂の平らな部分を過ぎ下り坂になった後は道標もまばらになり、地図上で現在地を特定できなくなりました。明確なトレースに沿って進むと神社周辺の車道に行き当たり、無事目的地まで行き着きました。地形図の上では迷子になったわけで、地図読みの必要性を強く感じました。

2011/5/9

今週末は近場の653mに登山予定です。Primusのストーブとスントのコンパス、妻のストックは購入済み。地図は国土地理院発行web地図を「カシミール3D」で出力しています。この「カシミール3D」にはMac版がないのですが、CrossOver Macできちんと動作します。

2011/5/7

登山に持って行くカメラに課題を感じています。一つは運搬方法。インナーケースを使うことを考えていまし

たが、カメラをリュックの中に入れておくと撮影するために休憩が必要になります。まあ、景色が良いから撮影したくなるわけで理にかなってはいません。一方、スナップとかちょっとした記録を撮りたいときもあるわけで、その度にリュックを下ろすのは億劫ですし歩行ペースを乱してしまいます。D-SLRを首から下げて歩いている人を数人見たのでマネしましたが、カメラ(E620+ZD14-54II)がお腹をヒットして歩きにくいし砂埃にさらされるのも気になりました。また、ウエストポーチ型カメラバッグを使う方法がありますが、コケた時にカメラが無事ですむとは思えません。二つ目の課題として、この日撮影した写真の写りがよくなかった。ノイズは乗っているしコントラストが低く、こんなことなら(458m登山時の予備機を果たした)COOLPIX_S5を持って行けば良かったと思ってしまいました。

だから、画期的なu4/3かRAW記録対応デジスコ用コンデジを待ちながら、S5を登山用メインカメラにしようと思います。

日頃の言動からすっかり冗談と思っていたのですが妻は結婚当初から登山をしたいと言っていました。4月中旬から登山用品専門店に行き、アドバイスをもらいながら用品を買い足しています。始めに靴と靴下、妻はリュック(私はカメラ用リュックを流用)。汗を吸い込まない素材の衣類を量販店で購入しました。

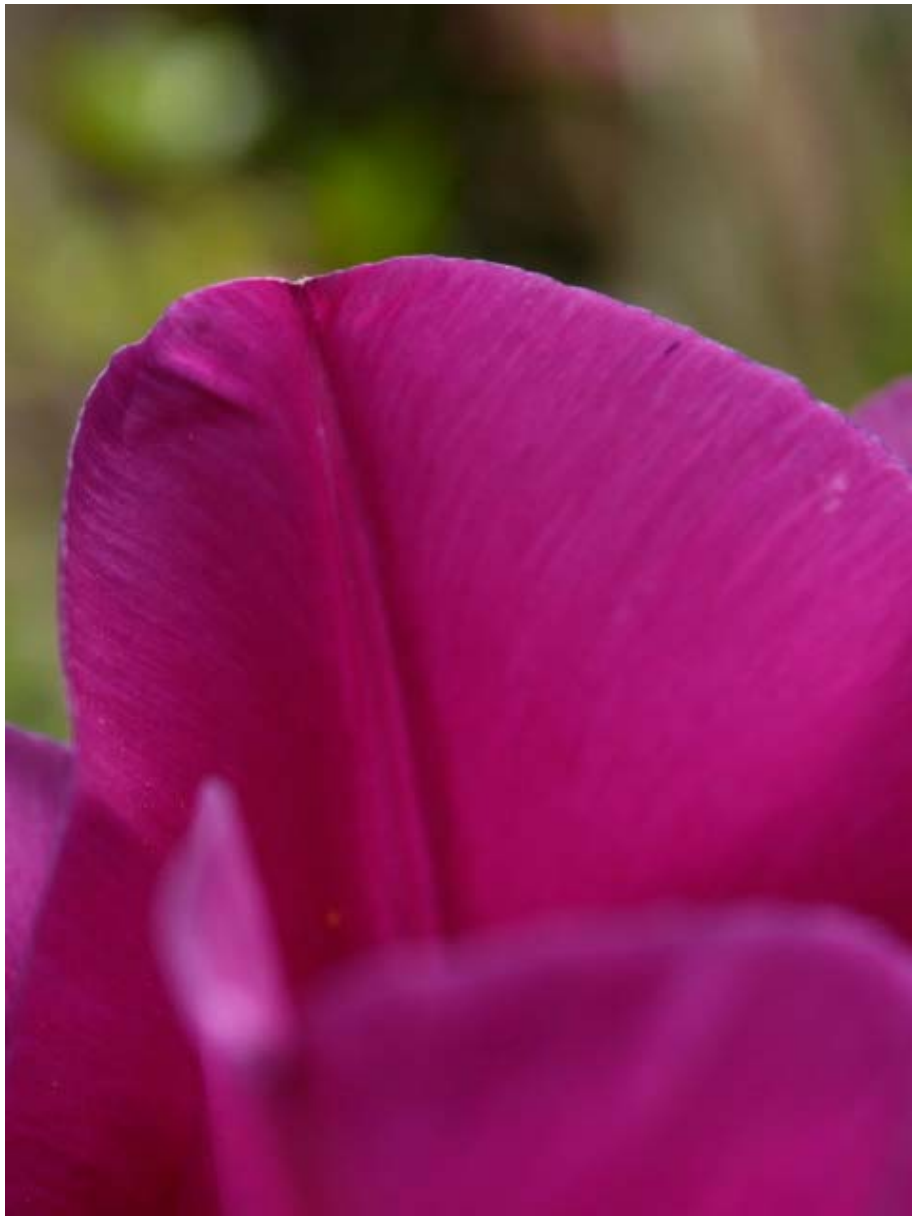
4/23(土)に458mの山に妻と一緒に登りました。私はロープロのカメラパックにCFカードを入れ忘れたE-300とZD14-54II、1Lの水入りプラティパスと三脚イスと2人分のおにぎり、妻は500mLペットボトル2本が主な装備でした。妻は靴になじまないようだったものの、初登山を無事下山しました。

反省として、カメラバッグは思いのほか荷物を収納できないのでリュックを購入し、5/2に1564mの山にチャレンジしました。後から来た人に追い抜かれながら見上げる頂上は遠く、本当に登頂できるだろうか？と思いつながりの登山でしたが、「1584m」の標識と記念撮影をして無事下山できました。頂上付近でカップ麺を作っている人がいて、妻のストックと合わせて次回の課題とすることにしました。

ところで、登山道を外れるつもりはないので地図を読めなくて良いということにはならないと思いますし、初めての山でも先の見通しを持って登りたいと思うのです。で、地図は国土地理院のweb地図をプリントすることにして、コンパスと読図解説本を買いました。現実的には、見通が聞かない場所も多いのでProtrek(1300)のベアリングメモリ機能と高度測定機能が有効と思うのです。

2011/4/25

4年間勤めた事業所は3月末日で閉鎖され、4月から新しい職場に転勤しました。そんなこんなで更新が滞っているなか、<http://digicame-info.com/2011/04/e-xe-xx.html>で嬉しい話がありました。新製品についての具体的な話があったわけではありませんが、「辞めるとは言っていない」と「やる」と言うのではニュアンスの違いがありますよね～。で、久しぶりにE-300で撮影をしました。



2011/03/08

曇天の中、鳥観に出かけたのですがカワセミは出てきませんでした。このところ3連敗中なので新機材の選定に熱が入らない上に、coolpix_P300のRAW記録対応は望み薄な感じですから、いよいよ購買意欲が減退しています。

P300のQ&Aに『RAWで記録できますか?』『いいえ、できません。』と、初めて習った英語の教科書に出ていたような問答が出ています。RAW保存のことは私も質問したが、「現在のところ」などとぼかす語句もなく明快に否定しているところを見ると、将来も対応するつもりはないと考えた方が良さげ。

2011/02/19

カワセミを待っている間に西の方角へ飛んでいく編隊を何組も見ました。今日は遥か遠くでおなかの赤い鳥を見たにとどまりました。



2011/02/18

コンデジサイズのセンサーを使うレンズ交換式カメラ<噂>COOLPIX_Pro</噂>。これだったら無理なく既存D-SLRと共存できると思いました。ターゲットはu4/3やNEXと同様の『現在のコンパクトデジカメでは満足しないがD-SLRを日常的に使おうとは思わない層』でしょう。コンデジサイズのボディで、コンデジ並みサイズのレンズを組み合わせるシステム(沈胴型だとなお良い)は訴求力があると思います。何よりD-SLRのシェアを喰わない点が良い。レンズを2/3インチセンサー対応イメージサークルとしておけば将来性も確保できると思います。

ただ「D-SLRのシェアを喰わない」ためにも画質では妥協が求められるでしょうね。鳥撮り初心者としては、焦点距離400ミリの望遠鏡で35ミリ換算2232ミリの直焦点撮影ができるボディ(1/2.3インチセンサーの場合)に注目です。

2011/02/17

Nikonに「発売後にCOOLPIX_P300のFirmwareを更新するなど、RAW保存できるようにする計画はありますか？」と質問の形で要望を出しました。現状でその機能がない以上、次期野鳥撮影用カメラは依然としてa55(a33)ですね。ただ、オリンパスの社長交代により、他社からD-SLRのOEMを受けるとかモジュールカメラとか4/3界が好転するかも、と思っています。

レンズ交換式カメラを使うなら望遠鏡はカメラボディを選ばない半面、撮影に出かけるときは重装備になります。また、公式サイトに掲載されているP300のサンプル画像(倒れた切り株)の写りはちょっと変ですから拙速に結論を出すのは避けようと思っています。

最近microsoftに対するappleの例もあるので、ハードウェア販売に軸足を置く国内メーカーの収益モデルが古いとか悪いとか言い切れないが、MFで絞り込み測光のレンズでも「寒村NX10用ニッコールレンズが売れる」くらいのブランド力を持つ時期に来ていると思う。もっといえば、思い切りコストをかけたEOS用ニッコールレンズやα用ZUIKOレンズがあつてこそ、一流の光学機器メーカーといえるのではないだろうか。

2011/02/14

手に残ったα 303si-Superにあやかり、AマウントD-SLRを買うときは「3」(エントリー)シリーズと思っています。現行機のラインアップではa33が「3」シリーズに見えますが、a55とは機能違いの同一ボディなので、a55とa33を合わせてエントリーシリーズと考えるべきでしょうね。

2011/02/12

NikonビジョンはCOOLPIX_P300用「コンパクトデジタルカメラブラケット FSB-8」を2011年3月発売予定と発売しました。coolpix_P300は、1/1.23インチ12.2メガピクセル裏面照射CMOS、F:1.8-4.9、35ミリ換算24-100、で189g。残念ですがRAW保存はできません(firmwareで対応できる？)。

2011/02/07

庭のロウバイが花盛り。



ZD35は今でもお気に入りです。



2011/02/01

sm@rt451coupemhdの点火プラグとエンジンオイルを交換しました。「castrol_edge5w-40はMB229.3認証だけあって5000km走行くらいではヘタリ感がない」と思っていたのですが、比較のために選んだcastrol_magnatec10w-40に交換後『新油効果』がありました(てへ)。ただ、Magnatec10w-40は5000kmも走行すると、シフトチェンジ時にエンジン回転が吹け上がってしまう(粘度低下?)が、EDGE5w-40にはそれがあまり感じられませんでした。この点は安心感というか、さすが全合成?オイルです。点火プラグはデンソー ツートップス。低回転の粘り(トルク)が出ている気がします。交換前のプラグは電極の角が取れた感じでしたが、見本のように良い具合に焼けていました。

2011/01/30

各地で鳥インフルエンザが発生している中、鳥の排泄物を絶対踏まないと言い切れません。また、人インフルエンザもはやっているようですし寒波が到来していますから、カワセミ観察は自粛。年明け早々デジスコを始めたわけですが、少なくともcoolpix_s5での限界は見てきました。始めから分かっていたことですが、ピントがわかりにくい液晶画面と連射速度とRAW保存できないことです。そうはいつでも、S5で立派な撮影をしていた方もいるわけですし、十分古いカメラの悪口を言っても仕方がないことです。半袖で外出できる季節くらいまではこの体制でやっていきますよ。で、ニコンcoolpix_s5400の後継デジスコ推奨機種を待ってみます。

待ってどうするかと言えば、天体望遠鏡+レンズ交換デジカメを再検討します。導入当初はE-620やE-300を使うとして、こういう用途にEVFは魅力です。u4/3に行くか、噂されるニコンのミラーレスにするか、ソニーのtranslucentテクノロジーにするか検討します。価格的にはEVFを内蔵したa33(a55)は非常に魅力的です。焦点距離400ミリの望遠鏡はAPS-Cでは35ミリ換算600ミリ、4/3(u4/3)では換算800ミリとなりますが、どちらにしてもED50+S5の最大1680ミリには及びません。どちらの方がクロップ耐性が高いか?ということになるでしょうね。また、焦点距離不足に対してはアイピースを併用した拡大撮影があるらしいのですが、そうすると高感度耐性も大切なポイントになるかも。その辺りを研究しよう。



2011/01/16

室内から庭に来る野鳥を。メジロを見なくなってしまいました。



津軽海峡を渡る様子をNHKで放送していた



スズメは動き回るので結構難易度が高いと思う

2011/01/10

最近のカワセミとの遭遇率が悪いような気がしています。気長に観察を続けようと思います。



ニコンに「フィールドスコープは関連会社の(株)ニコンビジョン扱いながら、同一ブランドでデジスコシステムが完結する稀なメーカーがnikonです。デジスコに適したRAW記録ができるcoolpixをニコンビジョンのアタッチメントでニコンのフィールドスコー

プに接続したいものです。」、A2のメーカーに「ニコンのねじ込み式接眼レンズ互換の貴社製フィールドスコープを見てみたいものです。」、キヤノンに「キヤノンC-MOSの技術を採用したコンデジを検討する余地はないのでしょうか。」と、デジスコ環境の充実を働きかけたり。

2011/01/04

D-SLRの超望遠レンズは高額で目玉が飛び出ますし、E-PL1でコリメート撮影をしようとしてもフィールドスコープとの接続方法が不明です。BORGなど天体望遠鏡で直焦点撮影はF値と焦点距離の関係で除外しています。coolpix_s5ではRAW保存ができないことが不満ですが、それでも私にはデジスコが最善なのでしょうね。で、RAW保存ができてデジスコと相性の良いコンデジと言えばPowershot_S9xですが・・。

ニコンが1インチセンサーのレンズ交換式ミラーレスカメラを発表するとか、オリンパスが高級コンパクト機を発表するとか、CES関係でにぎわっています。調べているとパナのLX5は1/1.63インチのセンサーでRAW保存ができ、52mmフィルターをレンズ前面に取り付け可能らしい。

一方、RAW保存に対応していないCoolpixでRAW保存を可能にする方法がかつてあったという情報も。

西の空に木星が明るく見えていることは知っていました。小さい三脚にED50/DS16xを装着して覗いてみると、3つの衛星は見えました。木星の縞模様は見えませんでした、ちょっと嬉しくなりました。

2011/01/02

今年もよろしくお願いします。

年末から荒れ模様の天候が続きましたが今日は絶好の鳥見日和でした。カワセミに落ち着きがなく距離も遠かったものの、nikon_ED50/DS16x+nikon_S5で初のカワセミ撮影となりました。



2010/12/26

風が強かったものの日差しがあったので、30分を目安に庭に出ました。水浴び用にと枝に下げていた植木ポットでヒヨドリが水を飲んでいました。ミカンを枝から落とすしメジロを追い払うので嫌なヤツと思っていたのですが、写真で見ると意外とかわいい。



左側の減光は光軸ずれ。



室内からガラス越しに。

今日の2枚も撮って出し。ブレてはいるもののピントがきていたヒヨドリの写り具合は良いと思うし、背景の発色も悪くないと思う。BORGでは36ミリ換算1000mmは望めない。デジスコは庭に来る野鳥には無敵なのではないだろうか？

coolpix_s5 (CCD搭載のコンデジ?)は動きものの撮影が苦手ということは分かりましたが、一度羽を休めるとしばらく静止するカワセミはどうか? 週末を楽しみにしていたのですが荒天。

原作(TVアニメも)知らない妻は俳優目当てながら、一緒に「space battleship ヤマト」を鑑賞しました。大物女優が佐渡先生役で持っているのが「荒波」ってのが最大の違い(笑)でしたが好感が持てる作りでしたよ。

2010/12/23

外出前の空き時間にデジスコの初撮影をしました。フィールドスコープ本体は長さ約20cm。シャッターぶれがないから? SLIK_TRAVEL_SPRINTでも十分でした。ただ、長焦点域では自由雲台が使いにくかったので、Slik_Grand_Master_Sports_Proにグランドマスターのフリーターン雲台を装着したところ良い具合。とはいっても↓この出来ですが。



撮って出しをサイズ変更しただけ。ISO200。36ミリ版換算1680mm

2010/12/21

Nikon_ED50/DS16X+Nikon_USB5+coolpix_S5は35ミリ換算560mmF3.0~1680mmF5.4となります。フィールドスコープは名の通りEDレンズを使用しているし、S5もEDレンズを使用しているので、asweet-Digital+AF500/8RF(36ミリ版換算750mm)を補って余りあるはずです。ZD14-54II、ZD40-150と合わせて死角なしじゃないかと思うのですが。

とはいっても、S5は撮像素子サイズが1/2.5インチ(5.7*4.3mm)と小さいうえにRAW保存ができないのは欠陥に近い欠点と思う。Nikon現行機でフィールドスコープアダプタが用意されているのはcoolpix_S5100。1/2.5インチCCDでJPEG記録というスペックは同等ながらEDレンズは使われていないところが何だかなあ。

2010/12/20

D945GCLF2へログインできなくなったので、まさか外部からハッキングされて・・などと考え慌てましたよ。幸いrootでログインできました。ユーザのパスワードを変更しようとしているときに「あっ」と、正しいパスワードを思い出しました、というオチ。現在Fedora13なので、年末年始の時間のあるときにFedora14にupgradeするのが吉かもですね。

過疎状態の地方都市とはいえ、人の気配がしない場所まで行かねばカワセミはいないと思っていました。

それが、河口に近い一級河川沿いの自動車も通る道路から観察できたり、公園や住宅が並ぶ用水路のような小川に居るのですから、意外と身近な野鳥でした。12/18に掲載した以外にも木の枝に止まっている姿を撮影したところ遠景に民家が写っています。不用意に双眼鏡を向けると、あらぬ誤解を受けかねないなど、別の意味で注意を要するほどです。そうそう、Li-ion電池のエネループカイロ(片面発熱)のOEMというELPAの充電式カイロを¥980-で買いました(後日追加購入)。弱で7h、鏡で3hの使用時間だそうで、今のところ不足なしです。

Firefoxを使っているが、winOSだと色味が悪い。カワセミ画像は『なにこの低コントラスト画像』ってな感じだし、ハゼの画像もMacで表示した時はもっと鮮やかに赤い。がっかりだね。

2010/12/19

ついにフィールドスコープを注文しました。数年前のシステムながら、Nikon_ED50/DS16X+Nikon_USB5+coolpix_S5というニコン純正デジスコが完成します♪
ミカンと日用品買い出しに自転車で外出。帰りにカワセミと出くわしていた小川に寄り道しました。鳴き声から気配を感じ、そーっと覗き込むと確かにいました。この川では飛び去る姿ばかりを見ていましたから、ツケを返したことになりますか。

2010/12/18

何はともあれ、初のカワセミ写真です。



ヒノデ6x21-A2+coolpix_S5

2010/12/12

12/5のポイントでカワセミに再会。中州の立木に止まる姿や葦に止まる姿を追っていましたが、最後は見失いました。場所を変えると大当たり。川の中の石に止まって魚を食べたあと、6x21の視界の中で手が届くほどの距離で背中を見せ枝に止まりました。coolPix_S5を持ってさえいれば、お見せできる写真が撮れた可能性は高かった(泣)。長居して警戒されては元も子もないので次回に望みを託し、早々にその場を離れました。



散歩道で夕日に映える紅葉を見たのでその翌日に。

2010/12/5

自転車で地元一級河川をカワセミ探索し、木の枝に止まるカワセミを見つけました。光線の具合は悪かったのですが、目が肥えてきたかも？と思いながら観察しました。しばらくすると飛び立っていったのでこちらにも移動。少し上流の岩の上で再発見。直後にホバーリング姿を見せ、視界の外へ消えていきました。その辺りは自転車の行動範囲内ですが、三脚を構えられる場所に乏しいのが難点。

2010/11/26

カワセミの青い色も草とか水とかに対する保護色なのだとすると、冬場の方が撮影には適するのかもしれませんが。ただ、撮影場所は屋外の水辺だから防寒対策として、昔からのハクキンカイロとかエネルーブカイロとかを考えています。

2010/11/23

ついに、双眼鏡でカワセミを観察できました。今日は下見のつもりで自宅から自動車で10分位の場所に行ってみました。水深は浅く岩が顔をのぞかしているという雰囲気です。その岩の頂上にいました。こちらに気付いたのか、護岸ブロックの上に飛び移りましたが、いったん羽を休めるとこちらが根負けするくらい動きを止めていました。おなか辺りの赤色は枯れ草に溶け込む保護色で、「そこにいる」と分かっているにきつと見過ごしていたと思います。もちろん、A2の、まるで肉眼で見ているようなクリアな視界と色再現性、そして広い視野も助けられたと思います。coolpixS5も持っていたのですが、眺めるのに精いっぱいでした(笑)。また、行ってみます。

先日、庭にメジロが来ている気配がするのでみかんを買って帰り、半分に切ってモクレンの枝にさしておきました。数時間後に啄ばんだ跡があり、夕刻には一つのみかんが枝から落ちていました。メジロに交じってヒヨドリ？が来たに違いありません。そこで、メジロより大型の鳥が止まれない工夫をした餌台をwebで探し自作しましたが、みかんを啄ばんだ形跡がありません。まあ、自然環境で餌があるなら良いことだと、私がみかんを食べています。

2010/11/14

近くの小川で飛び去る(こればっか)カワセミを久々に見ました。不意に近づいてしまったので羽音が聞こ

えました。その後一級河川に移動すると鴨？が浮いていました。双眼鏡を構えている間にスス〜と遠のいて行きます。小鳥とは呼べないサイズの鳥でもこうですから、フィールドスコープは必要ですね。



(飛び去る)カワセミを見かける小川。A2+S5。35ミリ換算630mm。

2010/11/11

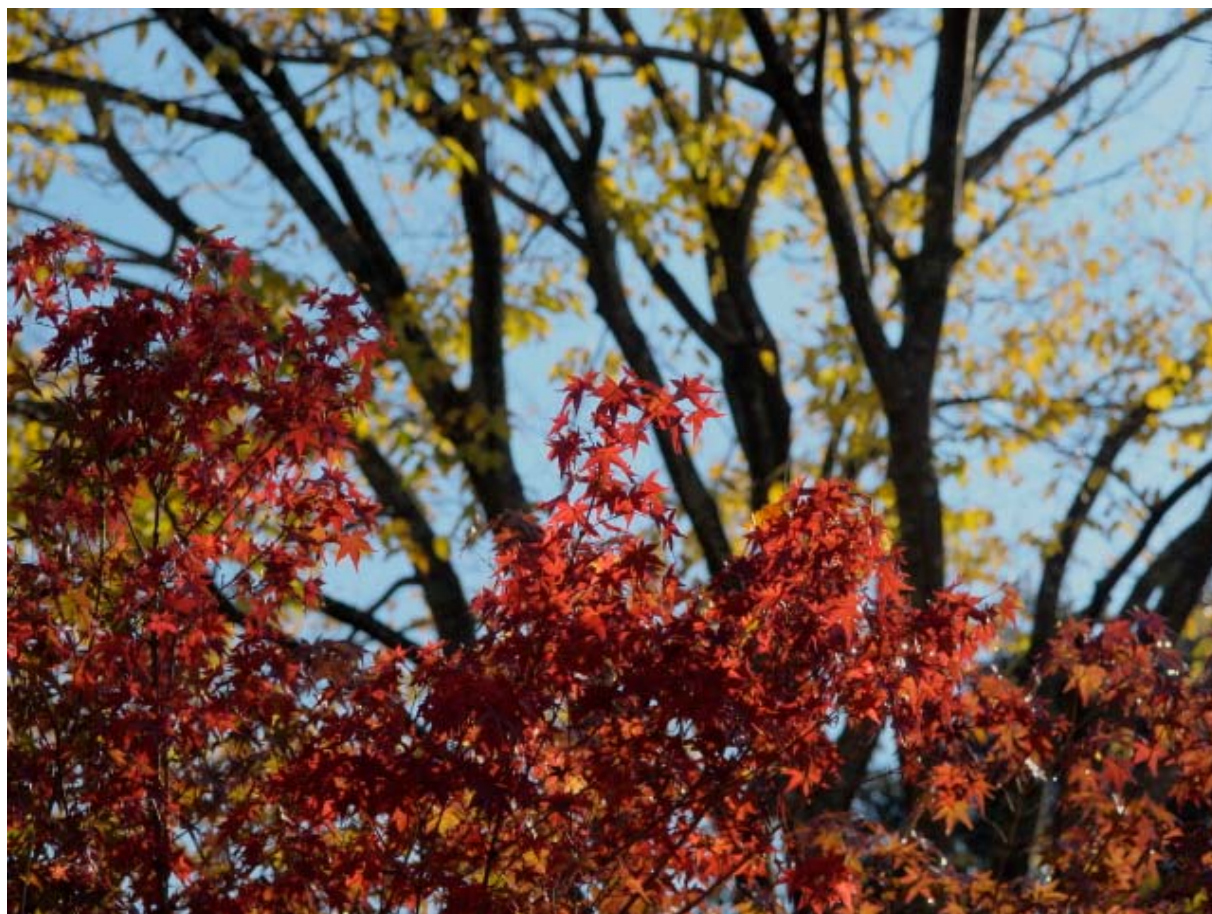
11/10で言いたかったことは悪い意味合いではなく、それを理由にOVF機が登場するなら大歓迎ということが言いたかったわけです。ただ、大局に立ってOVFとEVFを考えると、sony_a55並の遅延なら十二分に実用的だと思いますし、コストを含めた将来性ではEVFに部があると思うようになっています。また、技術的にCCDでLVができないわけではないし、L-MOSを搭載したE-620でもLVの遅延はあります。私自身、EVF＝イメージャAF(コントラストAF)＝ミラーレス一眼という印象が強く、「u4/3はどうも・・・」と思うわけですが、EVF採用のa55(a33)は従来のDSLRと同様の位相差AFですし、私はEVFのメリットの方が大きく感じるのです。Kodak製CCDを使うEVF機をコスト度外視で考えると、EVF専用CMOSで(Finepixの瞬速AF)AFもすれば良いことになります。

2010/11/10

オリンパスが将来の製品でKodak製CCDを採用するという噂が出ていますが、LVやEVFに対応できるか心配です。例のモジュール機の組合せ可能なパーツとして出るのが精一杯のところではないでしょうか？

2010/11/8

11/6～7で旅行に行っていました。途中休憩したSAで紅葉を撮った以外に落ち着いて撮影する機会は少なかったのが残念でした。そんな中、宿泊先の部屋の窓からfinepixZ3+A2で双眼鏡コリメート撮影しました。coolpixS5を持っていけば良かったと思いますが、旅行記録としては十分だと思います。



E-620+ZD14-54II。OlympusViewer2でLightTone現像。



FInepixZ3+A2。35mm換算462ミリ。光軸ずれ？

2010/10/25

回を重ねるうちにcolpixS5でA2のコリメート撮影にも慣れてきましたが、旅行(ドライブ)に持っていくfinepixZ3での操作にも慣れておかねば、です。35ミリ換算108ミリ以上の望遠域をA2+Z3に任せられるなら、旅行時のメインDSLRはE-620とZD14-54IIで間に合います。また、ZD50-200とEC14Iに手を出さなくて済むなら、その分の金額でE-5を狙えるかも、と皮算用。

そうはいつでもE-5を買って「鳥撮用コンデジを買うよりもBORGが適」と言い出しそうだが、言うまでもなくE-5はOVF。BORG(直焦点)はMFだし、相対的にF値が大きいことが抑止力となるだろう。ただ、レンズの暗さとMFの容易さはEVFで一気に解決できる。



A2+S5。516mm相当。OlympusVewer2でモノクロ化 & リサイズ

デジスコ用に考えているフィールドスコープはS5を取り外すと観察に使えます。一方『デジBORG』は望遠レンズなので、観察しようとするフィールドスコープが欲しくなるのは必至。つまり、将来DSLRでデジBORGをする際にも単体フィールドスコープは無駄にはならないはずです。

2010/10/22

sm@rtfor2coupemhdのオイルフィルタとオイル交換をしました。オイルフィルタはヤナセで買った純正品(三菱純正品)で、オイルはMB229.3のCastrol_EDGE_5W-40。5000km走行したCastrol_Magnatec10W-40と比べると、特に1→2でギアの繋がりがスムーズになりました(空ぶかしをしなくなる感じ)が、これは新油効果でEDGEに限った事ではありません。ただ、Magnatec使用時に特徴的だった徐行時の「ジャー」というエンジン音が小さくなったと感じます。燃費も楽しみですしロングドレインオイルの耐久性も楽しみです。総合的にはMagnatecと大差ない感じで、5W-30などを試してみる価値はありそうです。次回は点火プラグ交換を予約しておきました。

lion。そろそろネタ切れ？ OSXはaquaのフルスクリーン表示という見方もできますが、私、アプリケーションウインドウの全画面表示は嫌いです。Dockでアプリを切り替えれば良いのでしょうか、15inch液晶モニタで同時に2~3個のアプリケーションを走らせていても、モニタに「隙間」を残してしまいます。最大でも9.7inchモニタを駆動するiOSと違って、Macの広いデスクトップに単一ウインドウの全画面表示はもったいない気がするのです。シングルタスクコンピューティングみたいですし。

coolpixS5に初期不良？ はなさそうです。奇しくもFinepixZ3とは同年発売より約1年早い時期に発売ですが、暗部ノイズやダイナミックレンジはZ3の方が優れていると思います。この時期は「スーパーCCDハニカム」が頭一つ抜き出ていたんでしょうね。ところで、八角形の画素を市松模様状に配列したCMOSは成立しない(意味がない)でしょうか？ そういえば、canonのDSLR用CMOSは構造的にノイズを減らす仕組みを取り入れている模様。思いっきり不勉強でした。

2010/10/17

S5でA2をコリメート撮影しています。



2010/10/16

新たに始めることに初期費用がかかるのでパソコンにお金を回せませんが、1.5K分のuOPキャッシュを採用する「Sandy Bridge」には注目します。

別々の業者から同じ日にcoolpixS5とFSB5を受け取りました。S5はZ3に比べて軽快な操作感、FSB5は想像より大柄な作りです。工夫の余地はあるのかもしれませんが、ヒノデA2とFSB5は適合しない雰囲気です。RAW出力できるコンデジの選択肢が減りますが、

Panaカメラ 不 買 宣 言です。

4/3(18x13.5mm)とAPS-C(23.4x16.7mm)はたいしてサイズは変わらないから、4/3機とu4/3機のイメージをAPS-Cサイズのイメージに換える。この時点で4/3規格とu4/3規格から離脱。u4/3と「4/3モジュール」では部品調達価格しかメリットはないが「APS-Cモジュール」では大型センサーのメリットをフルに享受する。「APS-Cモジュール」のマウントは4/3マウントでも良いが、ここではAマウントを提案する。Olympusは完全電子化されたAマウントZuikoレンズを「Gレンズ」としてsonyに供給する一方、Olympus以外が4/3製品を出せなくするため4/3規格と周辺技術の特許出願し、sonyにSSWFを技術供与する。と素人が描く戦略以上の戦略があるにちがいない。きっと。

2010/10/12

¥16,800-のcoolpix_Sx用nikon純正ブラケットを¥4,018k-(込込)で買える見通しがついたので、coolpix_S5の中古機でNikonに復帰することにします。S5を選んだ理由は下に書きますが、双眼鏡コリメート撮影でレンズ鏡筒が伸びない利点を感じたので、Z3と同じ屈折光学系を選びました。FSB5を利用して簡単にA2コリメート撮影ができれば良いと思っています。

フィールドスコープ+1諭吉程度で始められるなら文句なし。ED50+16x使用時560mmF1.9(3.0)~1680mmF5.6となる。EDレンズ採用や純正ブラケットによりNikon推奨デジスコ用カメラという位置付けと理解する。私の小指の爪のハーフサイズCCD(1/2.5型5.7mmx4.3mm)が気になるし、現行機と比べると泣きたくなる性能だが、S5はシリーズ最高の連写性能と液晶密度。ちなみに「S3」も発売されていた。Nikon_OnlineGalleryには侮れない描写の野鳥作例がある。ニコンフィールドスコープの接眼レンズ外径は55ミリ。

2010/10/11

先週は体調がすぐれませんでした。禁煙後風邪をひくことがなかったので、医者から『久しぶりですね』と言われました。今回初めてジェネリック薬品を処方してもらいました。体調も天気も回復してきたので、自転車に乗ってカワセミを探しました。装備は日の出光学A2とFinepix Z3。小川では見つけれませんでした、大きな川で飛び去るカワセミ(こればっかだな)を見ました。個体の識別はできませんが、意外と身近にいる雰囲気です。なんだか、コンデジスコで良いかというか、デジスコ用ブラケットをA2に装着できれば便利だなと思っています。



ライカ判換算87mm*6=522mm。光軸ずれ



ライカ判換算77mm*6=462mm

2010/10/8

先週末、自宅から徒歩数分の小川(水路)?で2羽のカワセミが日を背に受けて水面近くを飛び去る姿を見ました。生涯で2度目の遭遇でした。その翌日と翌々日は少し下流で飛び立つ姿を見ました。周辺は小さい公園がある住宅地なので、双眼鏡とか大きなレンズを付けたカメラを持って佇んでいると不審者ですね。別のポイントを探しますか。

フィールドスコープ考え中。

コンデジスコには専用ブラケットが必要で、コンデジを機種変更したら専用ブラケットが使えなくなると思った方が良いでしょう。つまり、長期的なランニングコストは意外と高そうです。一方、D-SLRでのデジスコは数千円のマウントアダプタで各種カメラに対応できます。折角D-SLRをもっていますから、コンデジスコは見送るのが吉でしょう。しかし、D-SLRでは直焦撮影が基本ですから、200mm級の望遠域は無理っぽいですね～。と思いながら、対物主鏡有効径:200mm、焦点距離:800mmのR200SS(F4)を7.2kgの望遠レンズとして使うことも可能なことに気付きました。

コンデジの焦点距離×フィールドスコープの倍率だから、ライカ版換算2000mmは十分可能で、F値は実焦点距離÷レンズ有効径だからイメージャの小さいコンデジでは結構明るいF値になる。なぜかcanonのG系はブラケットがないし、D-SLRを凌ぐ画像を出力するコンデジってのは物理的にもカメラメカ的にも許さないだろう。

2010/10/3

双眼鏡到着。接眼レンズを覗くと双眼鏡に持っていたイメージが変わりました。低倍率を選んだからブレが小さいのは当然として、とにかく明るく切れが良い。天候の違いを逆転するコントラストの違いを見て下さい。手持ちですから光軸の調整に手間取りましたが、日の出光学A2でコリメート撮影した画像は十分実用に足るレベルだと思います。



日の出光学6x21-A2。モノクローム化とサイズ変更以外は無加工。



従来機(8x21;再掲)。

フィールドスコープ考え中。

試すまでもなくGEOMAIL ED52の開放F15は暗すぎなので、BORGを調べています。「ユーザの報告でこんなこともできることが分かりました」的なノリのあるメーカー(開発者)ですが、すごい写りをする模様。最小シ

システムは、デジボーグ45EDII望遠レンズセット【6245】(¥54800)+オリンパスE-1用カメラマウント【5010】(¥3360-)で、焦点距離325mmF7.2(付属テレコン使用時455mmF10)のレンズになります。ただ、日の出A2のコリメート写真を見ると、コンデジスコープの可能性を否定するのは早計かも。地上望遠鏡化できるか？問合わせ中。

ある意味「そうか！これで良いのか。」と目から鱗のシステム。BORGはタカラトミーの子会社トミーテックの一部門。開発者はカメラも好きな模様。望遠鏡には無縁な光学絞りユニットをラインアップしている。一言でいうと、面白い会社だ。

2010/10/1

フィールドスコープを考え中。

<http://www.imaging-resource.com>のsampleを調べる中でコンパクトデジカメを使う限界を感じ、代わりにD-SLR(ボディ)を記録部として利用する方法を調べています。Vixen_GEOMAII_ED52(希¥31500)+GLH15(希¥12600)+カメラアダプターG(希¥5250)+Tリング(N)フォーサース用(希¥2310)で得られる実視界は3.2度。これはライカ版の800mmレンズの画角に近い数値ですから、お試しと考えれば十分と思います。結果的にお値段も抑えられますし、カメラマウントを換えてもTリングを買い増せば対応できる点もありがたい。つまり、Vixen_GEOMAII_ED52を開放F15.3の光学絞りなしMF超望遠レンズとして使うわけで、4/3ではライカ版換算1600mmF15として使えるのもポイントですね。vixenのD-SLRデジスコでは最も明るいシステムですが、暗さが気になりますが。ちなみにNikonのED82/ED78は1000mmF13、III/II/I(EDIII/EDII)は800mmF13となる模様(要FSA-L1/¥42000)。

最有力視していたcoolpix_P6000はE-300以上の画素数なのだが、等倍鑑賞に堪えない画像に見えた。具体的にはノイズ処理のためか存在しない点々が写って見えるとか、撮像素子のサイズとレンズの分解能にアンバランスがある感じで、カメラの性能が足を引っ張っていると思った。F16の暗さはNikkorレンズで確かめられるが、E-300でMFが困難だったらE-620のLVを活用しようと思う。

2010/9/30

発売済nikonのデジカメでraw出力ができるcoolpixP6000には純正の専用ブラケット(フィールドスコープとデジカメを接合するパーツ)がありません。汎用ブラケットFSB-U1はデジカメをセットしたまま撮影と観察を切り替え可能なスイング構造になっていて多くのnikonデジカメに対応しているようです。便利そうですが光軸合わせとか精度とか心配になって他社製ブラケットを探しているとキャノンも選択肢に入れたくなりました。ところが、Powershot_G9対応ブラケットは見つからないし、対応ブラケットが出ていてraw出力ができるPowershot_S90(S95)は中古機が見つかりません。どうもご縁がないようです。

日用品の買い出しから帰ると薄日が射していて、空き地の彼岸花が映えていました。MFを楽しもうと、E-300にME-1とZD35を装着し、SLIK_TRAVEL_SPRINTとリモコンリレーズで撮影しました。ZD35は好きですよ。E-300にも似合いますし。彼岸花は週末も咲いていそうなので、アングルを吟味して撮り直そうと思っています。マニュアルニコンを使っていた頃、鮮烈な赤とか深い緑色は無縁の色という感じでした。



ネギ



雨に洗われた今年の彼岸花。



雨があがり、水玉に映る薄日

2010/9/28

FourThirdsに超望遠域のレンズがないためZD50-200+テレコンとか、sony_aマウントで超望遠レンズを使うことを考えていました。もちろん、この場合はZD50-200を4/3とマイクロ4/3以外のマウントでは使えないなどマウントに依存することになります。

ところで、私が超望遠域のレンズ撮影したいのは、冬庭先に来るメジロとか(一度しか見ていない)カワセミで、稼働率はとても低いはずで、超望遠レンズに代わるシステムを昨日のコリメート撮影で発見しました。すれはち、肉眼で観察できる状態のフィールドスコープにコンパクトデジカメを組み合わせた「デジタルスコープ」です。

フィールドスコープとカメラとで多用な製品の組み合わせが可能なはずですが、知識的には白紙状態なので両製品を発売しているNikonで勉強します。nikonに戻る道ができそうで、ちょっと嬉しく思います。

2010/9/26

カワセミがいるかと思いダム湖に行ってみましたが、水位が低いなど条件が悪かった。



手元の双眼鏡とFinepixZ3でコリメートという撮影方法を試しました。双眼鏡の接眼レンズにデジカメのレンズを当ててシャッターを切るのですが、これはコンパクトデジカメならではの撮影でしょう。より精度の高い双眼鏡と手ぶれ補正を内蔵したデジカメなら、使い物になるかも。



2010/9/24

双眼鏡のことを調べていると、NikonのD-SLR(D3など)ではRAWデータを現像しても不可思議な写真ができてしまう機種があることを知りました。見つけたサンプルがこれ。



<http://www.imaging-resource.com>のsampleから、布が写っている部分を切り出したものですが、下段2機

種は黄色い紙を写したように見えます。程度の差はあっても同じ原理の撮像素子を使って性能に劇的な違いがあるということは、どこかで劇的な処理をしているということになりますか。ところで、同じ被写体をE-PL1で写した画像では、NR=Highだと怪しくなりますが、NR=offだと縦糸と横糸が見えます。一方、パナのG2はNR=-2でも縦糸横糸はほとんど消失します。高感度ノイズの少なさはこういうカラクリなのだとすると、撮像素子に届いた情報をノイズごと消し去るNRは光学機器メーカーのすることではないような気がします。おっと。肝心の双眼鏡は、5(6)x20クラスの製品が使いやすいそうです。

家電量販店でsony_a55に触りました。カメラを振った時、PanasonicのG2?ではEVFの表示が追いついてこない感じでしたが、a55には不自然さを感じませんでした。人間の視覚はそれほど高速ではないので、EVFの処理が追い付いているということでしょうか。シャッターが切れなかったのでレリーズラグは分からなかったし、MF拡大の方法が分からなかったものの好感触。上記サンプル画像でも布の質感が微かに残ってなくもない(レンズの分解能も一因)ので、ZD50-200同等のレンズがあれば乗換対象としますよ～。

4/3のDisconはほぼ確定の雰囲気。思えば、春先に米国方面から流れた『2年以内に4/3はEVFになる』という情報は、translucentのD-SLRも検討していた裏付けか。だとすると、a55くらいの完成度があった可能性があり、お蔵入りはもったいない限りだ。これがE-5の次の4/3機となり逆転の一撃となれば面白いのだが。

基本的に世界は保守的ですから、新しいもの、他にないものを育てるのは大変です。いつか、幹を守るために枝をDisconすることも必要な時期はあります。その時、何が幹となるかを企業は判断します。Olympusが守ろうとしているものは4/3の撮像素子だったわけです。

2010/9/21

先の連休中、自動車で片道30分圏内でカワセミを探そうと思っていました。そこで、実弟に貸し出しているa-sweetdigitalセットを返却するように言っていたのですが、500ミリ反射レンズだけ戻してくれました。カワセミを発見することが先かと思なおし双眼鏡を探すと妻がしまっているとのこと。出しておくように頼んでいたのですが、なぜかその気がなさげ。連休が明けて探し出してくれた双眼鏡のレンズにカビが。

欧州方面から、E-5が最後のFourThirds製品ではないとか、micro4/3のProモデルを2011年にリリースすると発表が出ています。現行u4/3製品からは耐久性とか堅牢性は覗えませんが、その辺もきっちりした製品がでるなら、EVFの可能性はあっても4/3レンズを生かせるので楽しみです。乗り換えるなら、αには馴染みと活力を感じますが、ZD14-54(II)やZD50-200(SWD)のようなキラーレンズがないと思いますし、AFモータのレンズ内蔵化や絞りの電子化も課題として残ると思います。こういう悩みはNikonかCanonを選べば解消しますよ～。

新路線は「ExとExxは4/3。小型軽量機はmicro4/3」らしいから、E-5xxのボディにE-30のペンタプリズムを内蔵してE-50とするか？

職場内の任意団体がNTTフレッツ光で無線LANを運用しています。iPodtouchもこの恩恵を受けていますが光電話を解約する動きが。いよいよiPhoneかandroidかを買う時期かも？

2010/9/16



クモの糸に捕らえられた花をE-300とZD14-54IIで。

E-5のことを書こうと思いましたが、旗艦機に触れたこともない身分なので遠慮します。代わりに

携帯電話やiPod内蔵カメラが普通の用途には十分な性能を持つ中でコンパクトデジカメの存在意義はなんでしょうか？ 一方、DSLRには拡張性があります。拡張性を訴求しなくてはDSLRは『大きくて重い昔風のカメラ』になってしまいます。

SLRの時代、各社は交換レンズや外部ストロボ、外付モータードライブ、交換ファインダー！や交換スクリーン、長尺マガジンなどに代表されるモジュールの追加や交換により、システムの拡張性を約束していました。SLRの全盛期と比べると、ダブルレンズキットで完結してしまうD-SLRの世界はなんと小さくなってしまったものでしょう。それどころか、フィルムに相当する撮像素子を選ぶ自由すらなくしてしまいました。

ところで、フィルムAFカメラの時代、SLRは1/8000どころか1/12000のシャッター速度や1/250のストロボ同調速度などメカニズムの上では完成を迎えていたのです。毎年発売されている新型D-SLRの本質は、当時より退化したメカニズムに少しばかりアップデートした撮像素子と画像処理エンジンを組み合わせたものにすぎません。

「私たちアッパレ社はカメラを再発明しました。」

「これがデジタル時代の一眼レフカメラです。」

<つづく？>

技術的には数世代分遅れたカメラでも製品として成立しないでしょうか？ 中古カメラを整備して販売してくれても良いと思うのです。中国にはSRマウントのカメラがあると聞きますし、『ケンコーフィルム一眼レフカメラKFシリーズ』もアリと思うのです。優れた光学ファインダーを持つE3とかa900は、生産終了後、互換機としてのライセンス付きで設備一式を売却できないもののでしょうか。もちろん国内で。そう、ブランド名は「天晴れ(Appale)」(ぷぷ)。

2010/9/14

祝。Olympus E-5。FourThirdsの旗艦機。ローパスフィルタを弱めて画像エンジンを強化したのが目玉と読みました。新番「5」は正に重箱の隅をつついたような熟成機です。悪くはないけど、ボディを継承してコスト増を最小限に抑えたのですから、お値段はがんばって欲しかった。

2010/9/13

sony_a55で子どもの撮影をしているテレビCMを見かけるようになりましたが、デジカメwatch記事(http://dc.watch.impress.co.jp/docs/review/longterm/20100910_392686.html)中のEVFを外部から撮影した動画「連続撮影優先AEで撮影。AF追従C-AFで10コマ/秒の高速連写中のTru-Finderだ」は、良くも悪くもa55の特徴を表していると思います。

撮影者の視点で外部からEVFを撮影した動画の方がOVFのDSLRとの違いを訴えやすいのではなかろうかと思ったが、静止画撮影時はOVFと同じ様にブラックアウトするし、マクロ撮影とか望遠レンズでのフォーカス時拡大表示もミラーレスで一般的だが手ぶれ補正効果を確認できないかもしれない。一方、動画撮影時はミラーレスのモニタ画面と同じ。違いを訴求するのが難しい機種だね。

SRE2310Uの試運転をしました。気になっていたパワーは十分以上で、255mm回転刃をスッと加速しますし、草密度が高くなっても回転を維持しようとするトルクを感じました。また、重量の関係か、左右に振る時の慣性も感じないレベルです。ただ、エンジン振動の抑制が思ったほどではないのは、MB-3010と比べて高回転エンジンだからでしょうか。取説によるとSRE2310のエンジンは最高出力時8,500rpmで最高回転は11,000rpm。常時最高rpmではないし、31*31の23.38 ccでもピストンスピードは12.4m/sなので、非常識な速度ではありませんね。また、混合比は、FC・FDオイル使用時に50:1、FA・FBオイル使用時は25:1。『FBはFAに比べて特に潤滑性、清浄性に優れる。FCはFBに比べてさらに排気煙、排気閉塞性に優れる。』規格(JASO)。

FCは排気煙(や未燃焼オイル)を減らすために薄い混合比で運用してもFBの潤滑性と清浄性をもつ規格と読む。行きつけの出光GS調合混合ガソリンは青色で、煙と排気ガス臭は全く気にならない。ゼプロ2(FC規格)を使っているなら25:1運用でも問題なしと理解する。使用済4Lオイル缶に作り置きしているが「1Lでも作るよ」と言ってくれるのは助かる。なお『Q:2サイクルエンジンオイルは、バイク等にしか使えないのか? A:2サイクルエンジンを使用している草刈機やボートの船外機等にもつかえます。ご使用エンジンの取り扱い説明書をご確認ください。(出典:<http://www.idemitsu.co.jp/contact/faq/lube.html>)』は心強い。ただ、このQAにチェーンソー(全負荷運転をするそうだ)、刈払機が入っていないのは注意点と捉えよう。

オイルと言えば、sm@rtfor2coupemhdはCastrol_Magnatec_10W-40に交換後3,500km走行しましたが、顕著な劣化は感じません。NAエンジンはオイルの負担が小さいのでしょうか。オイル交換をしたmazda店は5000km走行で交換時期を推奨しているので妥当かも。

AutoBacksではsm@rtkは3,000km交換推奨だったが、そのくらい走行するとシフトチェンジのタイミングが合わない感じがしていたものだ。また、sm@rtkで一度だけイリジウムプラグを使ったが電極の劣化が著しかった印象がある。我が家のプレマシーはイリジウムプラグ標準装備だし、i(turbo版?)もそうだという情報があるが、ヤナセのサービス氏からイリジウムプラグを使用しないように言われている。ニッケル電極のツートップスなら良いかと思っているが。

2010/9/7

万能より単機能を好むので携帯電話とipodtouchを持ち歩きます。冗長性を感じないと言えば嘘ですが、携帯電話の電池が切れてもtouchのメールで連絡が取れるメリットはあります。この性格は今に始まったことではなく、フィルム当時の最重装備はmicro60mmを装着したFEと28(85)mmを装着したnewFM2と500mmを装着したα(と3kgの三脚)で撮影に臨み、「これで撮れないものは撮らない」と割り切っていたものです。万能なズームレンズを積極的に選ぶようになったのはFourThirdsを買ってからです。そうすると考え方も変わるもので、その時の装備でできることをしたいと思うようになりました。この考え方では、ZD35一本で撮影に臨むのは心もとなく、ZD40-150を旅の友にすることが多くなりました。一言で言うと年をとったのでしょうかね。

で、35ミリでも40ミリでも写せない世界があるわけで、ZD14-54なら広角から中望遠域(換算後)をカバーする上にマクロ的な撮影もこなせるのです。守備範囲の広い、正に万能レンズだから、レンズ交換の醍醐味がなくなるわけで(笑)。

2010/9/5

カメラとレンズの外装を堅絞りタオルで水拭きしてシリコン布で拭上げると、手元のFourThirdsも充実してきたと実感。

思い起こせば、初めて買ったD-SLRは中古E-300でレンズは新品ZD35。このレンズはライカ版換算70ミリですが、ファインダー越しの遠近感は一応広角レンズでした。ただ、中央部1/4を使う悲しさで、ライカ版で使う35ミリレンズの広がりはありません。その年の夏に新品ZD40-150を買いました。ボケはきれいですし、絵に立体感すら感じる良いレンズですが、E-300では望遠域で手ぶれを多発したものです。しかし、超望遠域を除けばFourThirdsでやっていけると感じたのもこのレンズ。明るく春にIS内蔵E-620を予約購入しました。もともと広角レンズは苦手ですが、広角レンズの必要性を感じていたのは事実で、E-620購入の時もキットレンズをどうするかでは悩みました。一つくらはHGクラスが欲しかったし、HGクラスの50-200より、14-54

の方が使用頻度が高いと考え、E-620はボディだけを購入しました。＜なんとなく続く か？＞

2010/9/5

次期a900はEVF機となるという噂があります。メーカーの海外幹部が今年の春先に同様の発言をした後にFourThirdsが騒がしくなった気がします、 α 界は揺るがないことを願います。大切な受け皿ですので（笑）。

「モジュールカメラ」ですが、ユーザが「モジュール」を取り替えることを想定していないかもしれません。というのは、複数の要素(モジュール)を組み合わせで多様な製品を作り出すことが目的の「モジュール化」された製品は自動車を始め多岐に渡りますが、販売後にユーザがモジュールを交換できるシステムは稀だからです。というか、レンズ交換式カメラの交換レンズもボディも、それ自体がモジュールと言える訳で。

2010/9/4

ZD14-54IIの試し撮り。画角のバリエーションも増えましたし、開放F:2.8だから手元のマニュアルNikkorレンズをカバーして余りあります。マクロレンズ並みに寄れるし、本当に万能レンズです。



2010/9/1

妻が秋の旅行を企画中。で、2万円前半で買える中古ZD14-54も考えましたが、OlympusのオンラインショップにZD14-54IIを発注しました。

新品レンズにした理由は、PanasonicにはLeica、sony(NEX)にはCarlZeissという切り札がある中Olympus_u4/3にはHGレンズを投入する噂もないことと、4/3専用ボディはE-5で最後という噂から、HGレンズやSHGレンズとモジュールカメラで関連付けた。灰汁抜きはできたから、モジュールカメラはEVFで出てきてもよい。っていうか、4/3マウントアダプタとVF-2を装着したE-PL1に防水ケースを取り付けたら新型4/3カメラができそうな気が（笑）。

冗談は置いておいて、E-PL1は歴代4/3で最高の解像度らしいことは知っていた。ダイヤルがないのでオートマカメラと思い込んでいたが、AモードやMモード時は上下ボタンでマニュアル操作できることを展示機で確認。

2010/8/26

ハッセルブラッド製Phocus.appはdpreview.comからDLしたsony_a55のRAWファイルを現像できませんでした。というか、昨日の時点で対応していた現像ソフトはなかったかもしれません。

OSXは多くのデジタルカメラのRAW形式にシステムレベルでサポートしていて、『デジタルカメラRAW互換性アップデート』やOSXのアップデートによりサポート機種を追加しています。Phocus.appはこの機能を活用(依存)していますが、未発売のカメラ(a55は9/10発売予定)なので、まあこれはしょうがないでしょう。

OSX10.5.xはE-300のRAWデータ対応だが、E-620のRAWデータには非対応だった。OSXアップデートは期待できない時期だったので『デジタルカメラRAW互換性アップデート』で解消しようとしたが、当時は(試してみたが今も)『Aperture3』か『iPhoto'09』のインストールをチェックする仕組みだった。で、『Aperture3』のトライアル版を利用した。

2010/8/25

sony_a55の撮影可能枚数は330/380枚で、a33は270/340枚(OVF/液晶モニタ)。a55は何らかの省電力チューニングがなされているのでしょうか？ 昨日は褒めました、AFカプラ装備の理由は「G」や「zeiss」系を含めてレンズのモータ内蔵化が終わっていないことでしょうね。ところでweb上のlineupは、

a900

a55

a33

a550

となっていますが、ネーミング方法が変わるのでしょうか？

例によってAPS-Cの1600(1400)万画素は3200(2800)万画素ライカ版の中央1/2クロップと考えるとDTレンズには荷が重そう。冷静に考えるとsonyにはキラールレンズとを感じるものがない。Olympusの動向を横目に、キタムラで下取りセールが始まるのを待ちながら中古市場をチェックする。

今は液晶モニタを物色するのが吉のようです。Macmini買換の準備にもなるし、PS3購入の準備にもなりますので。

2010/8/24

祝。sony_a55(a33)。お値段も割とリーズナブル。ボディ内蔵AFモータなくなってもしょうがないと思っていましたが、AFカプラがありますよ(涙)。本当にminoltaを大切にしてくれていると思います。あと一押しで買います。

『クローズドなプラットフォームはいずれオープンなプラットフォームに敗れるだろう。(Acer Inc.の会長J・T・ワン氏談。出典: <http://www.applelinkage.com/>)』には、理想を込めると概ね同感。ただし現実エコシステムが成立するかどうかだけの問題ですよ。

えっ？PowerPCじゃなくx86がオープンだっけ？ カメラ界ではオープンなFourThirdsが風前の灯ですか？(笑)

2010/8/23

sony_a33がa550と比べてかなり小さい写真、可動式モニタの写真(a55)を見ました。a33はE-620に劣らず相当バランスが良いスタイルに見えます。噂では8/24発表ですが、残るは価格とEVFの性能ですね

TTLダイレクト測光方式ならミラーボックス下部にAEユニットを収納することは可能。というのはミラーボックス上部に測距ユニットをもっていかないと連射中や動画撮影中に測距はできないと思うし、さらにLV(EVF)用イメージャがあるかもしれないというから、記録用イメージャに過半を分光した残りの光量で足りるか？と心配だ。

来季に向け刈払機を買換えを検討しています。現行機を整備していた農機具店の勧めでゼノアを考えていました。ダンパー内蔵で10inch(255mm)回転刃が使えることを基本に各社調べると、何らかの「ダンパー内蔵」と読み取れる機種は意外と少ない。また、草で隠れた切り株にガチーンと当ててしまうことがあります。耐久性というか強度・堅牢性の観点からカタログに「山林」と表示されているほうが良いのでしょうか。今季(残2回くらい)は現行機(丸山の30cc)に頑張ってもらいましょう。

お買い物リストへ転記

2010/8/17

KAFイメージセンサー搭載機が欲しくなったらLeica M9を買うしかなくなりますし、MFができるファインダーのE-300を手放すつもりはありません。一方、u4/3にVF2を装備すれば、少なくとも操作感のうえではE-620を代替できると思うのです。ハイスピードイメージャーAF非対応のZD35もfotopusの投稿画像を見るとu4/3での接写も悪くはなさげですし、ZD40-150はハイスピードイメージャーAF対応なので、きっと大丈夫と思います。

u4/3カメラに4/3アダプタをつけた状態はミラーボックス部の空間的には4/3に遜色がなく、4/3レンズの特徴である光路のテレセントリック性は少しも揺るがない。ただし、イメージセンサ(マイクロレンズ)が斜め方向からの入射光に対して最適化されていなければ、だが。マウントアダプタ付u4/3との差別化が図れるかがポイントだと思うが、u4/3ボディベースの4/3マウント機もありと思った。

sonyはペリクル透過性ミラーを採用するシリーズ初の2桁ナンバーボディ(a55とa33)を発売するという噂があります。sonyは「a」とNEXの2本建で行く雰囲気ですね。ところで、「a」は数字の大きいほうが高級機とっていますが、a55はa380より低位機という位置付けでしょうか。それと、イメージャに70%分光する場合、残り30%で測距するのは厳しくないだろうか？透過率可変ペリクルミラーとか・・・ないか。

賢そうな雰囲気のエオスRTは好きだった。ペリクルミラーは高速連射もさることながら静粛性も魅力。AF測距部の位置変更は必要だが固定ミラーなら若干の軽量化とコスト削減も図れるわけか。

2010/8/16

一番初めにD-SLRから撤退するのはOlympusでしょう(笑)が、最後までD-SLRを販売するのはCanonかNikon、その間にSonyとPentaxが撤退という図式でしょう。だから、うろたえる他社ユーザを笑って見ていたのならCanonかNikonを選べばよい。とりわけCanonはより多くの他社マウントレンズに対応できるので、安全志向の方にはお勧めできます。言い換えると、この2社のD-SLRはいつでも買えるわけで、逆にOlympusのD-SLRは**今しか**買えない(笑)。

カメラ歴を整理すると、
中学生のころ、55ミリと135ミリ、200ミリレンズとPentax SPでSLRデビュー。その後K2に替えたが馴染めなかったのか望遠レンズがなかったからか、minoltaコンパクト機を主に使っていた気がする。高校生のころNikonFE+50ミリレンズを買ってもらい、以後いつも手元に置いていた。大学生のころSLRをダッセーと感じ、フジのコンパクトAF機を併用。就職後併用していたminoltaのDualFocalLenz機でNikonでは写せない色緑色があることを知る。NikonFE(newFM2)で花の接写を始める。出入りしていた写真屋が使っていたT90+FDレンズの発色に驚く。買い換えたAFマイクロレンズの発色に満足するがレンズにカビが生えて鬱になる。minolta a303Si-Superを導入。AF-RF500を購入。デジタル化の波に乗れずSLRは休止。E-300+ZD35でD-SLRデビュー。E-620購入。aSweet-Digital購入。

OlympusにもE-3後継機(噂)とモジュールカメラ(噂)が残っています。不安は残りますが、慌てて他社D-SLRを買う理由もありません。ただ、オリンパス祭開催中の様相を呈しているキタムラカメラの中古ショップ(web)を見ると、かなりの既存ユーザが嫌気をしていると読めます。

2010/8/13

先日、D945GCLF2/F13をyum updateした後でafpマウントができなくなっていました。F13のfirewallやSELinux、OSXのFirewall、果てはCTUの設定まで見直しましたが、特におかしいところはありませんでした。結局yumでインストールされたnetatalk-2.0.5とOSX10.6.xの相性問題があるらしい情報をwebで見つけたので、netatalk-2.1.3をコンパイルしました。なお、netatalk=2.0.4では特に問題は生じませんでした。

今でも『デジタル時代の一眼レフカメラ』をゼロスクラッチで構築した素性の良いシステムと思っていますが、FourThirdsに明るい未来はなさそうです。4/3自慢のテレセントリック性にしてもu4/3ではデジタル補正で遜色ない？性能を出せるという具合に、撮像素子をはじめ『デジタル』処理系の進化の幅も大きかったのが現実でしょうか。見方を変えればu4/3の方がより『デジタル』に軸足を置いているのでしょうか。できれば末永く両規格を両立させて下さい。

2010/8/4

同価格帯他社製品の応答速度は5msですが、ProLiteE2210HDの応答速度2msなのでゲーム用には向いているかな？と思いつつ、ヘッドホン出力がないので躊躇しています。一方、I-OデータのLCD-MF221XBRはヘッドホン端子付だからこっちかな。量販店でスタンドの建てつけとか発色とかを見てみます。常々、D945GCLF2/F13用にモニタが欲しかったし、ころ合いだったのでしょう。

ところで、PS3はHDMI v1.3a。ProLiteE2210HDもLCD-MF221XBRもDeep Color非対応のHDMI v1.2aですが、HDMI v1.3a対応で手ごろな価格の液晶モニタを見かけないからこれでよいのでしょうか。

何度となく書くことだが、私は「内部RISC」のP6アーキテクチャとその発展型を心底好きにはなれない。x86命令が入力されるたびにuOPsにデコードする仕組みに非合理性を感じるからだ。これはRISCチップだったPowerMacが私(技術嗜好が強い)にとって初めてのパソコンだったことが大きく影響していると思う。ソフトウェア展開でもtransitionで得るものは大きかったし商業的には正解だったと思うが、心情的にはPPCを採用し続けてほしかった。

手のひらサイズの怪我となると人でもネコでも大けがと言って差し障りないと思います。昨晚、傷口が開いて間もない感じで怪我をしているネコ2に妻が気付きました。喧嘩をした様子も事故も思い当たることはあ

りませんが、ネコ2の手サイズの怪我をしているのは事実。朝一番で行きつけの病院で診察してもらった結果、明日縫合手術を行います。麻酔の準備ため今日の24:00以降絶食ですが、残りの4匹は起こるだろうなあ。

2010/8/2

動画共有サイトに多数掲載されている「グランツーリスモ4」がPS2用ソフトだったとは！で、2010年11月発売予定のGT5がPS3用ソフト。PS3+GT5の購入に向けHDMI端子のついたモニターを探し始めました。macmini(現行機、所有機)はDVI出力、PS3とモニターはHDMI接続を考えているので、ProLiteE2210HDS(1920×1080(FullHD1080P)、D-SUB/DVI-D/HDMI入力)あたりが候補です。レースゲームは苦手ですが、logicooolのDriving Force[^](TM) GTならなんとかなるものではないでしょうか？ Appleは16:10のアスペクトレシオを止めていたし、PS3にLinuxをインストールできなくなっています。浦島状態です。

PS3にlinuxをインストールできないのは残念だが、実際のところ、-arch ppcでメモリは256MB、消費電力量(2500番台で69w/XMB、最大230w)を考えるとやりたいことは思い浮かばない。当初広げに広げた大風呂敷をゲーム専用機に軌道修正したのは正解だったのだろう(任天堂2010年4~6月期決算で連結当期損益は252億円の赤字)。Cellの作る世界で夢を見る。か。

2010/7/30

MacOSX、FedoraとたてつづけにOSをupgradeしましたが、どちらともこれまでになくスムーズに移行できたと思っています。両OSとも構造的な変化が小さかったことが大きな理由でしょうが、移行するデータをきちんとバックアップすることの重要性がよくわかりました。今回は特に重複データに注意しバックアップするデータ量を削減しました。データ量はHDDの残容量に響くのはもちろん、データをzipでまとめたりHDD間を転送する時間にも影響があります。

ところで、旧MacOSの最後期にプログラミングをしたいと思い(※)「(名前を忘れた)」を中古買いしたもののさっぱりわからず、LinuxPPCに逃げたことがあります。雪豹の目玉機能「Grand Central Dispatch」を試すべく、clamAVのソースコードを加工したいと思っています。

※ 思い出した。SMP(対照型マルチプロセッサ)対応CPU負荷メータを作りたいかったのだった。

動画共有サイトは著作権上UGな気がして積極的には利用していなかったのですが、三次テストコースを走るmazda787B。リミット7000rpmのところ7300rpmまで回した！とか言っていました。なるほど良い音でした。勢いでGr.Cの頃のルマンを見てみると、JaguarやPorscheが走る中、時々妙に甲高い音が入ります。さらに、ニュルブリンクサーキットでアウヂR10と787Bが結構どころか互角に走っていて(GT4)、もう涙です。PS3を買おうと思いました。

今のレギュレーションを勉強していないが、Gr.Cの頃の燃料の総量規制は良くできたルールだったと思う。エンジンは何でもありだったが、JaguarもPorscheもMazdaも市販車派生エンジンを搭載して優勝していたのはREオーナとして嬉しかった。いま時だったら、販売した市販車のCO2排出量に基づいてレース中に使用できるエネルギー量の総量を規制すると良い。ガソリンなら2600L、軽油なら2400L、電気ならxxxxKWhと、エネルギー量を等しくしておく。で、MB社が販売した自動車のCO2排出量は基準値を0.15越えるから、MBベースのガソリンエンジンを使う車両は2600*0.85=2210Lのガソリンを使用できる、と。普通、T社の自動車に乗っている人がN社を応援するとは考えにくいので、「俺がエコに励む分、ルマンでたっぷりガソリンを使ってくれ」と、一般消費者がレースに参加できる仕組みだ。基準をクリアしたベンダーのエンジンを利用するチームにはCO2の排出量取引があるかもしれないし、その分を車重の軽量化に充てるのも良しとする。どうよ？ GT4にはB-specモードはコントローラの下手な私でも楽しめそうな気がして良い。一度見れば飽きるような気がしないでもないが。

2010/7/23

7/19の記事を書きながら前回インストールするべきはF13だったことに気づきました。のんびりしていると年内にF14のリリース(F12のメンテナンス終了)を迎えます。今回はバックアップも万全にすませたので、Fedora-13-i386-DVD.isoから起動して「upgradeインストール」をしました。カーネルを2.6.33.3-85.fc13.i686.PAEにダウングレードしてくれたこと以外に気になるところはなさげなので、2.6.34で起動するようにgrub.confを編集し、F13にアップグレード終了っと。

Fedoraは年1回のupgradeが必要だが、D945GCLF2には専用モニターがない。それどころか、汎用4P電源コネクタが足りない。ODDが必要なときは電源分岐をしてU-ATAコードをつなぎ換えなければならない。そろそろATX電源を買った方がよいのは山々だが、小容量高効率電源ってのにはお目にかかれぬ。380w電源の25%でも95Wと持て余し気味なのだが。。

2010/7/20

7/19、OSの環境移行に備えてデータのバックアップとD945GCLF2/F12に保存しているデータの整理を進めていたところ、予想より早く雪豹(10.6.3)とトラックボールが届きました。バックアップといっても、基本的にデータをファイルサーバに保存しているので、Macminiから移行させるデータは、“~/Library/Application Support/Firefox/Profiles/xxx.default”と“~/Library/Thunderbird/Profiles/xxx.default/”、年賀状データ、iTunesStoreで購入した数個の楽曲くらいで済みました。それと、clamav関係バイナリ、lingonの設定スクリーンショットをzipでまとめてファイルサーバに保存しておきました。

ここまでできていたら早く環境移行をした方が吉(古い環境でメールを回収してしまい新しい環境に反映できなくなったなどの事故防止)と思い、夕方からDVDから起動してのクリーンインストールを始めました。前回はHDDをシングルボリュームで使いましたが、今回は約100GBと約15GBの2つにパーティションを切りました。インストール終了(再起動)後の基本設定(自動アップデート)を済ませ、firefoxとthunderbirdのleopard環境を再現しました。本来なら、xcodeをインストールしGMPとclamavをmake installする手順が必要でしたから、clamavのバイナリが使えたのは幸いでした。総じて、これまでで最もスムーズにOS環境移行できました。

トラックボールは「OrbitTrackball with Scroll Ring 72337」。ボールが中心の配置とスクロールリングで選びました。赤色LEDでボールの移動量を計測するタイプで、ボールは小さめながら転がり感はスムーズ。スクロールリングの操作性も問題なし。難点は、本体を動かす際にリストレストが外れてしまうのと、マウスのホイールクリック機能が欠けていること。昔は画像加工など細かい作業にはマウスの方が向いていましたが、どうでしょうね。

2010/7/18

<噂>FourTHirdsカメラ(D-SLR)はE-3後継機を最後にDiscon。ZDレンズはモジュールカメラで使用できるようにする。</噂>モジュールカメラは4/3より大きなサイズのイメージャを持ちZDレンズはそのイメージャの中央部を利用する、またはモデューラカメラでは4/3ユニットが用意されると解釈しています。私はこの方向性に期待を感じています。だから、ZD50-200は購入候補です。

ライカ判3200万画素のイメージャの中央部1/4を使用する方式だと、4/3で800万画素に相当する。今時特筆するスペックではないが、「テレコン代わり」と考えれば悪くはない。ただ、 $\mu 4/3$ をメインストリームと考えるとライカ判サイズの3/4は使わないことになるから、ライカ判イメージャは考えにくい。そこで、イメージャ+シャッターもモジュールの一つと考えると、 $\mu 4/3$ モジュール+ミラーボックス空間=4/3となる。ただ、これでは $\mu 4/3$ カメラ+4/3マウントアダプタとどこが違うのか分かりにくい。もう少し情報が出るのを待つ以外ないのだが。

2010/7/17

Macminiを買うより草刈機かレンズを先に買う方が良さげなので、雪豹をオーダーしました。同時にPowerMac8500を使っていた頃以来になるトラックボールもオーダーしました。



2010/7/15

FC3Sを運転していた頃。極端な話、アクセルとブレーキ操作で車体を振り回せる自信がありました。smartfor2coupemhdで良い燃費が出せるのはその頃身につけたアクセルワークの成果かも。

2010/7/7

7/4に数時間草刈をしました。草刈機は4年前、前の職場で同僚さん(当時定年前年)が体力的に『重い』という理由で譲ってくれた30ccの高出力機。実は今年の使用前整備で『そろそろ買い替えですね』と言われていました。都会在住の方は分からないでしょうから説明すると、草刈機は全長2m弱で乾燥重量4.5kg前後の棒状の機械です。肩掛けベルトで重量を支え、腕で左右に振り草を切っていきます。ですから腕力は

必要ありませんが、そこそこの重さの物体を肩に掛けながら数時間歩く体力は必要で、本体は軽い方がありがたいわけです。そこで、25ccクラスの低振動タイプにしたいのですが、今年中はこの草刈機を使いたいと思っています。

農協指定整備工場ではシャフト内のベアリングが傷んでいる？という見立てで、その状態になったら買替えを勧めているらしい。この草刈機が30ccというのもこのとき判明。25cmの回転刃を使いたいと言ったら23ccでも大丈夫らしいが本当だろうか？。

2010/7/2

smartfor2coupemhdで良燃費をマークしました。相変わらずmhdを常用ですが、今回は「マニュアルでシフトアップ。5速巡行はオートモード。マニュアルシフトダウンはしない。」というパターンです。ヤナセでオイル+オイルフィルタを交換後5,000km走行したので、最寄mazda店でオイル交換をしました。使用オイルはsm@rtkに使う予定で買い置いていたcastrol Magnatec 10W-40(A3)を持ち込み。初めてののお店でしたが、作業は迅速でしつ、サービススタッフの雰囲気も良かったし、パーツ持込み対応、点火プラグ交換も応じてくれるとのこと。エンジンを降ろしたポンダ車も入庫していました(隣はポンダDなのに！?)ので、技術的にも確かなのでしょう。大切にしたいお店認定。ポン♪

上抜きで3.1L。前車で使っていた時はエンジンノイズが小さくなるので数字通り粘度が高いと思っていた。兄弟エンジンのオイルスペックを考えると現車には硬いか？と思ったが、感覚上その傾向はない。給油が楽しみである。妻のプレマシーはイリジウムプラグ(交換時期:100,000km)とのこと。

三菱のサイトで見つけたテクニカルレビューによると輸出仕様のアイは3B21を搭載していて、ピストンはかなり頑張った設計と見た(輸出仕様アイはアイドリングストップを装備しCVTを採用していた)。また、3B21とは無関係かもしれないが、コルトにスクロールエアコンを採用と書いているページもある。sm@rtkはエアコンに馬力を食われている実感があつたが、451型はわりと平気だ。排気量増加は効いているだろうが、スクロールコンプレッサ採用だったら嬉しい。

2010/7/2

smartfor2coupemhdで好燃費をマークしました。相変わらずmhdを常用ですが、今回は「マニュアルでシフトアップ。5速巡行はオートモードで。マニュアルシフトダウンはしない。」パターンです。天気が良い日中はエアコンが必需ですから燃費には厳しい時期です。5,000km走行したので、sm@rtkに乗っていた最後期に買い置いていたCastrol Magnatec 10W-40 ACEA A3に交換しました。施工は馴染みのサービスさんがいるmazdaディーラー。やはりこのオイルは良いと思います。

三菱のサイトの技術広報で見つけた情報によると輸出仕様のアイは3B21を搭載していて、この3B21のピストンはかなり頑張った設計と見た(輸出仕様アイはCVTを採用していた)。また、3B21とは無関係かもしれないが、コルトにスクロールエアコンを採用と書いているページもある。sm@rtkはエアコンに馬力を食われている実感があつたが、451型はわりと平気だ。排気量増加は効いているだろうが、スクロールコンプレッサ採用だろうか？

2010/6/26

雪豹にupgradeしていない時点で出遅れているのですが、Macminiもモデルチェンジ。もうね、完全においてけりですよ。新しいバージョンのMacOSXは噂にも上りませんねと開き直りですよ。

庭の素材を一通り撮影したし、目撃ポイントでカワセミに再会していません。鳥撮りにはZD50-200かAFRF500を生かせるボディが必要ですがどちらも買えていません。それに葉食いの虫の時節になったので写真は休命中。一時sony製APS-Cサイズ機の導入を考えましたが、キットレンズでは(ライカ版カバーレンズでない)センサーの性能を引き出せていない気がしました。結果的にキットレンズでもよく写る=素性が良い4/3を確認しました。

ところで、olympusはレンズ交換式デジタルカメラのモジュール化を進めているという噂があります。で、Kodak、Fuji、Sigmaの撮像素子をテストしているという噂まで出ています。これは、D-SLR導入を考えていた(踏み切れなかった)頃考えていた「デジタルパック」に通じるものを感じます。

Fujiなら非ベイヤー配列カラーフィルタ搭載センサじゃなきゃ意味がないし、Sigmaのセンサならカラーフィルタさえ必要としない。デジカメは撮像素子の特性に合わせた画像処理ASICを搭載するから、単一のボディに異種撮像素子を搭載するには設計上の制約が大きいのか(反例:E4xxボディはパナC-MOSもコダックKAIも搭載した)? その点、センサ+記録デバイス+画像処理ASIC+I/O部分をモジュール(デジタルパック)とすれば、センサとASICから見た設計上の制約はSSWFとISを組み込むスペースを必要とすることくらいか。

D-SLRの機械部分は完成の域に達しているとしてもデジタル部分はまだ進化途中だから、毎年のように「新型」を発売するのは良しとする。ただ、ボディを一部でも改良するためには金型の変更を要するわけだが、どのくらいの販売数*金額でペイできるのだろう? デジタルパックだけをアップグレードできる仕組みなら、本体とはマウント~シャッターとなる。で、毎年のように

新型デジタルパックが発売されるわけだ。

2010/6/15

/bootの使用率を63%→20%と劇的に下げることができました。副次的に起動に必要な時間も短縮できました。LinuxというかFedoraは奥が深いです。いつものことですが、情報を公開してくれた方々に感謝します。

<前準備>

```
# vi /etc/dracut.conf
```

```
hostonly="" 行を有効化(コメントをはずす)→これにより以後のmakeではinitramfsのサイズは小さくなる
```

<make menuconfigでCONFIG_DEBUG_INFO="is not set"にする>

「CONFIG_DEBUG_INFO」の所在が不明(泣)

	hostonly=	CONFIG_DEBUG_INFO=	modulesの大きさ	initramfsの大きさ	起動時間
1	先頭の#をとって有効にする	menuconfigで is not setにする	57M	4.1M	28sec
2	先頭の#をとって有効にする	menuconfigで y にする	768M	11M	28sec
3	先頭に#を付けて無効にする	menuconfigで is not setにする	57M	11M	28sec
4	先頭に#を付けて無効にする	menuconfigで y にする	770M	81M	58sec

<出典: <http://fedora.forums-free.com/topic-t299s20.html>>

<出来上がっている巨大なinitramfsのサイズを圧縮する>

```
# cd /boot
```

```
# dracut --force initramfs-2.6.34-x.img
```

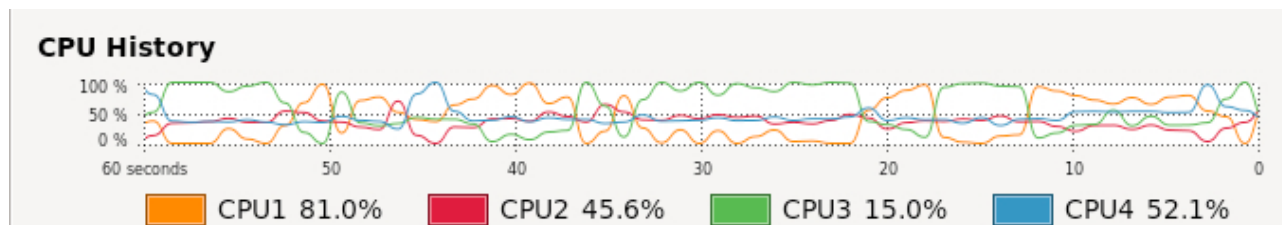
ところで、Appleは新しいiPhoneのOS(iOS4)を無償配布すると発表しました。これはandroid対策とも読めますが、OSのバージョンが1つならソフトウェア開発が楽になることも理由の一つだと思います。もちろん、旧機種種のサポート打ち切りも。

私はandroidを使ってみたいと思いますし、いつかはandroidがメインストリームになると思います。ただ、それは今ではないとも思うのです。iPhoneには完全な自由はありませんが、おそらくほとんどユーザはそれを不自由とっていないということでしょう。

2010/6/8

D945GCLF2/Fedora12のkernelを入れ替えています。Fedoraが.isoやyumで用意してくれるinitramfsより5倍以上容量の大きいinitramfs-2.6.34-xを作ってしまう。250GBのHDDをパーティション設定:デフォルトでインストールしていますが、dfは2つのカーネルセットで「/boot 使用中 63%」と言い、次のmakeを妨げてしまう状況に陥ります。

ところで、前回(2009年8月)にコンパイルした折には「CPU type」で「Atom」を選択できなかったのですが、今回はAtomを選択できました。さらに、明示的にHT有効を「*」したせいか、CPUが高い稼働率を示すようになりました。



「<http://fedora.forums-free.com/topic-t299s20.html>」に有益な情報あり。

『CONFIG_DEBUG_INFO および /etc/dracut.confファイルの hostonly=""の組み合わせが、modulesの大きさ、initramfsの大きさ、起動時間に影響を与える』2010年2月～3月

CONFIG_DEBUG_INFOのデフォルト設定の値は、arch毎にばらばらだ。i386を含めてほとんどは無効になっているが、alpha等一部では有効になっている。make menuconfigでは、「kernel Hacking ---> Kernel debugging」の下に「Compile the kernel with debug info」という項目として(結構深いところに)存在している。今回は、Kernel debugging自体を無効にした。(出典: <http://d.hatena.ne.jp/haradats/200708>)

2010/6/1

smartfor2mhdの燃費データを順調に増やしています。21km/L台で落ち着くか?と思っていましたが、最高記録26km/Lの次はリバウンドもなく21km/L台、その次回は24km/L台をマークしています。sm@rtkと比べて快適性が向上した割に悪い数字ではありません。

ガソリンエンジンで熱効率を高める手段は過給ミラーサイクルしかないと思う。筒内直噴の早閉じを支持する。この場合、可変バルブタイミングを採用しなくても吸気制御により出力調整ができるはずだ。機械的な圧縮比と気体膨脹比を分離させたのがミラーサイクル。「膨脹比:1.2で吸気行程の1/3で早閉じをする場合は大気圧の3倍がBoostのMax値。過給圧とrpmにより電磁弁を開く時間のMax値が決まり、 $x \cdot 1/n$ (アクセルペダル踏み込み量) で基本的な開放時間を出せる。これに加速増量プログラムを加える。」なんていうのは素人でも浮かぶアイデアだ。VWは一步手前の段階まで来ていると思うが、待つのは面倒くさいから日本国内でもCDIを売ってくれないだろうか。一方、自動車の燃料消費量を抑制する手段としては、車体の軽量化とか多段変速機とかアイドリングストップとかあるわけで、そちらに走るのも分からないでもない。自動車メーカはあるが、自動車用エンジンメーカはあったっけ？という話だ。

2010/5/28

Appleとは15年目の付き合いですが、株式の時価総額がMSを超えるとは「よくぞここまで」と思います。また、今日の成功を牽引したiPodとiTunesに対して「Apple包囲陣」ができるなんて、出来の悪い冗談にすら聞こえない時期があったものです。

最初期のMacintoshとiPhoneの類似性を指摘しておく。どちらもクローズドアーキテクチャーでソフトウェアに強固なガイドラインを牽きAppleの管轄下におく。相違点は、iPhoneがユーザから直接徴金できるビジネスモデル。無線ネットワークの申し子。Macintoshは魅力的なGUIとソフトウェアを擁していたが、オープンアーキテクチャなPC/AT互換機とCUIに席巻されたことを忘れてはいないはずだ。もっともその時代の主なユーザは企業だったが。iPhoneにHWの独自性は希薄だから、仮想敵はandroid。店頭で両者が並んでいるとき、価格以外の訴求ができるか？ Sony + Google陣営はAmazonを取り込んだら勝てる。

2010/5/26

sm@rtkはヤナセでオイル交換してもらった時でも4,000kmも走るとオイル交換をしたい気分になりました(過給機付だから?)が、smart451mhdは前回ヤナセでのオイル交換後約3,000kmを走行してもオイル交換を急ぎたい雰囲気ではありません。今回は、sm@rtk用に買っていた「Castrol Magnatec 10W-40(4L)」を使うことにします。MB229.1かどうか未確認ですがACEA_A3ですし、3B20系エンジンにはもったいないくらいでしょう。

日帰りの限界を試してみようと、5/22に妻と二人で長距離走行しました。06:25自宅出発、12:30目的地到着。15:30目的地出発、22:30自宅到着。帰路はほぼ雨天でしたが、省燃費タイヤ(エナセーブEC202)車線変更やブレーキンに不安を感じることはありませんでした。帰路の途中で燃料計が残り1/4を指したので給油し燃費測定。660km/46.5L=14.19km/Lと出ました。やはり侮れないmazda5でした。旅行中、20年近く使っていた「MAG-LITE SOLITAIRE(黒)」を、お尻だけ残して亡くしてしまいました(泣)。さっそく代わりのソリテール(銀)を買いました。

2010/5/23

MacではOSが対応していればファインダー上でRAWファイルの画像を表示してくれますが、その仕組みを利用してHasselbladが他社RAWファイル対応Raw現像ソフト「Phocus 2.5」をリリースするのを知りました。ところが、私のMacminiはOSX10.5.8なので、デフォルトではOlympus E-620のRaw画像を表示できません。調べると『デジタルカメラ RAW 互換性アップデート 3.2』をインストールすれば良いことがわかったのですが、そのためには『iPhoto09』か『Aperture』が必要。で、どちらも持っていない私は『Apertureのトライアル版』をインストールして『デジタルカメラ RAW 互換性アップデート 3.2』をインストール。確かに、E-620のRaw画像をファインダーで表示できるようになり、無事「Phocus 2.5」を使うことができました。これで、ZD50-200 + x1.4テレコン購入予定を、sony aボディ購入に代える可能性が出てきましたよ～。

「Phocus 2.5」はasweet-Dの*.MRWもきれいに現像してくれた(見違えた!)し、e-620のRawファイル現像も第一印象ではOlympusMaster2とあまり変わらない出来映えと思う。Olympus純正Raw現像ソフトと操作性が近く、他のサードパーティ製品ほど操作に戸惑わずに済みそう。

ところで、Olympusも新しいRaw現像ソフトOlympusViewer2を無償配布している。有償版のOlympusStudio2に近い外観と純正無償版Olympusmaster2より処理が早くなっている(Macmini/coreduo1.66/2GB)かな。

妻が常用するmazda5のフロントタイヤ外側に溝がなくなっていました(ショルダ一部にヒビが入っていたし4本とも減ってた)。量販店が紹介してくれた『ダンロップのエナセーブEC202(195/65R15)』4本でしたが、ディーラが良い値段を出してくれた(コミコミ¥50.4k)ので、ディーラーで交換しました。妻は走りが軽いと申ししておりますし、タイヤノイズが小さいと思います。すぐ慣れてしまうのでしょうか、良いタイヤ認定(♪ボン)。ところで、我が家ではMix犬を(年に一度)動物病院に連れていくためのケージが乗る乗用車が必要です。当時のmazdaには、アテンザかベリヤサかプレマシーの選択ができたので中庸をとってプレマシー。5ATを選んだらDISIでした。車重1.5tでNA2.0Lの割に軽い走りをすると思っていたら、今見ても結構良いスペックでした。

エンジン形式:LF-VD、名称は「MZR 2.0 DISI」

排気量:1998cc、直列4気筒、DOHC 16バルブ、可変バルブタイミング、直噴

ボア×ストローク:87.5mm x 83.1mm、圧縮比:11.2

最高出力:151ps(111kW)/6200rpm、最大トルク:19.7kg・m(193N・m)/4000rpm

車両形式:

全長:4505mm、全幅:1745mm、全高:1615mm、WB:2750mm、車重:1490kg 出典:wikipedia

2010/5/15

4速まで自動で55km/h超で手動5速、速度が安定したら自動。アイドリングストップは常用ってパターンで、smartfor2mhdで最高燃費をマークしました。瞬間最大値かも知れないので安心はできませんが、面目躍如というところです。

2010/5/14

ガソリン価格高に備えてハイオクとレギュラーのブレンドを考えています。

国内基準ではレギュラーのオクタン価は90、ハイオクは100で、smartfor2mhdの要求オクタン価は95。

ハイオク満タン後、残量1/2でレギュラーとハイオクを交互に給油(約17L)すると極小オクタン価は93.3。同じく残量2/3でレギュラーとハイオクを交互に給油(約11L)すると極小オクタン価は93.9。なお、タンクがレギュラー100%からハイオク17Lの給油を3回行くとオクタン価は98.7に回復する計算。

sm@rtkの車検時にヤナセがレギュラーガソリン代を請求したことがありました。また、行きつけのGSで輸入車にレギュラーを給油している場面をよく見ますが、smartfor2mhdはNAながら圧縮比が11.4なので、全量レギュラーでは心配です。20,000km走って4,830円の節約(20.0Km/L)ですから、技術的実験と考えるべきでしょうね。

2010/5/12

今時電子デバイスなしでは日常生活もままならないわけで、D-SLRのファインダだけはEVFじゃダメというのは理屈に合わないかも。ただ、接写時の拡大表示などEVFならではの機能もありますが、風に揺れる花を撮影している場合に1/10秒前の画像を見ても意味がありません。現状マイクロフォーサーズでは、実物に対してEVFのタイムラグ+シャッターチャージ時間+リリースを押しシャッターが動作するタイムラグがあるわけですか。と、考えていたら信頼できなくなるのです。やはり私は保守的かも。で、祝NEX3、祝NEX5。モックの時はボディの厚さにがっかりしたけどお見事。

2010/5/9

smartfor2mhdのエンジン(3B21)は、基本的に三菱iのエンジン(3B20)と同じものとのこと。それでも、MBJではMB229.xのエンジンオイルを使用します。MBJ以外の整備工場ではオイル交換をしようとすると、iと同じエンジンオイルで良さそうな気がしますが、やはり心配。で、MB229.x認証オイルを調べています(一部引用元:ヤナセがお進めするエンジンオイル)。ロングドレインだからといって10,000km以上オイルを使うのは気持ちが悪いから、部分合成油でも良いのではないかと考えています。ただ、お値段が大差ないなら全合成油を使う方が安心でしょうね。450は5000km走行するとオイルを交換したくなりましたが、451はどうでしょうね。

MB229.1 「Mobil Super 2000 X2 10W-40 A3/B3」 部分合成油

MB229.3 「MB Motor Oil」 5W-40 A3/B3

MB229.3 「Mobil 1 5W-50 Rally Formula」 5W-50 A3/B3

MB229.3 「Mobil 1 0W-40 Race Proven」 5W-50 A3/B3

MB229.3 「Castrol EDGE 5W-40」 5W-40 A3/B3

MB229.3 「Castrol EDGE 0W-40」 0W-40 A3/B3

MB229.3 「Mobil 1 5W-40 Driving Excellence」 5W-40 A3/B3

MB229.3 「Mobil 1 5W-40 Race Proven」 0W-40 A3/B3

MB229.1? 「Castrol Magnatec 10W-40」 部分合成油(英語圏掲示板情報)

----- 「Castrol SLX プロフェッショナル パワーフロー 5W-30」

* 229.1:基本、229.3:ロングドレイン、229.5:省燃費を意味する?

* ACEA A3かつxxW-40で部分合成油はMB229.1、全合成油はMB229.3?

連休中、家庭サーバD945GCLF2のOSをFedora12に更新しました。同時にSATA2のHDDに替える予定でしたが、S.M.A.R.T.によると異常がないので、使い回しています。

カメラデフォルトでは青色かぶりをしてしまったが、一枚は雰囲気そのままに。



E620/zd35mm



E620/zd35mm 見た目の印象に近い感じ(色温度補正なし)

連休中に撮影した、行楽地の藤と実家のスズラン。



E300/zd35mm



E300/zd35mm



E300/zd35mm

2010/4/25

ずいぶん間を空けてしまいましたので、近況報告から。

sm@rtfortwo(mhd)ですが、約1500kmを走行し22キロ/L台をマークしています。車内静粛性、内装、オーディオ、変速、走行性能など、気づくこと全てが快適化しています。もうじき妻も一人で運転できそうです。

NAの1000ccながら800kg台の車体には十分。600Tもスピードに乗ればトルクフルと思っていたが、NAは盛り上がり感に乏しいものの発進時などトルクの出方は自然だ。アイドリングストップは市街地走行時には煩雑。減速時の燃料カットを実感できるが、減速時シフトダウンを多用すると燃料消費量は増加するの？など、省燃費走法がまだつかめていない。遠出のときはパナソニックのポータブルナビと中古 iPod (5G/30GB) を装備する。標準装備で一番気に入ったのは iPod ドックコネクタ装備のオーディオ (Alpine)。デンソー twotops、SX8000 を処方したい。

Macmini の更新は滞っていますが、整備済みでも良いかと。

clamav0.96 に upgrade。MacBookPro でさえ一部機種は Core2Duo を継続採用だから Macmini の c2d 採用は確定と思う。メモリコントローラ内蔵は良いが GPU の選択を削られるなら AMD を検討する時期かもしれない。

カメラ関係は、A-System を実弟に貸し出した以外に変化ありません。

つまり、自動車方面に資金を投入していたということです。

3/14/10

Sony の NV-U75 との比較し Mac 対応と VICS 標準装備を理由に Panasonic の MP-150DL-k を買いました。

外界がすっかり春めいて雑草も勢いが良くなりました。久しぶりに E-300 を取り出すと電池残量が少なかったため省エネのため、¥525- で買ったジャンク Micro-Nikkor60mm を装着。合わせて、E-300 の電池切れに備えて E620 に ZD35mm を装着し、曇天の AM10 時頃から撮影しました。馬酔木の爽やかな白色が再現できたと思います。

sony_a330 は 1080 万画素の CCD で連射性能は約 2.5 コマ/秒 (ライブビュー対応)、上位機種のア550 は 1420 万画素 CMOS で約 7 コマ/秒。Olympus_E-620 は 1230 万画素 L-MOS で約 4 コマ/秒と MOS は確かに高速なようだ。ただ、Olympus 現行機のライブビューでは撮像素子の発熱によるノイズも気になるし、いくら高速でも OVF 同等のレスポンスは期待できない。micro4/3 との

棲み分けの意味でもFourThirdsにはライブビューを搭載しない選択があっても良い。ところで、Sonyに恨みは残っていると思うが、事業展開が行き詰っているなら、ビジネスとして撮像素子を生産してもらえば良い。否、撮像素子ベンダーはPanaとSonyだけではない。



E300/Nikkor60mm



E620/ZD35。



E620/ZD35

3/9/10

昨年の今頃予約購入したE620が、今でも現行機であることに不満がありますか？ 昨年X3を買ったけど

X4が発売されるから買い替えますか？

昔nikon F3は20年以上販売された長寿命モデルだった。このご時世にそれもどうかとは思いますが、悪いこととは思わない。つまり、E-3(3年目?)くらい長いスパンでボディを開発してくれる方がメーカーにもユーザにもメリットがあると思う。レンズはロードマップに準じた追加をして欲しいが。

3/8/10

sm@rtfor2coupemhdの仮契約を済ませました。2002年1月登録のsm@rtkは変速ギア(クラッチ)の繋がりが独特でパワステがないこともあり、妻が積極的に運転したいと言うことはありませんでした。ところが今年に入って試乗させた451型なら駐車場が狭い施設に行く時などに使いたいというので、妻の好きな赤色にしました。

ところで、sm@rtkの国内カタログ燃費は19.0km/Lだが、渋滞とは縁遠い当地では150,000km走行した私のsm@rtkでも平均25km/L以上を出せる。つまり実際の燃費は道路事情に依るところが大。で、平均時速が高いEURO圏でのカタログ燃費を基に451mhdの燃費を推定すると脅威的な数字が出るのですが？

	451mhd	1998coupe(599t)
urban cycle	5.2L/100km	5.8L/100km
combined cycle	4.4L/100km	4.8L/100km
extra-urban cycle	3.9L/100km	4.2L/100km
4th@1000rpm	25.3km/h	19.1km/h
5th@1000rpm	33.8km/h	26.3km/h
6th@1000rpm		36.6km/h
	830kg	750kg

	450	my sm@rtk	%	mhd(推定)
extra-urban cycle	23.8km/L	26.4km/L	110%	27.5km/L !?

バンケル博士のクリスマスカード(少年の頃の夢)の話以来、久々に胸に響きました。a-systemへの評価を見直します。

(中略)このように、一本一本の品質に徹底的にこだわる姿勢に感銘を受け、ソニーの交換レンズでも一緒に最高のものが目指せると改めて実感しました。でも、私がこの訪問で一番印象に残り肝に銘じたのは、その後の食事で、カール ツァイスのトップの方から受けた質問となりました。

＜勝本さん、ソニーはこれから100年一眼レフのビジネスをやっていく覚悟がありますか？一眼レフのビジネスは、単にカメラを売れば済むものではない。お客様は、“α”マウントがずっと存続することを信じて、ソニーへの信頼にお金を出してくれるのです。＞

我々はこの言葉を胸に刻んで、それから1年後の2006年7月、“α 100”を発売しました。その重要なパートナーがカール ツァイスであったことは、説明するまでもありません(出典：<http://www.sony.jp/mail/mysony/feature/20081106/index.html>)。

3/2/10

Mac_miniやMac_Bookにcore_i3を採用する場合、現行機で採用されているmGPUより劣る内臓GPUがネックになると思うのです。

何年振りかで買ったゲームはFinal_FantasyII for iPhone(iPod_touch)。マルチタッチスクリーン上の仮想十字キーと任意の位置にある仮想Aボタンでの操作です。街中での会話とバトルコマンドの入力に慣れ？を要するものの、以前JailBreakしてインストールしたエミュレータより操作しやすいと思いました。意外と奥が深いのでwebで情報をとりながらゆるゆる遊んでいます。

2/23/10

ところで、車内に固定したナビだと自動車内にいる時でないと目的地等を入力できません。また、妻の自動車には新車購入時にHDDナビ(クラリオン)を取り付けましたが、地図データを書き換えるためにはナビ本体を取り外してメーカーに送るので¥30,000-必要と言われています。その間車載オーディオがなくなりますしディーラへ2往復しなければなりません。その点、車外に持ち出せるメモリナビなら自宅で目的地入力ができるのはもちろん、見知らぬ土地での徒歩ナビも可能です。だから、自動車用ナビはメモリナビ(PND)が良いと思うのです。

2/22/10

ついにMacminiを買うに足る資金が調達できます。この日をどれほど待ち望んでいたか！メモリを2GBにしたりcoreduoに乗せ換えたりHDDに乗せ換えたりして補強を重ねたMacmini(coresolo/2007年)は、妻のwinXPとして余生を送ります。現行機はCPUで1世代分進化し更にmGPUが追加されているので楽しみです。ところで、Appleは27インチのiMac以外にcoreixを搭載してきません。まさか、Apple_A4 + GPUでMacintoshを構築するとか？

sonyがレンズ交換式レフレスカメラを開発中(年内の製品化)と発表しました。この流れは確かなようですが、光学ファインダー(ovf)は生き残ってほしいものです。ところで、撮影の瞬間にファインダー像が消失するのはSLRの欠陥で、d-SLRも忠実にこの欠陥を受け継いでいます。ovfでの解決策は古典的ながらEOS_RTみたいなペリクルミラーですが、evfを採用することで別の解決策が出てくるならevfの存在意義は出てくると思いますよ。拡大表示等evfならではの機能は認めますし。

『FourThirdsも2年以内にレフレスになる』というへんてこな情報が入ってきたが、とりあえず否定された。だって、マイクロ4/3ボディ+マウントアダプタで足るのに、レフレス4/3を作る意味が不明。ついでに言うておくと、テレセントリック性をはじめ光学性能に拘った4/3製品群に対して電子補正を前提とする μ 4/3と、基本的な製品の棲み分けができていると思うんだ。

もうね、d-SLRをアップグレード可能な光学機器と電子機器にモジュール化して設計する時代ですよ。中版カメラのデジタルパックですよ。モータードライブ装着は当たり前で長尺フィルムバックを装着可能でプリズムでさえ交換可能だったNikon F3の設計思想をd-SLRに持ち込むのですよ。ボディはフィルム時代の機能(ミラーボックスとシャッター、AEユニット、AFユニット、電池)を収納し、高トルクモータを内蔵した底面電池ボックス兼縦位置グリップを必要に応じて装着する。ovfもevfを装着しない場合はフラットな軍幹部で背面液晶装備、vfを装着し背面液晶レスってのもあり。フィルムカメラでのフィルムガイドより後ろの部分にデジタルモジュールを装着する。以上、特許申請中だ(うそ)。

2/19/10

極小自動車の買い替え計画を練っていますが、最適な自動車がありません。どうしよう(泣)。この事案もお買いもの計画入りか？

	良い点	悪い点	データ
sm@rt(451)mhd	ある種のステータス 馴染みのあるスタッフ	高入手費 点検料等高維持費	FMC2007
Demio 13C-V	ミラーサイクル 国産由来の安維持費	モデル末期？	FMC2007
FIT 13G(CVT)	フラット荷室 国産由来の安維持費	モデル末期？	FMC2007
e:s	安入手費？ 安維持費？	発売時期未定 非力？(3cyl1NA660cc)	

2009東京モーターショー出展車両e:sには関心があるが、本命は2cyl660cc(t/c)だし、発売も不明では手の出しようがない。廃屋と軽油の差額で自動車税と軽自動車税の差額を分を賄えそうなsma@rtcdi(451)は強力な購入動機になるのだが(お値段も強力になるか？)と、極小自動車を修理しながらe:sかsm@rtcdiの発売を待つのが吉かも。

2/10/10

PCwatchに「iPadにカスタムチップを開発したAppleの戦略(http://pc.watch.impress.co.jp/docs/column/kaigai/20100209_347823.html)」という記事が掲載されていました。

Macに搭載していたPowerPCは3社共同開発だったためAppleが必要とするCPUをタイミングよく調達できなかった。そのためMacはx86にtransitionした、という見方ができる。一方、iPadではApple_A4という自社開発CPUを採用した。ARM11系を搭載するiPhone用アプリをiPadで使えるということだが、Apple_A4がARM11系プロセッサではないと仮定すると『Rosetta』並の処理をすることになる。昔、Appleが新しいコンピューティングの姿として提唱した『Knowledge Navigator』製品として発売したのはNewton_MessagePad。そのCPUは同時期の同クロック86040より2倍の性能を発揮するといわれたARM610。MessagePadでMacよりパーソナルな関係を築こうとしたわけだが、今ではiPhoneやiPadがその役を担っていると考えれば、iPhoneはMessagePadの流れを汲んでいると言えなくもない。

ところで、ARMはMOS6502(NESやAppleIIはこの互換CPUを採用)に端を発するという純粋なRISCプロセッサだそう。この辺りの時代はwikiを読んでも大変興味深い。

週末は日が残っている時間に散歩していますが、先週末、道沿いの水路で青く輝く小鳥を見ました。初めて見たので断言はできませんが、きっとカワセミだったのでしょうか。姿を見るや飛び立っていったのですが、きれいでした。

ところで、職場の移転が決まっているので倉庫の片づけをしていると、どういった経緯かスライドマウントした1970年代と思しき旅行記録のフィルムがたくさん出てきました。とても全てを見る時間はありませんが、富士山とか日光の後景がライカ版におさまっていました。ライカ版はルーペで見たくりますが、世界が凝縮されている感覚をますね。デジカメにはこの感動がないと思うのです。

2/8/10

2/6は極小自動車に乗って県都に行きフグ会席を食し、その後ポンダ店へ寄ってFITを試乗しました。行きつけのディーラとは雰囲気を変にする活況でした。点検で借りたFitは9万キロを走行したレンタカーなので「おっ。がんばっているね。」という気持ちが働いたのでしょうか、試乗車は正にふつ～という感じで何の感動もありませんでした。帰宅途中、新旧フィットが沢山走っていることに気がきました。

試乗したFITは1.3G (CVT)。発進、追越加速でも2000rpmを超えなかった気がする。マニュアルエアコンの操作部はGショック風。瞬間燃費計装備。Fガラス中央上部、ルーフ中央部まで手が届かない。まっとうなトーションビーム式リヤサスに見えた。Fitは2弁/気筒。最高出力@5700rpmなのでCVTというストーリーが見えたが、FITは思想的に後退？と思う。

デメ雄(13CV)には早い時期に試乗済み。エンジン回転を一定にしたまま増速するCVTは新鮮だった。ただ、ミラーサイクルはNAでは成立しにくいはずなのに、通常型エンジンと比べても出力に明らかな遜色がない点は「もどき」臭を感じた。つまり間違いなくパーシャルミラーサイクルだから、トルコンとCVTを意識して運転すると燃費が良いはずだ。実際試乗したディーラーでは『試乗車で20Km/L』という話を聞いた一方、知人の奥さんが運転する同車は燃費が悪いので点検入庫したとも。ガソリンエンジンにはまだ進化の余地があった。それを偲ぶ良い自動車である。

smart(450)のFuel economy Mixed driving : 4.8L/100Km。同条件で2009年モデルのsmart pureは4.7L/100Kだから、600cc→1000ccで燃費は変わらないらしい。ギヤはマニュアル操作だから国内版カタログでは19km/Lだから全く信用していないが、私の極小自動車の実測値と比べてもこの数値は信頼できそう。国内エコカー減税対象にならないのはおかしいし、CDIの正規輸入を真に望む。

2/3/10

近所では梅のつぼみがほころび始めていますので、メジロ撮りもそろそろ終わりでしょう。たかがキットレンズでもZuiko Digitalの実力？を思い知った形になりましたが、今年は500ミリミラーレンズで撮影できたので後悔はありません。来年はZD50-200で撮影したメジロをお見せしたいと思っています。

昨年の秋、妻が『できな～い。』と泣きながら直径10cm位の巻き寿司を作りましたので、バカだなあと笑いながら食べましたよ。で、今日は手巻き寿司。やっぱり酢飯を多く載せすぎて多く上手く巻けません。互いにバカだなあと言いながら。

itunesというかパスワードが分からなくなったAppleIDがありまして、難儀をしています。

2/2/10

7年間150,000kmを共にした極小自動車の定期点検を受けました。代車(延3日)は90,000キロ超のレンタカー、ポンダFit (Gen1/1.3L) でした。予想外にしっかりした作りこみに感心しました。今回交換を勧められたのは次のとおり。

カムカバー 緊急度小 約¥17k- オイル残量に注意し様子見
フロントサスassy 緊急度小 約¥70k 様子見
点火プラグ 強く勧める ¥6.5k- 交換済

この他にも、ルーフの薄皮剥離とか、エアコンガス漏れ？とか快適性の点で気になることが増えており、今後修理箇所が出てくるのは必定。で、セカンドカーの選定に入ることになりました。私的第一候補は極小自動車なので、「敷居が高い」と嫌がる妻を説得してディーラーへ。隣の席では一千万円の話をしています。それはいつものこと。mhdの試乗を申し込むと「1時間くらい、高速にでも乗って、お二人でどうぞ。」と気楽な事を言う。妻の運転で出発。意外なことに『もっと～』ってな感じで楽しそうでしたし、担当さんに好印象を持った様子。

しかし、日を改めてポンダPITにも試乗の予定です。国産車ならミラーサイクルのデメ雄を推したいのですが、リアシートが平らにならない(FITはフルフラットシート)のが弱い。

1/28/10

as-D+AF500RFのRawデータを職場のSilkyPixなんたらで現像してみると、Picasaとは異なる仕上がりになり

ます。しかし、横からとらえたメジロの畳んでいる羽にまあまあピントが来ているとして、尾羽はぼけぼけ。500ミリのF8と150ミリのF8とでボケ量を比べるのはナンセンスですが、新aボディよりZD50-200の方が優先度が高い方針は変わらず。



SilkyPix。



Picasa。

1/26/10

FCとかFDに乗っている頃、積雪時はタイヤに互換性がある父のCapella(FWD)を借りていました。降雪地域で勤務していた当時買った安物オイルジャッキでタイヤを浮かせてイエティ・スノーネットを脱着していたので、チェーン装着が苦になることはありませんでした(※)。今の極小自動車への乗りかえと同時期にオ

イルジャッキを無くし、その頃のことをすっかり忘れていました。ところが、今月中旬に久しぶりに道路凍結が確実になり、そういえばと昔のことを思い出しました。で、妻の自動車の車載ジャッキを借りていたので、チェーン(yeti)の脱着が楽でした。ただ、回転トルクがかかるので凍結路面では滑ってジャッキアップできず、非舗装面で作業しました。

オイルジャッキを購入する意思是課税待ったものの、今乗っている極小自動車は最低地上高が実測約13cmなのに、安物オイルジャッキ(パンタグラフ、シザーズ)は高14cm以上。この点から¥9.8k-(マサダ)の思わぬ出費となりました。良いものらしいので大切にしよう。

※ 装着するタイミングはそれほど悩まないが、チェーンを外すタイミングは悩ましい。「外したすぐその先で凍結していたら」と心配になるものだが、乾燥路面での使用はチェーン(路面)を痛める。

↑ が前フリで、最優先項目のMacminiの更新(coreduo1.66→core2duo2.26、FSB:667→FSB:1066、950GMA→GeForce 9400M)に少し遅れが出るかも。まさかGPUが後退するとは思いませんが、現在のところ次期Macminiのcoreix化情報はありません(薄っぺらいヤツで手一杯?)。雪豹にもとっくに乗り遅れていますし、現行機でも私のMacminiより2倍は速い? でしょうから、Firewireが残っている現行モデルを購入予定です。

1/23/10



E620+ZD40-150(Crop)

1/18に書いた「12M画素のE620でクロップ」を実践してみた訳ですが、絞りで被写界深度が調整できるので楽でした。この写真はメジロから約3mの距離での撮影です。今期残りはこのスタイルで行きます。この距離で撮れるならZD50-200SWDで良い訳ですから、来冬までに調達したくなりました。さらに距離をとりたいときはx2テレコン併用もありですが、大型三脚が必要になるかも。

それはそうと、ZD50-200SWDを導入するならE-620はMFがしにくいからボディの方も、と欲が出てきます。いかんいかん。

1/18/10

2007年初夏にE-300を購入し、同年、nikon-Fマウントアダプタを購入しました。2008年の冬にAi-nikkor85ミリでメジロを撮影しましたが、換算170ミリでは焦点距離が短かすぎました。その年の夏にZD40-150を購入し2009年冬に再挑戦するも、換算300ミリでも被写体に対して焦点距離が短く、クロップ(トリミング)処理が必要でした。幸か不幸か、ZDレンズ群は今でも300ミリ超クラスに手頃な価格のレンズがないので、レンズ

購入意欲は湧き上がりませんでした。

ここに至って、休眠しているMinolta_AFRF500をマウントアダプタの製作依頼をしたりマウントアダプタの自作方法を探した結果、2009年初夏に α のボディを買うに至りました。

3年越しの被写体を何とか満足できる形で撮影できた。その方法も500ミリ超望遠を使う方法と150ミリ級望遠をクロップ処理する方法があることが分かった。そこで、この二つの方法を組み合わせると、より近寄りにくい被写体に対応できそうなことに気づく。つまり、AFRF500で撮影しクロップ処理をする。想定被写体はカワセミだ。すると、a-Systemで6Mより多くの画素を持ち、ついでに高感度側に余裕があるボディが欲しくなる。例えばa900だ。

書いていて気づきましたが、クロップ処理を前提にZD40-150 + E-620(12M)で撮影する価値はありますね。来週試します。

1/17/10

昨日と同じ構成(AF500RF+aS-D)ながら、今日はAFでメジロ撮り。このレンズとの組み合わせでは中央一点のAFエリアなので日の丸構図となります。



PicasaでRaw現像。



PicasaでRaw現像。



PicasaでRaw現像。

1/16/10

以前書いた通り、ACアダプタ電源付属iTX用PCケースの廃熱性能に見切りを付け、ACアダプタ電源をNECのサーバーケースに流用しつつATX電源を探しています。マザーボードをD510MOに更新し2.5-HDDを買い増せば、死蔵しているiTX用PCケースを再活用できるかも。

ようやくAF500RF(Minolta)でお見せできる写真が撮れました。今日ものべ3hほど、ネコたちを交代でネコ干ししながら、屋外で待機していました。

メジロの写真は、逆光にしてもコントラスト低すぎ、と思っていたが、リングぼけに線が写り込んでいる。レンズの前にあった藤の枝が写り込んでいた。メジロ待ちの合間にバラの木に止まった小鳥は良い調子だ。



距離約6m。MF。PicasaでRaw現像(コントラストを調整)。



MF。PicasaでRaw現像。

1/12/10

先の週末、AF500RF+aS-Dをグランドマスタースポーツ(黒)に装着して5~6m先の枝に止まるメジロを撮影したところ、はじめの数枚にカメラブレを見つけました。はっと気づき、aS-Dの手ぶれ補正をOFFにして、その後を切り抜けました。

グランドマスタースポーツ(黒)は高1335mm、耐5kg、φ28mm、自重3.3kgなので、aS-D+AF500RFでも十分だよね~と考えて

いたが、この場合は耐荷重というより視野角5度の超望遠レンズとして考える必要があったのかもしれない。この三脚は当初、野草の接写用に買ったものだが、後にa303Si-Superで甥っ子の運動会を撮影することもあった。当時カメラブレは気にならなかった。DSLRで撮影後に拡大鑑賞できるし、モニター上で等倍鑑賞するから気付くというだけのことかもしれない。ただ、超望遠対応三脚(※1)に手軽さは微塵もない。鉄っちゃんを持っているのだろうか？
※1『ザ プロフェッショナルSP N』高1340mm、耐10kg、自重5.4kg、φ36、¥104,450-

降水量と積雪が気になったので、調べました。

条件	時間雨量1ミリの場合
気温0℃前後で湿った雪	積雪量1cm
気温がとても低く粉雪状の雪	積雪量3cm

1/10/10

aSweet-D+AF500RFでメジロ狙いの合間にE300で水仙を撮りました。



水仙 e300/ZD35



水仙 e300/ZD35



水仙 e300/ZD35

1/4/10

昔、PowerMac8500(PPC604/150/80MB)にフィルムスキャナを接続してポジ・ネガフィルムをデジタル化していた時期がありました。スキャナの性能とか230MBのMOに記録していた事とか保存形式とか、当時のスペックではフィルム上の情報を活かすきれないことが分かったと熱が冷め、200万画素のFinepixで撮影するようになりました。ということを前提に。

撮り貯めているポジやネガをデジタル化したいと思い、スキャナを探したところ、フラットベット型で4,535×6,803画素のスキャンができるそうな。フィルムスキャナより使い回せるので便利と思います。

一昨年はAi-Nikkor85で昨冬はZD40-150で庭に来るメジロを撮影しましたが、やはり超望遠レンズの必要を感じました。ZDで最も焦点距離が長いのは300ミリで、ZD50-200では短いと思うし、手の届く価格帯のZD70-300は評判が芳しくなく、結局買い控えてしまいました。で、AF500RFの再活用を図り、春先にaSweet-Digitalを(x1.5のテレコンにもなるし)購入しました。なかなか活用する場面に恵まれなかった(最短撮影距離4mでF8)ので、グランドマスタースポーツ黒、リモートリリースを装備して半月を撮影しましたが白トビで失敗でした。メジロは今年も庭に来るでしょうか？

1/3/10

無事年が明け、明日から平常の生活に戻ります。今年もよろしくお願いします(ぺこ)



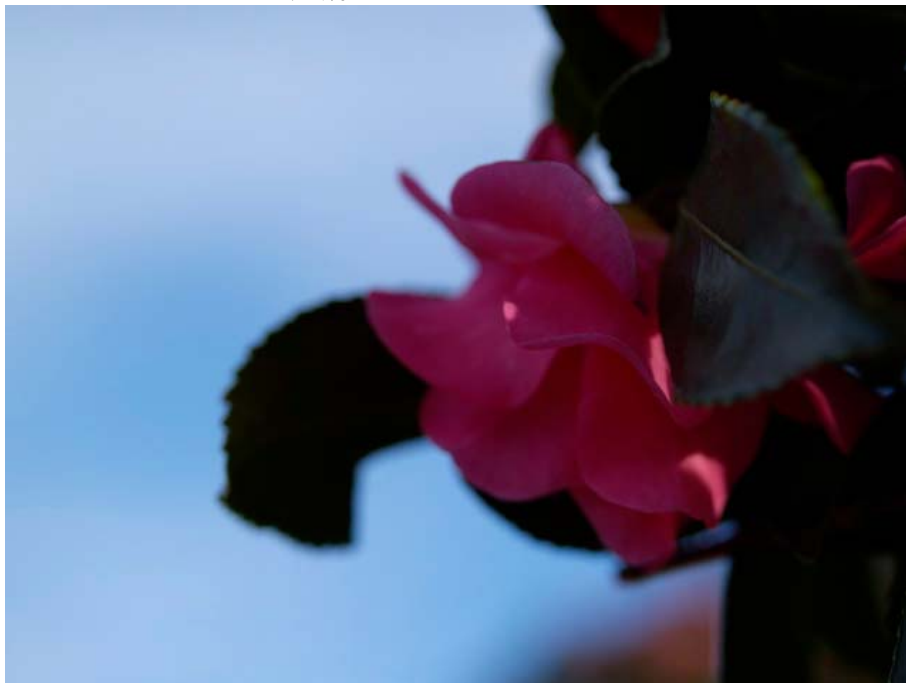
ミニバラ 年中花を咲かせてくれる e300/ZD35



愛車 まだまだがんばってもらう e300/ZD35



ご近所のサザンカ e300/ZD35



ご近所のサザンカ バラに似てなくもない e300/ZD35

12/26/09

最寄りの家電量販店に『Cell Regza』を展示していました。通常のソースを受信していましたが、隣の自社製薄型テレビと明白な差異があるとマズイですね。浮き彫りが施された豪華なカタログを頂戴して帰りました。カタログ随所に紹介されている「Cell B.E」ですが、PS3と同じく7個のSPEを使用する概念図があります。また、1台のCell Regzaにつき3個のCell B.Eを搭載とも(読み間違いの可能性あり)。sonyが見た夢をIBMが手助けして東芝が生産しているCell B.Eに幸あれと祈るばかりです。

複数種類のダイを作るのは生産コストアップになるのだろうが、8個のSPE(内1つはDisable)はオーバースペックの感が拭えない。ルータの内側にPS3など他のCell B.Eを認識した場合に協働するようだと面白い。
Cell Regzaは、アナログ放送やネット動画などの解像度の低い画像を出力させて店頭でのディスプレイするべきではないだろうか？と東芝に提案したいのだが、すべがない。

Cell B.Eに区切りつけて、来年のお買いもの計画を。といっても、最優先事項は新しいMac_mini(搭載メモリは4GB)に決まっています。で、次からが悩みどころ(予想価格¥10k超えのもの)を事業仕訳風に。

2. 17型以上のモニタ

別室で稼働させているAtom330/Fedora11(解像度:1024*768)にはモニタを接続していないので、メンテナンス等を行う

時はMac_miniからリモート接続をして操作しています。ところが、現在使っている15型モニターでは、GUI操作のためVNC接続をすると縦スクロールが生じ、円滑な作業の妨げになっています。この問題を解消するためには、画面サイズが4:3の場合、17型以上の表示面積が必要となります。

3. DSLR用交換レンズ 加筆:2010/1/26

AF500RFでメジロを撮影したが、E-620+ZD40-150(キットレンズ!)のテレ端で撮影しトリミングした方が見栄えのよい仕上がりになる。よって、A-System新ボディの購入を見送り、ZD50-200SWD(、テレコン)を2010年中の購入予定とする。

2年をかけてE-Systemの中古ボディ*1、新品ボディ*1、35ミリマクロ*1と14-150*1の投資をしてきました。E-Systemはマウントアダプタを介して手元のNikonレンズ(28,50,85,micro60)を活用できますが、A-Systemのレンズをマウントすることができません。そこで手元の500ミリ超望遠レンズを使うために中古ボディを購入し、手持ちの50ミリマクロ(カビ有)と35-70も利用できるようになりました。今後はE-Systemにあっては近接撮影もでき旅行に最適な14-54II、A-Systemにあっては新型ボディに更新し、補完し合うシステムを作りたい。

990. 携帯電話 優先度変更2010/2/2、加筆

2010/2/2

iPhoneをカーナビ代わりに? 極小自動車451などでiPodminiを車載プレーヤに。

2010/1/26

CDMA版iPhoneの噂。willcomのモバイルルータ(eneloopAA*4で3h稼働)は2年契約で月額980円。

現在auですが電子メールオプションをつけていないので、外出先でのe-mail手段がありません。iPhoneを新規購入して現在使っているiPod touchの機能と統合するのが最適解とは思いますが、モバイルルータを契約してiPod touchを活用する方法もあります。引き続き研究していきます。

999. アナログ型アラーム付ガラス風防水腕時計 優先度変更:2010/2/2

通勤自動車でアイドリングストップ時の30秒や45秒を視覚的に計時できるアナログ型でないと、青信号に変わるタイミングを誤り、通行に支障を起こす恐れがあります。また、目ざまし時計としても活用したいと考えています。

12/15/09

x86のメリットとされる「豊富な過去の資産」をソフトウェアと解釈している向きがあります。core2duoで8086(1978年)のバイナリコードを実行できるらしいのですが、Win3.1用Lotus1-2-3はWinVista非対応である現実を「豊富な過去の資産」と表現するのでしょうか? ソースコードから特定のCPU用コンパイルできるのですから、「豊富な過去の資産」=「現状では動作しないことが多いソフトウェア」でしたらx86から他のCPUへ移行できないのはナンセンスです。

過去の資産とは8086のx86バイナリコードそのものだとすると、1978年当時の足し算演算バイナリーがあったとして、それはcore_i5でも、VIA_C7でも正しく処理できることを意味します。ここで重要なのは、core_i5とVIA_C7ではCPUのuOPに恐らく互換性がないことです。IntelではP6コアから内部RISCになっていますが、異なるアーキテクチャのプロセッサのマイクロコードは100%同一ではないでしょう。この違いを吸収するのがデコーダです。「過去の資産」=「x86バイナリ(命令)」をデコーダがuOPに分解するのですから、x86をPower命令にデコードしてCell B.Eに処理させれば「豊富な過去の資産」を活用できる。うひうひ。

One more thing.

12/14のクローズアップ現代(NHK)で3Dテレビを紹介していましたが、1つのCell B.Eでリアルタイムで3D化できると思います。PS3とCell_Regzaがあれば過去のアナログ映像でもリアルタイムで3D化できかもしれません。頼むよ。

12/14/09

時々、思い出してはPS3にメモリ増設する方法を検索するものの、ヒットしないので不思議に思っていました。考えてみればPS3はXDRメモリ。増設しようにも手の出しようがない訳です。で、「DDR Cell」で検索すると、これも手を出せる代物ではありませんが、あるにはある。まあ、XDRでもメモリバンドが不足しているという話もありますから、DDR2じゃどうしようもないのでしょうか。じゃ、目先を変えて、LSを2MB/SPEにするのはどうでしょうか。PPE*1+SPE*2でも90GFlops/3.2GHz(C2Dは15GFlops)なんだし。

<http://pc.watch.impress.co.jp/docs/2003/0901/kaigai015.htm> .. こういう未来を待っているのだが、21世紀的な夢だったと評されることになるのだろうか。

12/9/09

昨日書きたかったことは「Pentium-MMXを束にしてかかったらCellB.Eに勝てるとでも思っているのだろうか（Larrabee）？」ということでした。明けて本日、PC Watchに『Larrabeeの製品計画を仕切り直しに』という記事があがっていました。

「CellB.Eの方向性は間違っていないと思うし、CellB.EをPC向けに投入して欲しい。x86命令を処理する方法はある。」と行間に埋め込んだつもりです。

12/8/09

祝『CELL REGZA 12月上旬発売予定』。c2d比でも10倍の処理速度があるとは認識していませんでした。ところで、独自路線(Power)を続けていけるなら無問題ですが、IBMはx86toPowerデコーダを検討する時期ではないでしょうか。一方、c2d比10倍の処理性能があればAppleのRosettaのようなコード変換もありだと思えます。

相変わらず、CellB.Eのことを考えると目頭が熱くなりますし、RosettaにしてもDarwinにしても胸に響く名称と思います。年をとったということでしょうな。

12/6/09

CoreDuo1.66には重かったぞGoogle日本語。で、ことえりに戻しました。

11/24/09

先進国の中で日本だけが、ある時期を境に株価を下げているというデータをどこかで見たのですが、それはハトさん政権樹立後だとか。自助精神に欠けることも手当は反対ながら、将来の世代への投資とあきらめていましたよ。でもね、『2位じゃだめなんですか？』は画期的でした。確かに『1位のコピをすれば開発費を抑えられる』し、『仕事がないならお金を作れば良いじゃないですか？』だし、『日本の財政が立ち行かなくなれば\$か元に換金すれば良いじゃないですか？』というわけだ。あはは。まいったまいった。

戯言はさておき、ミニマグライトのゴムパッキン(Oリング)を小売してくれると販売元から返事をいただきました。一個あたり100円程度のお値段もありがたい。

11/23/09

この時期散歩に懐中電灯が欠かせませんね。私は単4電池を2本使用するミニマグライトを10年以上愛用しています。妻も欲しいというのでLEDタイプとか検討しました。LEDタイプは電池消耗時に突然消灯してしまうと書いてあるサイトがあり、その辺に疎い妻のことを考え通常のミニマグライトに決め、なおかつ単4よりは電池容量の大きい単3電池を2本使用するタイプ(ヤマダ電機で¥1,450-)にしました。6月ごとにゴムパッキンとネジ山にワセリンを薄く塗布するよう求められていますので、ワセリンをドラッグストアで買いました。ところで、私のミニマグは一度もメンテナンスをしていませんでした(ソリテールも)。す、すまない。



e300/micronikkor



e300/micronikkor

11/11/09

リコーGXRなんてレンズ交換式デジカメが発表されていて、これはアリかなと感じました。昔、リコーはKマウントのボディとレンズを発売していましたがボディはコシナのOEMだった記憶があり、あまり魅力を感じていませんでした。ところが、wikiを見ると『リコーは老舗のカメラメーカ』と評されていて、無知を思い知ることになりました(リコーオートハーフは覚えていました)。

レフレスといわれているレンズ交換式デジカメは高額コンパクトデジカメ市場を席巻するか？私は厳しいと思う。レンズ交換が面倒くさいからだ。ただ、一眼レフ市場を侵食する可能性はあると思う。廉価版DSLRはコンパクトデジカメからのステップアップ層を取り込むために背面液晶でライブビュー撮影をするスタイルを採用する。コストを抑えるためのペンタミラーとF値の大きいキットレンズのために透過率の高いスクリーンを使うのでピントの山が掴みにくいファインダーも特徴で、これらは『ファインダーは要らない』ことを意味する。レンズ交換式デジカメはメーカーとしておいしい市場なはずで、u4/3を始め今回のリコー、噂ではsonyも市場参入の噂がある。でDSLRはどうやって市場を守るか。反射光学系があるだけでもコストを押し上げるのだから高級化路線しかないのは自明。さらにレンズを含めた魅力的なシステムの存在が必要と思う。モデル的には金属フレーム+ペンタプリズム(+アップグレード可能なデジタル系)、内蔵ストロボレス+明るいレンズ(+外付ストロボ)というのはどうだろう。

11/3/09

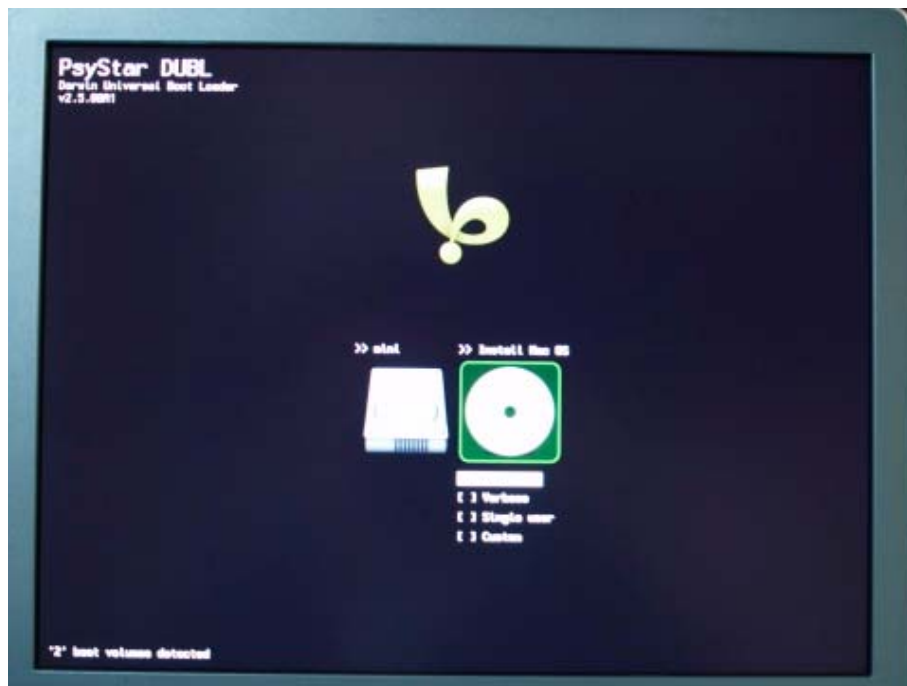
rebelefiの続き。D945GCLF2は全くダメという訳ではないとHardware_Compatibility_Listを読んでいたのですが、『Mac OS X 10.6.2でIntel Atomプロセッサのサポートが省かれる？』(出典: 11/3付け<http://www.applelinkage.com>)とも。

具体的には『Mac OS X 10.6.2の最新のデベロッパビルドでAtomプロセッサのサポートが省かれている』と報じているが、CPUの内部命令たるuOPを異にするCPUで互換性を図るための共通言語として働くx86コードに、特定のCPUを排除する仕組みがあるのか疑問に思う。別の見方をすると、AtomはC2Dとコードの互換性があつたはずだし、CPUIDを読み取りAtomと判別するとエラーを返すこと以外に方法はあるだろうか？

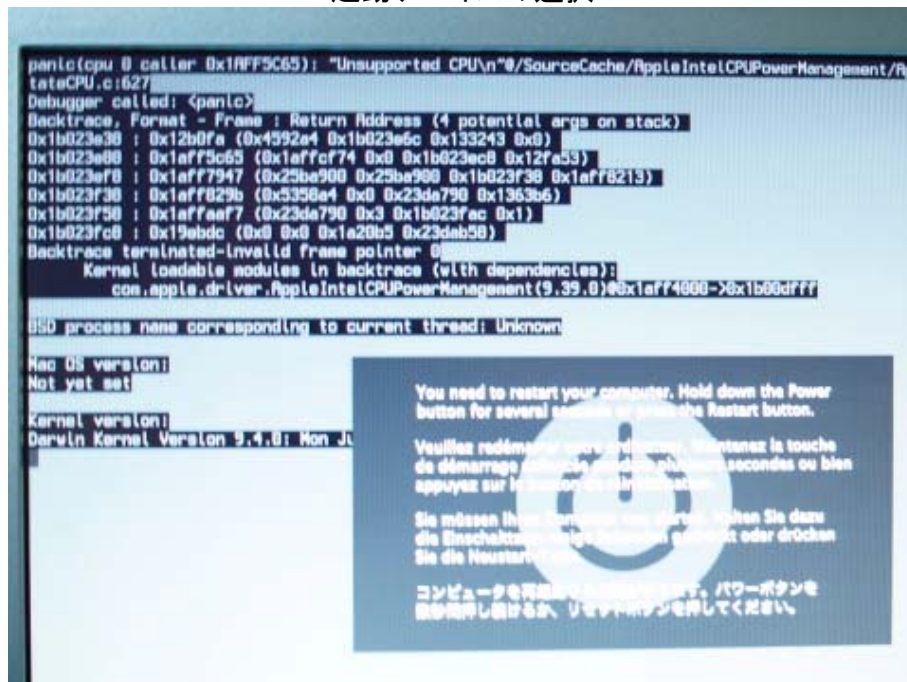
それより、SATAの電源と信号ケーブルは2.5インチと3.5インチで共通仕様だったことに目から鱗でした。あ。今さらですか。そうですか。

10/31/09

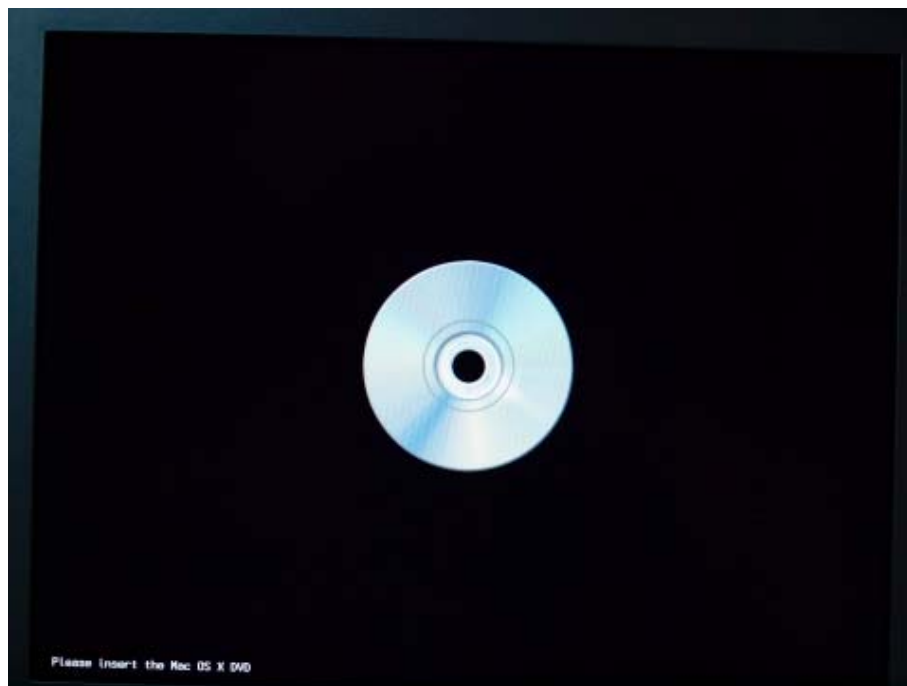
rebelefi_latest.isoでCD-RWを作りました。D945GCLF2にはMacminiを起動できる2.5inchHDDを接続。CDRWで起動すると起動デバイス選択画面が表示されました。HDDから起動させると「CPUが変？」てなカーネルパニック。Installを選択するとAppleDVDに取り替えろとのメッセージ。仰せの通りにすると…。結論はD945GCLF2にはインストールできませんでした。ただ、全く手応えがない訳ではなく、製品版ならどうか？とか、C2D+9400Mマシンだったら？とか。



起動デバイスの選択



Macminiの起動HDDではD945GCLF2を起動できなかった



rebelefi



インストールの初期段階で停止した

10/27/09

late2009となるであろうMacmini(2.26GHz)を購入するべく、2万円/月の全資金を結集中です。散歩の途中、Macminiから取り外した2.5inchのSATA-HDDが余っていたことを思い出しました。というのは、先の週末「RabelEFI」というものを見つけたから。でも、互換性は低いとの情報も。

EFiXは試してみるには高額だしノートPCには取り付けが困難で、boot-132は手間がかかりすぎると思った。で、RabelEFIの実態はBootableCDイメージ。作成したCD-Rで起動させ『画面に表示される指示に従うだけで』GUIDパーティションとEFIエミュレータをインストールする仕組みと予想。このソフトウェアにはAppleの知的所有権を侵害する何物も含まれていないと思う。

10/18/09

D945GCLF2/Fedora11でlinux-2.6.31.4のカーネルビルドで気付いたことですが、BIOSでHTをOFFにしているときの方が処理が早いような気がした(terminalウインドウ内での行の進行が滞らない)ので、HTをDisableで運用しています。

事の次第は。CPU負荷率を表示させるとHT有効時には4本の折れ線グラフが表示される。カーネル構築中、どのコアも100%に張り付くことはない(相互に負荷率の高低を繰り返す)のだが、tualatin256k-100MHzより所要時間は長いと思った。BIOSでHTを無効にすると、前述CPU負荷率表示は2本の折れ線グラフで、make中は一つのCPUが100%に張り付き、他のCPUは低

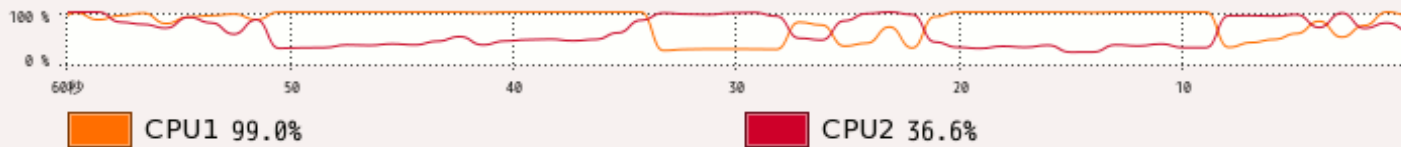
い負荷率で推移していた。make中のターミナル画面もtualatinやMPC8241で見慣れているテンポで滞りなく進む。余興でffmpegを使って動画フォーマットの変換を同時に行うと、2つのCPUの負荷率に顕著な相関関係は見えない。つまり、カーネルはマルチスレッドに対応しているが、gccはマルチスレッドに対応していない様子が見える。

CPU 使用率の履歴



HT有効。CPU1とCPU3が一つの実コア、CPU2とCPU4が一つの実コア。
CPU1とCPU3は相互に負荷率の高低を繰り返すが、CPU2とCPU4は低い利用率で推移している。

CPU 使用率の履歴



10/18/09

3台のDSLRと6本のレンズの手の触れる場所を水拭きして日干ししました。ずっと、レンズのカビはコーティングの錆と思っていましたが、実はれっきとしたカビだと何か(どこか)で読んだ気がします。日光浴でカビの進行が遅れるとうれしいのですが。



トイカメラ風？ micronikkor60



こちらはファンタジックフォーカス風？micronikkor60

10/17/09

linux-2.6.31.3のmakeで連敗を繰り返しているうちにLinux-2.6.31.4がリリースされていました。で、2.6.30.1の.configで2.6.31.4をmake menuconfigし、出来上がったカーネルとモジュールをインストールして起動に成功。モジュールを軽量化して再挑戦してみます。

年内にMacminiが買える見通しが立たないし、Fedoraが落ち着いたら雪豹を買うことにします。商用OSだけを使っていると、自分でカスタマイズしたカーネルでPCを動かす体験は得られないでしょうね。まあ、それが良いことかどうかはその人次第ですが。

<まとめ make編>

[転載](#)

<まとめ 起動しないとき>

[転載](#)

10/07/09

発足当初から賛同企業に列しつつ具体的な動きがなかった富士フィルムですが、『スーパーCCDハニカムEXR』搭載マイクロ4/3カメラを発表するするという噂が出ていました。また、これに絡めてOlympusの4/3カメラ(ミラー光学系があるヤツね)に『スーパーCCDハニカムEXR』を供給するという噂も。大歓迎。

GrandCentralDispatchに対応したxcodeでclamAVをコンパイルすればGCDを利用できるのか？とか、オープンソースの『libdispatch』をFedora11に組み込めばAtom330がウハウハになるのか？と思ってしまいました。すぐにはMacminiを購入できないので、せめてOSだけでも更新する理由があれば、と思ったので残念です。で、iPodtouchのOSを¥600で更新しました。初代iPodtouchはBTも角度センサーもないので使えない機能が多いのですが、コピーペーストもできますし、Mailも横表示が可能になりました。良い買い物(カモかも)でした。そうそう、SafariでAmazonモバイルの認証がスムーズになったような気がします。

ところで、『たるさん』最新号。x86系マルチコアCPUでデコーダを共有しトレースキャッシュを採用する提案は面白いと思います。

CPUアーキテクチャの個別の違いを吸収する仕組みとは分かっているが、世界中のPC(非Netburstのx86)で、全てのx86コードを逐一デコードしている現状が正しい姿とは思えない。1コア分のデコーダを4コアで共有し、共有トレースキャッシュに格納する。キャッシュがヒットしている間デコーダは別のコア(又はスレッド)のx86コードをデコードし、共有トレースキャッシュに格納する。固有のCPUに特化した命令コードは互換性の面で現実的ではなく(デコーダを装備すれば実行ユニットはPowerPCでも良いわけで)、トレースキャッシュは画期的な意味があったのかもしれない。

9/27/09

NikonFE(newFM2)現役の頃、広角系は苦手でしたが、FourThirdsでは標準域の画角になるのでと、構えずに、E-300+Nikkor28mm/F2.8(rayqualのマウントアダプタ使用)で撮影しました。F5.6〜8.0で撮影したのでほぼパンフォーカス状態でしたし、相当寄れますし、使い勝手の良いレンズでした。

それにしても、手元のどのニッコールレンズも、フィルムではこんなに鮮やかな発色をしていなかった(と思うのだが)。



e300/nikkor28



e300/nikkor28

9/24/09

「EFIエミュレータとブートローダ」で行き着いた先はboot-132でした。手元資材で対象機種のD945GCLF2は、万事順調に行ったとしても、Macmini(coreduo1.66)以上の性能は見込めません。で、OSなし中古PCの購入を考えたのですが、結論的には¥69.8k-で現行Macminiを買った方が賢いと思いました。Macmini(mGPU)は私が使って、Macmini(coreduo)にWinXPをinstallして妻専用にすれば良いわけです。すると、雪豹.1を購入する必要もなくなるわけで。また、A22はD945GCLF2が起動不能に陥った時にHDDのデータを抜きとるために温存していますが、SATAに移行したらその役を務められなくなります。D945GCLFかD945GCLF2ならHDDをスワップできるのですが、生憎CPU用4ピン電源がありません。一方、ATX20ピン電源で稼働するAtom230+IONはA22の810E2の代替M/Bとしては最適ですが、PATA非対応。痛し痒しです。

楽しく読んでいるPC関連技術的サイト『たるさん〜』では、ソフトウェアの対応が進まずMultiCPU(MultiCore)の性能が発揮できていない現状が解説されています。雪豹に組み込まれているGrand_Central_Dispatchに期待をしましたが『デベロッパがアプリケーションにGCDを使うようになれば、パ

パフォーマンスの飛躍的な向上を実感する機会も増えることでしょう。』と、従来のアプリに対しては無効ですか。

私、古くからMultiCPUが好きでして、PowerMac8500にnPowerだっけか、PPC604eを2機搭載したCPUアップグレードカードを使ったことがあります。マルチダイのPentiumD (Atom330もそうですね)を見ると懐かしさと加工技術の進化を感じました。

9/23/09

連休で暇ですが金もないのでOSx86の進展を調べると、EFIエミュレータとブートローダを仕込んだUSBメモリからOSXを起動させる手法が登場しています。多分これが正解でしょう。使えそうなHW(マザーボードとか)を持ち合わせていないのでこれ以上調べても無駄だし面倒くさいので止めました。

隣の空き地に彼岸花が咲いていました。久しぶりのE300で。



e300/zd35



e300/zd35

9/17/09

今後の戦略(改定:9/24/09)

サーバ: 8cmケースファン。2009年5月頃にSATAを購入しOSを更新。

Mac: 雪豹1.0。 Macmini(C2D2.0,mGPU)。

DSLR:E300のOH。

検討中

サーバ:EA380。atom系M/B(ION)。

Mac:core_ix搭載待。

DSLR:ZD14-54II。防湿庫。

9/16/09

先日、Macminiからd945gclf2にsudo shutdown -h nowを送ったところ、パスワード入力に対して応答が返ってきませんでした。また、suコマンドで求められるパスワード入力対しても同じ症状。原因として思いつくのは過日BIOSの設定変更とyum updateを行ったこと。WoL、sshやatalkは正常に機能しているので、SELinux辺りが変更されたかと思いました。SELinuxがリモートでのroot権限を遮断しているならローカルログインする方が無難ですし、BIOSのアップデート(バージョン0229、2009/7/29配布)も行いたいと思っていました。で、BIOSをアップデート後BIOS設定を見直していると、電源関係で変な設定をしていた節があったので修正。試しにWoLで起動、ssh接続でsudo shutdown -h nowによる電源断を確認しました。改めてWoLで起動し、sshログイン後suで定期的に電源断のシェルスクリプトを書き/etc/crontabを編集しました。設定した時刻に電源断を確認。su、sudoができなかった理由はBIOSの電源設定なのでしょうね。若干説得力に欠ける気がしますが、解決すれば良いです。

お勧めのBIOSアップデート方法は『ISO イメージ BIOS アップデート』。ダウンロードしたイメージファイルでブータブルCD-R(RW)ディスクを作り、作成したCD-R(RW)から起動させる。確認のためのキー入力2回?でOK。

♪時計の修理に¥13k-♪やめてちょうだい(ケロケロ軍曹)は、ヘソクリで対応し、.1が付いたらOSX10.6と温度センサー付8cmケースファン(エベレスト)を注文予定と。

9/13/09

温度・湿度が低くなるとカメラを触りたくなってきます。ちょうどミニバラが花盛り。



asd/macro50f2.8

9/11/09

experss5800/110ee(D945GCLF2)の電源をantec_ea380に決めたものの、即注文できる財政的余力がありません。余計な手間がかかるのは承知でnoah800のACアダプタ電源を借用して組み上げました。





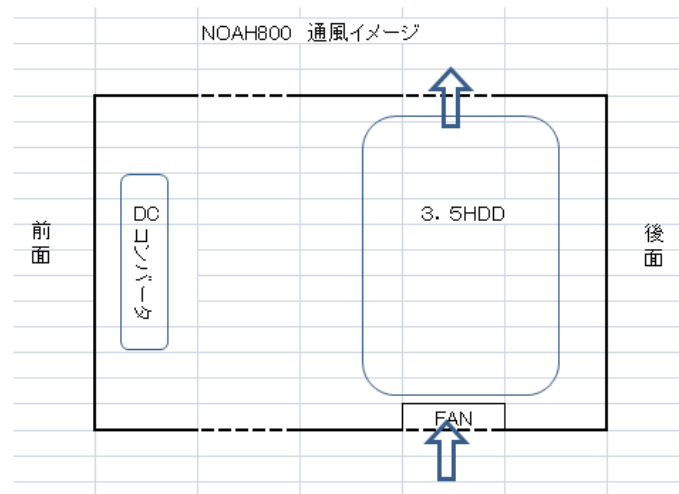
NEC Express5800/110EeはPentiumIII(coppermine)/1BGhzらしいのでD945GCLF2の方が高性能かもしれないし、ACアダプタ電源駆動と言うのもすばらしいジョークだと思う。現在は8cmケース前面のファンで送風しているだけだが、内部空間と開口部の大きさで熱に悩むことはなさそうだ。

9/7/09

久しぶりにd945gclf2ネタを。

I/Oパネル寄側面に標準装備のケースファンを吸気向きに変え、HDDに風を当てながら側面反対側から排気させていますが、前面パネル寄にDC/DCコンバータの熱がこもっています。化粧パネルを外したり、自然対流を期待して床面から浮かせて縦置きしていますが、サーバ用途には不向きなケースだったかも。

<下図参照>



で、品数が多く価格の安いATX電源を軸に対応ケースを幅広く探して見つけたのが当時Pentiumiii搭載の nec express5800/110ee。M/B取付トレイ？があるなど、さすがサーバ機用ケースの作りは違うと思いました。問題はmini-itxとの互換性でしたが、CN13KとM/Bトレイのビス穴の位置が合いました(トレイの半分くらい空いていますが)。PowerMacintosh_8500程のサイズなので、自宅に置けるサイズとしては上限でしょうか。清掃後にD945GCLF2を組み替える予定です。ATX電源を後日調達するとして、当面はNoah800の電源を借ります。ATX電源組付け後はNoah800とEPIA_CN13000Gが余るわけですか。

pico_psuを次期電源と考えていたが価格高すぎ。で、低出力高効率電源を探した。PC電源は定格出力の50%位に効率のピークがあるらしい。d945gclf2でODDなしFDDなし3.5inchHDD*2(MAX)だと定格60Wでも十分かもだが、STFやTFX電源は200Wクラス、ATX電源だと300Wクラスが下限っぽい。300(400)Wだと50%で150(200)W、25%で75(100)W。350Wまでの容量で80plus電

源を選びたい。

9/2/09

飯山17w型モニタをMacminiに、元々使っていた15型モニタをA22に、と考えていたら17wモニタをA22にとられました(横のばし表示になっているが気に入らない様子)。また、転送速度が遅いらしく時間がかかるものの、A22から青歯プリントもできました。A22でのsmbマウントも上手くいっていて、これまでに充実した環境ができています。la_foneraがipod_touch専用と化していますが。

8/25/09

web閲覧にしか使っていない妻のノートパソコンがDisk Errorで起動しなくなっていてですね。週末、お出かけついでに家電量販店でNetbookを見たのですが『小さくて見づらい。数カ月分のパート代で¥100k程度のを買う。』と言うのです。一方、WinOS機が必要な場面はあるし、予備機の動作確認をしてくれると思えばありがたい、A22を使うか？と尋ねると、試してみようと言う(えらそう)。で、翌日、M/Bの組換えから作業をしていたら『今から日用品の買い出しに行くのよ。おらおら。』と急かされて中断(聞いてねえけど)。帰宅後、HDDのフォーマットから再開し、WinXP、SPやセキュリティパッチの適用、NTTフレッツ光提供ウイルスバスターのインストールまで順調に進みました。Celeron1.3GHz、メモリ512MBですがFedora11でもWinXPでも、動作は軽快だと思います。妻も『これで良い良い。』と。我が家に予備のPCモニタはないので、飯山の17型ワイド18.5型モニタをamazonに注文しました。また、以前amazonで、EPSON_A840とWinXP機とで無線プリントできると知り購入したBT-MicroEDR2をwinXP用に追加購入しました(Macminiは無線プリントできませんが)。妻がAtomファイルサーバ上に保存しているネコ写真をBTプリントする夢を見ました。

妻のノートPCはPentium3/700MHz、256MB(Max)だった。HDDを交換してもだめというか、CD_bootできない。FDからDOSは起動するという状態。購入時はWinMeだったが長らくWin2kで使っていた。飼い始めの頃、ネコ2がスプレーした後、USBポートの一つが動作しなくなりコンボドライブが壊れた。妻曰く『スイッチを入れてインターネットできるまで9分かかる』。新しいVirusBusterは動作が軽いと聞くがWin2kには対応していない。最後のUpGradeと思いWinXPをインストールしたが、気持ち速くなった程度だった(メモリは既に上限)。

8/20/09

次期ファイルサーバ機頭末。

cn13k編

1. 中古マザボを発見し中古メモリと一緒に購入
2. A22を電源付PCケースとして流用し、手持ち160GBUATAIにFedora11をinstall
3. エアダスター噴射で電源を壊す
4. PCケースとしてNoah800を購入
5. wolできないことに気付いたりvlcが異常終了するなど、嫌気がさしてくる
6. BIOS更新を図りBIOSをとばしてしまう
7. Noah800をd945gclf2に譲り、VIA_JAPAN送りとなる
8. A22同型中古電源、中古メモリを購入し再挑戦

d945gclf2編

1. cn13kに嫌気がしていた頃、中古マザボを見つけ購入
2. cn13kからメモリ、HDDを流用しFedora11をinstall

と、何をやっているのだから、である。

8/18/09

IBM Netvista A22(Celeron1.3GHz,512MB,20GB)を予備機としつつcn13kのケースとして利用するために電源を探しました。本命は『Pico PSU-90+ACアダプタ』でしたが、代理店もの？と個人輸入品？の価格差が大きいので、今回は中古同型電源にします。

ところで、職場でIBM_Netvista_A30(682611j)を処分する動きがあったので調べさせてもらいました。netburst採用による電源強化のマイナーチェンジと思っていたら、ボディの構造自体が違って、似て非なるものでした。結果から言うとA22はスリム型Micro-ATXケースとして流用しやすいと思います(hp_d325も)。

A30(Celeron1.7)の消費電力は通常59W最大101Wでマザボに対していい感じと思ったが、ケースを開けてマザボを見ると変なサイズだったし、ケースと一体構造のバックパネルは微妙に高さが足らず、PCケースとして素直に使用できそうにない。ところで、段ボールPCケースはともかく、余裕ができれば自作ケースを作りたい。

モデル	マザーボード	電源	ケースファン	バックパネル
6339-3gj(A22)	micro-ATX	FlexATX?	なし	取り外し可能
6826-11j(A30)	? 奥に長い	SFX?	4cm*2 (CPUへの吸気)	取り外し不能

8/16/09

CN-13kは週明けに返送してくれるそう。昔、発泡塩ビ板でPowerMacintosh(PCI)に似たケースを自作していた方がいました(「Fake Mac」)。アクリル板より加工しやすいらしいし、cn13kと電源、HDDを納める箱を作ろうとか。

8/12/09

『たるさんのパソコンフィールド』最新号を読んで、私がx86に感じる違和感を考えました。すると、根源はx86の内部RISC構造のような気がする。

Coreプロセッサはx86命令が入力されるたびにデコードしているとか、一つのx86命令を2つのuOPに分解している場合CPU内部は実クロックの1/2クロック相当になるのだろうか?という疑問を、逆説的に「純粋なRISCプロセッサに作り替えたとしたら」と考えた。すると、uOPs命令セットのCPU用にソフトウェアを作るのは無問題だとしても、ラインアップやベンダーの異なるCPUでuOPに統一性があるのか?という疑問に達した。netburstではクロックを上げやすいようなuOPsに分解し、baniasではフュージョンしたuOPsもx86からみれば『uOP』だ。つまり、netburstで生成したuOPsをMeromに入力したらnetburstと同じ結果を出すのか?とか。異なる製品におけるデコード処理の違いを吸収するのが可変長で面倒くさいx86コードなのだろうか。奥が深いわ。

8/10/09

BIOS1.14に更新したらCPU倍率の変更ができなくなりましたし、D945GCLF2が届いたので、ダメモトでCN13kのBIOSを1.02に更新したら、BIOSが起動しなくなりました(没)。手元に残っていたsocket370のvia板からチップをいただくかと思いつつVIAのサポートあてに見積依頼を出したところ、VIA Technologies Japan K.K.に製品を送ってもらえるか?(意)の英文メールが届いたので、乗っかってみることにします。で、noah800をD945GCLF2に組み替えました。cn13000で運用していたデータは、Netvista_A22にF11をインストールして(※1)CN13kで使っていたHDDをPATA接続し、ネットワーク越しにMacminiで回収。CN13Kは黒背景に青色のプログレスバーを白色プログレスバーが追いかけていく起動画面でしたが、D945GCLF2は黒背景の中央にFedoraのロゴマークが表示されていく感じの起動画面でした。どういう仕組みで起動中の画面を切り分けているのでしょうか?

F9が最新の頃はインストールに問題が生じたいしが、Fedora11のインストールは何ら支障なく終了。WoLも問題なし。現BIOSには『SW Single Processor Mode』メニューがない(泣)ので、Intelあてに「via_c7で十分な使い方をしていたのにSingleProcessor版がないのなら『SW Single Processor Mode』メニューを有効化してもらえないか?」とメールを送った。ペンギンを目にする場面はない?

※1 A22/F9はext4を読めないと早合点したが、仕様上はext3フォーマットとしてマウントできたい。

7/21/09

A22の電源ユニットをエアダスターで掃除したら起動しなくなりました。手元のテスターで調べてみると20pinコネクタにスタンバイの5Vが来ていません。電源ユニットを検討しましたが、A22はflexATXタイプだしIBMのボディと互換性があるか不安が残りました。atom機より消費電力量が大きい?PCを組立する予定はないので「PicoPSU-90W SET」が良さげでしたが、NOAH800(ACアダプタ電源付)を買いました。ところで、Mac関連でもないし、相変わらずマイノリティな難民調ですが、この月はPC関連サイトの雰囲気は漂っていませんか?

ということで、VIAのCPUを自分用メモ。

製品名	コア	特徴
C3	Nehemiah	i686完全互換,フルスピードFPU,SSE
C7	Esther	SSE2,SSE3
Nano	Isaiah	x86_64,Out-of-Order

3.5インチHDD対応ケースの中からデザインとACアダプタ電源で決めた。結構高額(¥14,143)になったが、中古EPIA CN13000G+中古1GBとの合計金額はkurobox_pro(amazon)より100円単位で安価だった。なお、kurobox_proを選択するとSATAHDDも必要だった。Noah800はatomにも対応しているので将来的にも安心だが、次もVIAのmini-iTXにしたいものだ。ところでNanoは消費電力が大きいと指摘されるが、undervolt設定ができるはず(未確認)だし、低性能でもx86命令が通るこ

と自体が最大のメリットとなる場面はある。

7/16/09

初めてのx86-BOXはVIAチップセットの専用マザーボード機(celeron900)でした。HWの改造こそしませんでした。Biosでバスクロックを133Mhzにして、Seti@HomeでPowerPC G3やG4と比較したものです(結果、当時のappleが言うほどPowerPCが優れていたわけではないことを知った)。また、後に中古購入したi810E2チップセットのA22よりグラフィックが軽快だった記憶があります。さて、VIAのCPUは一般的に省電力だけど低性能という評価と思いますが、それが望ましい分野もあり、私も今回歓迎したわけです。

で、EPIA-CN13000Gは『片面実装1GBを認識しない』にもかかわらず中古メモリはその指定ができないので、これが最大の力でした。届いたのは両面実装ヒートシンク付メモリだったので早速仮組。

MacminiやkuroboxHGを見ている私としては、mini-ITXそれほど小さくない。biosでunderclockができるっぽい。電源スイッチケーブル、パワーランプは買った方が良くも。fedora10 install DVDですんなり起動。マウスポインタが表示できないがインストールを続行(パッケージ選択に失敗)し、再起動、ユーザーアカウント作成。ログインしてもやはりマウスポインタが表示できない。ただし、マウスは機能しており、適切な位置でクリックすると所定の動作をする。古いバージョンのFedoraで同様の症状及び解決方法を発見したので、試してみる予定。うまくいけば改編isoを作成できると思う。

7/10/09

EPIA-CN13000GとPC2-6400(1GB/DDR2_800)を注文(共に中古)しました。純正Fedoraで楽しめそうです。自由度が増す分余計な仕事が増えるでしょうが、主な用途は玄箱HGから引き続きデジカメ写真置場。IBMボディ、HitachiのHDD(U-ATA)、LGのSuperMultiDrive(U-ATA)を再利用。この次からS-ATAに移行していきます。

7/9/09

ホームサーバとしてAtomベースのベアボーンやマザーボードを調べてみたところ、現在の最適解は『Endeavor NP11-V』だと思います。atom230/1GB/160GB/光学ドライブなし/WinXP(HE)で、HDD(2.5inch)以外はストライク。¥26.8kと新規に組上げるより安価。

次選はIBM_netvista_a22を電源付きケースとして再利用する方法。c7にするか？

atomは2*2Pin(12V)が必要で、運用時は内蔵ドライブ用4Pin電源を変換させるとしてもOSのinstall時に電源コネクタが足りなくなる。よって電源をST-220FAB/24(¥5953-:クレバリー)に換える方が吉らしい。同店でBOXD945GCLF2D、DDR2-667-1GB(NB)と合わせると¥16.4k-。手持ちのU-ATAのHDDと光学ドライブを再利用できる分、kuroboxProやAtomベアボーンより安価。

一方、VIA_C7マザーボードはa22の電源がそのまま利用できるようです。EPIA-CN13000G(LANは100base)とDDR2-533-1GB(NB)で約¥6k-。1000BaseのLGY-PCI-GT(¥1,620)はWoL対応。

7/5/09

久しぶりにE620で。明るいズームレンズがあれば室内で同居ネコを撮るのですが。



E-620(zd35)

6/29/09

暗号化メールの件は研究を休止しています。

自宅の玄箱HGをFedora10にupgradeしてみました。挙動の怪しさを感じたので、Fedora9を再インストール。2.6.25以降の玄箱HG用カーネル再構築は研究中です。最新の玄箱？kurobox_proもFedora環境の情報が豊富とはいえませんが、いくらNewtonMessagePad130やiPodtouchつながりでも、ARMで玄箱HGと同じ苦勞をしたいとは思いません。そうすると、いよいよAtomベアボーンやネットトップをNASに仕上げる方が現実的になったのかもしれません。

カメラ関係ではEシステムで使えるレンズがZD35、ZD40-150、NF60(2.8)、NF50(1.8)、NF85(2.0)、NF28(2.0)、Aシステムの50(2.5)35-80、500(8.0)と、数字だけみると(!)死角がないラインアップができていた。これでZD14-54IIを買いたいというのは明らかに道楽で、その分をAppleにお布施をするべきでしょう。となると、OpenCLとmGPUと雪豹、FierwireもしくはeSATAがキーワード。具体的にはMacmini+ワイド液晶かMacBook13(白)が候補です。

※ MacminiをFedora機として使うことは不可能ではないが、WoL非対応、HDDが2.5inchのうえにBootCampを要するためMacOSXをインストールしなければならないなど、使い勝手が悪すぎる。下取りに出すか、妻に使ってもらった方がよい。

翻ってカメラ関係。FourThirds購入の参考になったblogを読んで。

E-P1はハーフサイズカメラだったオリジナルのPENとイメージャのサイズやマウントに共通項はないにも関わらずPENを名乗っている。反面DSLRのEシリーズは当初OMとの関連を意図的に希薄にしたのではないかと。まあ、SLR当時と同じマウントでDSLR化した他社に対し、AF化に失敗し撤退したOMブランドでDSLRに復帰するのは社内の雰囲気的に難しいと思いますし、当時はマウントもイメージャのサイズも関連のない規格にOMブランドは使えなかったのでしょう。でも、E-P1はそれをやりましたので、単純にOMのネームバリューを使うことも、ライカ版サイズのイメージャを採用し電子補正を利かせた「E-OM」シリーズの立ち上げも可能になりますね。で、買うか？と尋ねられると、私はFourThirdsの心意気を買ったわけで「OMだから買う」ことはないでしょう。

6/24/09

相手から送ってもらった暗号化メールの復号化は成功しましたが、相手に送った暗号化メールを復号化できない状況です。

IBMとFreescaleはただでさえ小さいMac市場を分かち合っていた。従来もMac向けPowerPC開発コストは組込製品で回収していたが、IBMはAppleがCellBEを採用することでPowerPCの生態系を再構築しようとしていたと読みました(情報元:CNET Japan)。そのとおりなら、まったく惜しいことをしたと思います。私はopen sourceの活用以外にintel化の恩恵は感じていません。CellBEはx86コードを・・・(ああ)。PPC970互換の省電力CPUを開発していたPASemiとか、Freescaleは32bitながらDualCoreでSoCのMPC8641Dでまでもう少しの

ところだったし。本当にPowerPCに戻れないものだろうか。

6/23/09

メールの暗号化、復号化を勉強しています。幸いThunderbirdを常用しているので、簡単に環境構築はできました。ところが運用方法が分からず、難儀をしています。

公開鍵暗号方式を用いたメールの送受信では、まずメールを受信する各自が、自分の秘密鍵と公開鍵を用意し、自分の公開鍵を他の人が見られるようにどこかに「公開」する、つまり知られるようにすることが必要である。そしてメールの送信者は、受信者の公開鍵を使ってメールの本文を暗号化する。暗号化メールの受信者は、自分の手必密鍵を使って復号化する。(引用元: <http://www.hi-ho.ne.jp/takayoshi/info.html>)

私がE-Systemを選んだ理由は『デジタル時代の一眼レフ』に共感したからでしたが、店頭で触れたG1はドットが見えなくらい肌理細やかなうえMF時の拡大表示など電子ファインダーならではの機能もあり「追従性さえ向上すれば購入の検討に値する」と感じました。現在のDSLRはレンズ交換式フィルムカメラとデジタル一眼とを繋いでいるのかもしれませんが。E-P1は高倍率ズームコンパクト機との違いを際立たせて欲しいと思います。ところで、5年ぶりくらいにコンタクトレンズを使おうと思っています。

APS-CサイズのDSLRもそれなりに妥協した結果だと納得していますが、APS-Cサイズのイメージャに最適化したレンズはライカ版サイズでの使用に制限がつき、ライカ版サイズのイメージャに対応したレンズ(一般的に高性能)はAPS-Cサイズでは活用できない部分があるなど、マウント規格が同一なだけに中途半端な感じがする。FourThirdsで8M画素は32M画素ライカ版の中央1/4、APS-Cで10M画素は22M画素ライカ版の中央1/2部分を切り出した画像に相当するので高いレンズ性能が与えられるべきであり、事実ZuikoDigitalはそうように設計されている。

6/9/09

OSX_10.6では\$29の「upgrade版」を発売するそうですが、これはMacOSでは初めてのことでないかと思うのです。『「Mac Box Set」は169ドルでOSとiLife '09、iWork '09が含まれる』(出典: http://pc.watch.impress.co.jp/docs/news/20090609_280823.html)ので、再インストール時の煩わしさ(UG版はインストール済旧バージョンを確認されると思う)を考えると悩ましいところです。Macmini又はMacBookの購入計画発動です。

悲しいお知らせも。やはり10.6はPowerPCをサポートしない。

6/7/09

今住んでいる家は、私が小学生の頃従兄弟たち家族が住んでいた後、祖母が住んでいました。結構古い家なので庭木が多く、被写体に事欠かないと言うか手入れが大変と言うか。



E-620(zd35)



asd/macro50f2.8

aSweet_Digital+MACRO50mm2.8で。Gimpでの現像も慣れてきました。
まずはあじさい。約3kgの三脚使用。禁断の「撮り比べ」。色温度7000K(e620は色温度6500K)なので赤みが出てもおかしくはないのですが、『ベルビア』風のe620に対する『プロビア』風な仕上がり。かな。どちらも悪くないと思います。構図はasdの方が良かったですね。



asd/macro50f2.8

続いて「ゆすらうめ」。撮影日の天候も違うので単純な比較はできませんが。



asd/macro50f2.8

これは栗の実。2年ほど前自生の栗の木の実を隣の空き地に植えました。3本芽吹き順調に成長しています。昨年も別の栗の実を植え付けて、2本芽吹いています。

やはりminoltaのレンズも良い写りをするし、aSweet_Digitalも良いカメラだと思った。E-systemから離れるなら迷わずa-Systemにするだろう。

5/31/09

夕方E-620を持ち出して。



E-620(zd35)



E-620(zd35)

5/29/09

asdのローパスフィルタを無水アルコールでクリーニングしました。案外上手く行きました。翌日AF500で空を撮影してみました。ゴミの写り込みはありませんでした。



清掃前



清掃後

5/28/09

フィルム一眼レフの頃はホコリを気にしながらレンズ交換をしていた記憶はありません。E-Systemを使っていて、レンズ(ボディキャップ)を外して放置することこそないものの、レンズ交換でCCD(ローパスフィルタ?)にホコリが付着することを気にはしていません。

ところが、asdに30-85を着けて最小絞で空を映してみるとゴミが写り込みます。手動ブローで清掃しても取れません。まあ、メインレンズAF500はF8固定なので気になりませんが。

5/17にasd+af500で撮影したアヤメ?の葉に縦に並ぶリングボケ。こういう写真を見るとa-systemを再起動して良かったと思います。マニュアルカメラの頃は各社がミラーレンズをラインアップしていましたがAF化が困難らしく、ミラーレンズはカタログから消えていきました。現在sonyが販売している世界唯一のAFミラーレンズは当時ミノルタが販売していたこのレンズが元になっています(そのもの?)。大切にしたい一品です。

このレンズは35ミリサイズ時の画角は5度(APS-C時750ミリ相当の画角とカタログに書いている)。フィルム当時はリモートレリーズケーブルと自重3kgの三脚(Slik_Grand_Master_Sports_Pro)でもブレを拾ったものさ。屈折光学系500ミリF4.5(Σ)は長さ35cm約3.15kg。標準体型のネコ一匹分ですか。

Pentax_k7にはそれほど関心がありませんが、sony_DSLRの新シリーズは応援します。2度目の『αショック』はないにしても上位2社を切り崩せる体力があるのは家電メーカーでしょう。これまで何も考えずにFマウントやEFマウントを買っていた層の一部がAマウントに流れていけば良いなと思います(熟考すればFourThirdsを買うと思うのですが)。ところで、最廉価のA230でも「ミノルタ、コニカミノルタ製αレンズ動作確認済み」となっています。つまりレンズの互換性を確保するためにボディにAFモータを内蔵したうえで『手ぶれ補正内臓一眼レフ最軽量』はある意味立派だと思います。

5/17/09

夕方雨が上がったので、庭に咲いたアヤメ?を2005年発売のE-300+ZD35とasd+AF500で。



E300/ZD35。



asd/af500。

*.mrwの現像ソフトとしてPicasa3(Mac)を使っていましたが、色温度(今はホワイトバランスと言うのでしたっけ)を数値で確認できない点が気になっていました。ufraw単独ではリサイズができないのでGimp.appとの連携を試みていましたが、Gimp2.6.6(X11)で目的を達成できました。



asd/macro50f2.8。

5/10と同じ写真をgimp2.6.6で現像、リサイズ。picasa3よりハンドリングが良い感じ。CFから*.mrw書類の取り出しを工夫したい。

5/10/09

彩りを添えるため黄色いバラを買ってきました。



E620/ZD35。



asd/macro50f2.8。

油断すると馴染みがあるa-systemの方に手が伸びてしまう。カビの生えたマクロレンズを買い直そうとも思ったが、AF500専用ボディとして買ったasdの立ち位置を言い聞かせる。で、GW中、長崎市のグラバー園から対岸に係留中？の自衛艦を撮影したもの。



asd/af500。

5/6/09

特に最近このページにMac関連記事がありませんが、そもそも私がMacを導入した動機は「撮りためた写真(当時はネガやポジ)を(デジタル化して)管理する」ことでしたから、D-slrにより上手くいっているわけです。残念なことに、実家から回収したマクロレンズはカビが・・。

言い訳っぽいですがGWの締めくくりとして、ほぼ半年ぶりにMac_mini(coreduo)にOSX10.5.1をクリーンインストールしました。今回はその直後にclamXavをインストールし、clamav0.95.1をビルドし自動Freshclamと自動clamscan設定をした状態でイメージを作りました。Firefox3.0.10、Thunderbird2.0.0.21、OlympasMaster2.11、Picasa3(beta)をインストールし、112GBのHDDは残100GBというところです。

5/5/09

マニュアルnikonと併用していた頃も感じていましたが、minoltaは柔らかい描写をする印象があります。解像度が低いという意味ではなく、ボケをコントロールする「STFレンズ」(当時の呼称)をラインアップしていたとか、文化の違いと思うのです。私がニコン(D-slr)を買わない理由はマニュアルレンズの発色(注)で、これはaシステムを併用していた理由でした。ですから、E-systemをマニュアルnikonを代替とするメインシステムとしたことは正解だったと思います。



E620/ZD35。



E620/ZD35。結婚記念ミニバラ。プランターに移植後回復した1本。



E620/ZD35。



asd/macro50f2.8。実家に残っていたレンズ。気持ちは分かるが「撮り比べ」をしてはいけない。

(注)ところが、E300で撮影すると「2/16/08～2/24/08」のように、地味と思っていたAi-Sも鮮やかな色を出すのです。

5/2/09

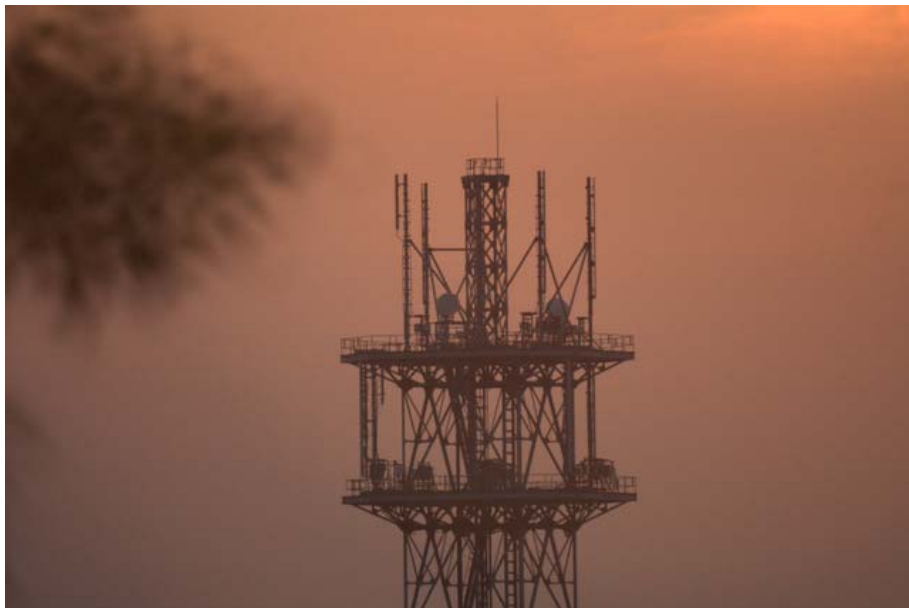
我が家一番の美形ネコ。私には懐いていない。



asd/30-85(85)。

4/30/09

GWの最中に仕事があるのはありがたいことです。早めに帰宅し、逆光下の電波塔を手持ちで。ISO400。1/640。青虫の類が本当に苦手ですから初夏から晩秋にかけては怖くてマクロ撮影などできやしないし、冬は被写体に乏しい。でも、このレンズで風景や鳥など撮影の範囲が広がりそうです。



asd/AF500。

FourThirdsに慣れているので3:2は横長に感じる。e300ではなくasweet_Digitalが初めてのD-slrだったらFourThirdsを買うことはなかったかもしれないが、これも縁である。E300を買わなければE620の小ささと軽さを手にすることはなかったし、FourThirdsだからこそAi-Sレンズやaマウントレンズを使いたい気になったのだと思う。ところで、minolta_a用リモートリリースもきちんと使えた。

4/29/09

asweet-Digital付属のRawデータ現像ソフトは評判に違わずCore2Duoでも重かったので、picasa3(beta)を使うことにしました。そう、我が家にaマウントslrが復活しました。



E620/ZD35。

充電が終わったのが夕方でしたので、同居ネコを。



うにお。asw/35-80。



あかね。asw/35-80。

4/26/09

AF500専用ボディとしてa-sweet_Digitalを購入できそうです。直線的なフォルムに似合うシルバーモデル狙いです。

4/22/09

AF500をfour_thirdsで使うには、入手見込薄のマウントアダプタと最悪元に戻せなくなるマウント改造という方法があります。しかし、AF500が現行製品である以上、本来の使い方はAマウントボディを用意することです。

nikon_FE(newFM2)と α 303Si-superを使い分けていたことを考えると、four-thirdsと α を併用できない理由はない。E-300はマクロレンズを装着し「狙った」撮影、E-620がいわゆる普通の撮影、 α は500ミリの超望遠で鳥撮り、という具合だ。旅行の際はE620+ZD40-150、ZD35(、ZD14-40)とaxxx+AF_RF500をカメラバッグに詰めていく。と、何キログラムだ？

で、 α (今後「a」と表記)の中古機として、E300が発売された年の夏(コニカミノルタ時代)に発売のa-sweet_digitalに注目しています。APS-Cサイズ6Mpixel。sonyによる修理料金は¥22k-。a300の方が賢いか？

4/13/09

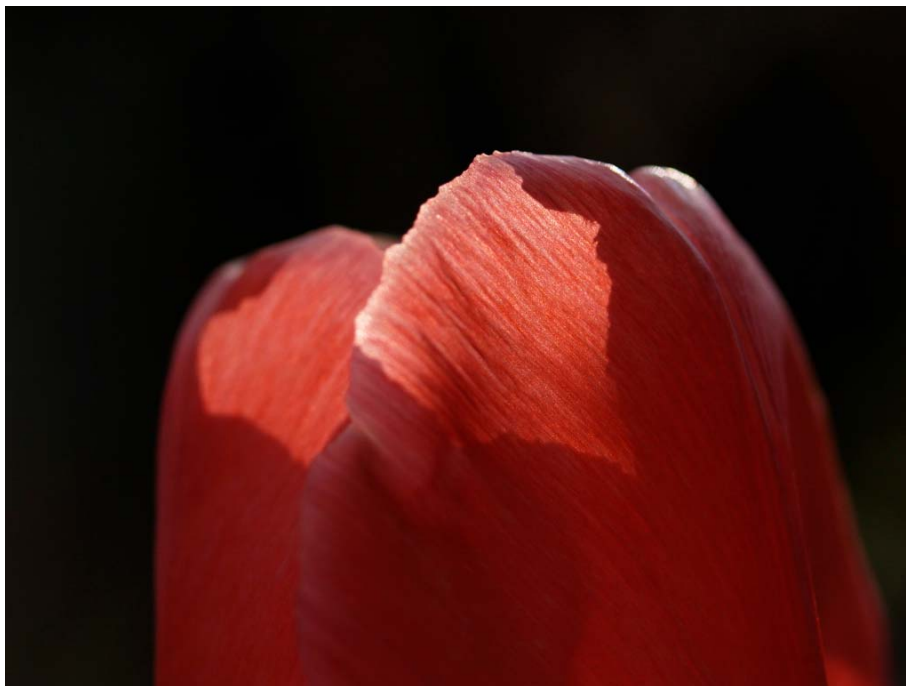
α のカatalog目当てでカメラ量販店に行ったら、ジャンクワゴンでマイクロニッコール60ミリF2.8を見つけました。内部のレンズ周辺部に滲みのようなものが見えましたが、手元のカビカビ同レンズよりよっぽどマシ。¥525-で救出しました。帰宅後、RayqualのアダプタでE300に装着し、無駄に明るい開放F2.8(当時は暗さと言うべきだったが)と重量を感じながら、露出計を使ってフルマニュアル撮影。露出の心配がないからピントリングを動かしながらテンポよく三十数枚撮影していました(フィルム当時はそうやっていましたね)。Raw現像してみると、nikkor侮りがたし！良い買い物をしました。



E300/Micro_nikkor_60mmF2.8。

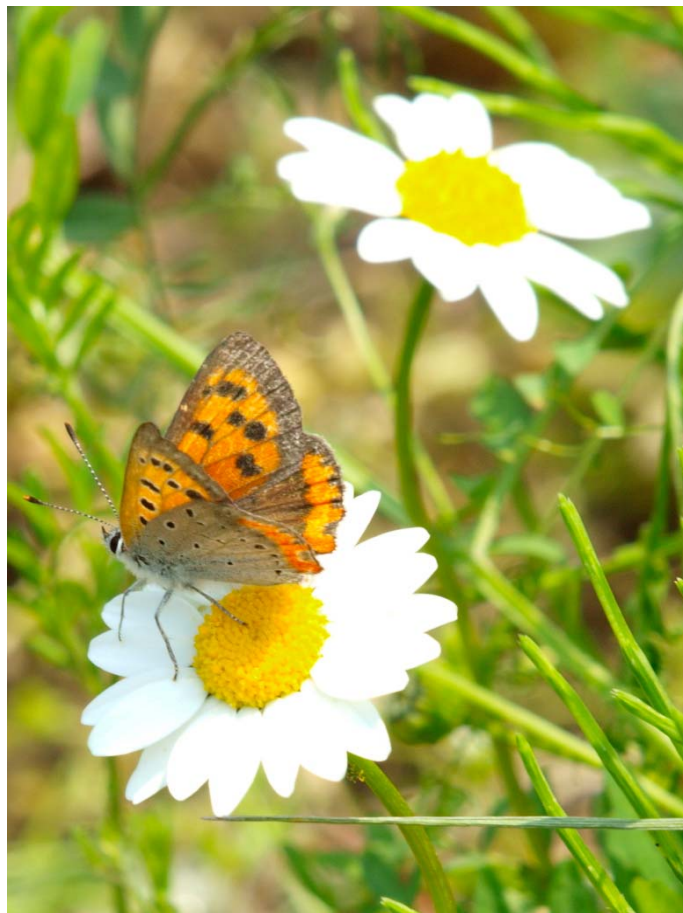
4/12/09

4/11のチューリップをE300で撮影してみました。光も対象も昨日とは違いますが、こちらの方が地味な写りですね。



E300/ZD35。

しじみ蝶。クロップ。白とび。

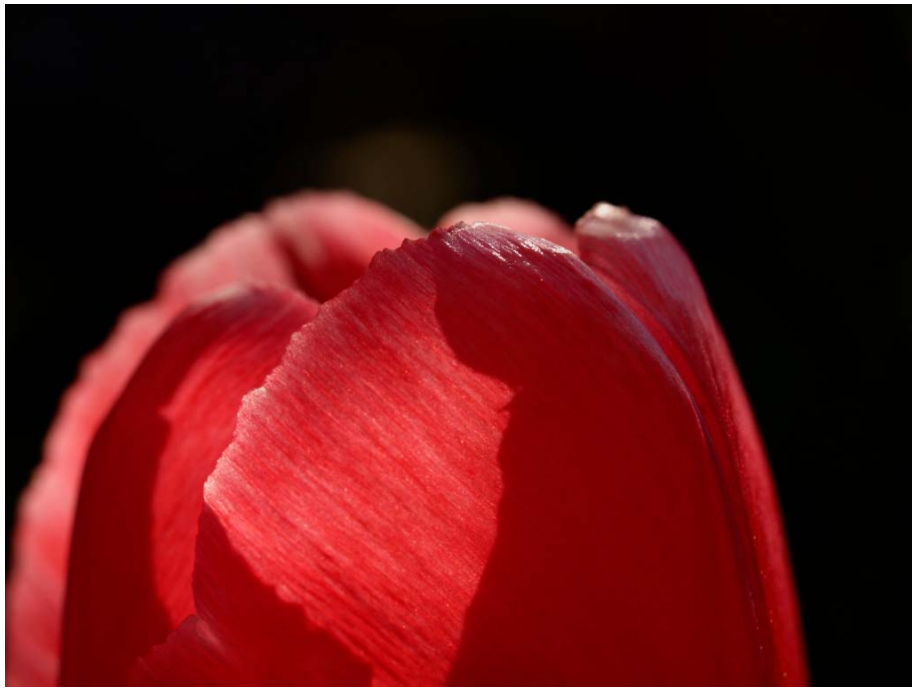


E620/ZD40-150(クロップ)。

4/11/09

E620はピントの山がつかみにくいので、マクロはE300の出番が多いです。ただ、E620はAFの測距点が多くなり精度も高くなっています(E300比)し、装備している機能を使う余地はあります。とりあえず「Fn」キーにプレビュー(絞り込み)を割り当てました。

RAWデータには適用されないと勘違いしていた「仕上がり」を『カスタム:VIVID、階調:標準、その他:±0』で撮影しました。ME-1はバリアブル液晶と干渉することが分かりました。ライブビューで拡大表示をマスターしなければ。



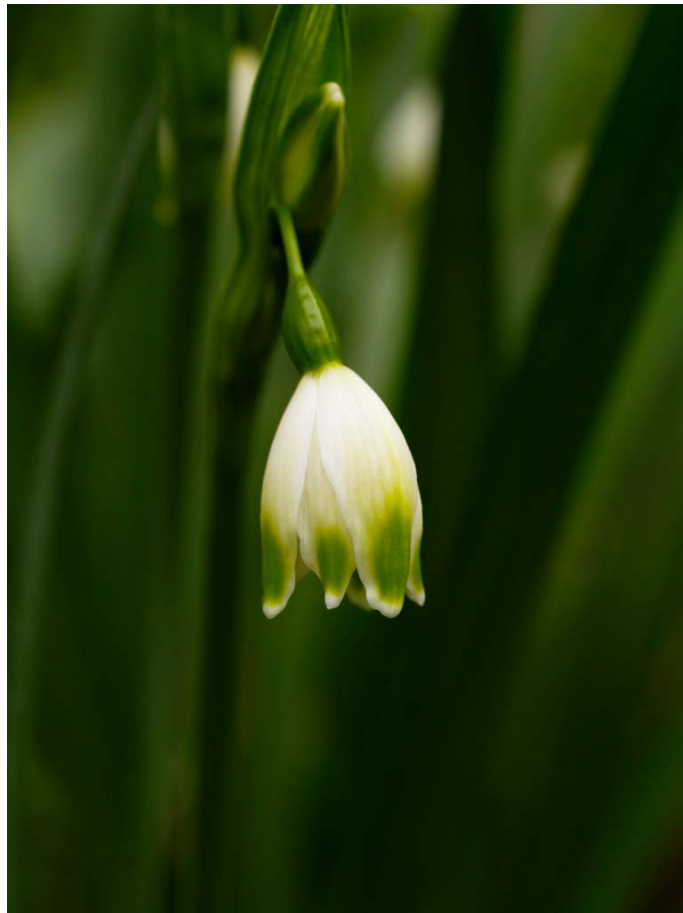
E620/ZD35。



E620/ZD35。

3/28/09

今日はE300+ZD35とE620+ZD40-150を持ち出しましたが、E300ばかり使っていました。
それと、当地の桜は白っぽいんじゃなくて、全体を見ると桜色に見えても一つ一つの花は桜色というほど色づいてはいないと気付きました。



E300/ZD35。



E620/ZD35。「ファンタジックフォーカス」。

3/23/09

気持ちの問題でしょうが、E-620はE-300の代替機にはならないでしょう。E620で撮影した写真を見ながら「E300だったらどんな写真だっただろう？」と思った時点で機材選びが良くなかったことになります。カメラを2台持っているとは都合が良いことは多々あります。つまり、E-300にマクロレンズ、E-620に常用レンズを装着して2台体制を執るれば文句はなかろうと。

3/22/09

昨晩は台風並みの強風で今日は雨。午後、小降りになってから新旧両機で撮り比べ。概ね露出を合わせてRAW現像しました。



E300/ZD35。



E620/ZD35。



E300/ZD35。



E620/ZD35。

3/21/09

午前中、自転車に乗って桜を見に出かけました。お供はsonyのポータブルラジオとE-620。今日はAF撮影に徹しました。



E620/ZD40-150。



E620/ZD35。



E620/ZD14-150。



E620/ZD35。

MFのしやすさでe300とe620を使い分けるのはありかも。

3/20/09

夕方、E620にZD35/3.5を装着しての初撮影。E-300と比較したらかわいそうですが、AFが速く正確でした。反面、ファインダー表示が煩わしいのかスクリーンのせいか、E-300よりMFが難しいと感じました。



E300/ZD35。



E300/ZD35 (1.7MBの画像)。



E620/ZD35。



E620/ZD35。

FourThirdsを選んで良かった。E-620は間違いなく良いD-SLRだが、E-300は「良い」という範疇の外に存在している気がする。中古購入した前後数年間でなければE-300とは巡り会えなかった。必ずE620を買い替えるだろうが、E300の代わりになるD-SLRは登場するだろうか？

3/16/09

E-300を中古購入した後、メモ用カメラに中古購入したfinepix_F420。typeH(512MB)xDカードを買い、内部電池(キャパシタ)を交換してもらっていましたが、ほとんど使わないので妻の実家へ里子に出しました。F420は単4乾電池対応が購入の決め手でした。eneloopなどNi-HM充電電池の性能向上もあるので、乾電池対応デジカメはラインアップが増えても良いと思うのですが。

ところで、xDカード採用カメラが事実上撤退しつつある中、貴重なtypeHカードをE-620用に確保しようと、里子に出すF420のtypeHの代わりにxDカードをなるべくamazonで探しました。結果、Transcendの133Xで4GのCFカード(¥1,480)を注文しました。e300は266Xのカードでも2枚/秒のRaw画像記録はできません(連射設定をしていない?)から、e620+133Xカードでも現状維持の速度です。133XのCFカードa-Data266X2GBをe620で使い、transcend133X4GBをe-300で使う作戦です。

それと、ずっと欲しかったリモートリリース。IRのみ対応のe300に合わせてリモコンタイプを注文しました(e620はIRとケーブルに対応)。

3/14/09

ミノルタ(ソニー)のレフレックスレンズ『AF REFLEX500』は、国内カメラメーカー唯一の現行製品です。また、光学絞りがないので、絞りが調整できないデメリットもありますが、ぜひ、マウントアダプターの製品化をご検討いただけないでしょうか(希望:フォーサーズアダプタ)。なお、レンズ側マウントをビス穴加工したニコンマウントリングに取り替えている事例がありますので、ご紹介します。よろしくお願いします。(参考URL://www3.tokai.or.jp/komarin/photo/jisaku-adaputa/maunto-main.htm)

3/11/09

E620の発売日は2008/03/20と発表されました。いつ届くか?とか、初期ロット不良はないか?とか、心配で心配で(笑)。ってなことはチラシの裏に書くことにして『新型〇〇(D-SLR普及機)は金属ボディにして欲しい』という書き込みを目にします。まさか普及機で金属製フレームと金属製カバーを望むとは思えませんので、金属製化粧外板が欲しいということか?適度にヨレたら化粧外板を取替えられるなら需要はあるかも。

印象の強いプラボディSLRはキャノンT90。ワインダーだかモータードライブ内臓で、後のEOS系に繋がる先進的なパッケージングでした。T90はマニュアルnikonで出せない色があることに気付かせてくれました。で、似たような発色傾向で安価なミノルタAF機を買ったものでした。FDレンズはフランジバックの関係で他のボディと互換性が取りにくく活用できるボディがない時代が続きましたが、microFourThirdsボディにマウントするアダプタが販売されています。

昔はコンパクトカメラもDSL普及機も、総金属製(でガラス製)だった。1970年代発売のnikon_FEでも(内部構造は確かめていないが)、フィルム巻き上げノブとかセルフタイマの一部にしかプラスチックパーツは使われていない。プラボディ=モータ内臓のイメージだ。金属製カメラは耐久消費財というイメージだが、プラボディカメラは消耗品というイメージだ。難点として、金属製カメラは冷たい。なかなか暖まらず、冬場は内部結露が心配だった。

3/9/09

祝。nikon_newFM2以来の新品SLR(D-SLR)となるolympus_E-620発注。実機に触れる前に購入を決めたのは「やっちまったあ」か?

3/8/09

公式サイトにE-620の実写サンプルが出ていました。全てISO_200での撮影ですが、粒状感が気になりました。



E300/ZD35。



E300/ZD35。



E300/ZD35。



E300/zd35。

羽虫の幼虫を生理的に受け付けないので、このような撮影は初夏に終わる。

3/5/09

e620のサンプル画像も見ないまま注文を入れるのは如何なものかと思いつつ、プレミアム会員に申し込むと

1000Pを頂戴しました。未だに踏みとどまっているのはサンプル画像の件もありますが、E-300と電池の互換性がないとか、ストラップ取り付け金具がE-4xxと異なるとか、そういう細かなことが気になるのです。「E-4x0、E-5x0、E-6x0は、それぞれ別のシリーズとして後継機も開発していくと話しており・・・」(引用:デジカメwatch)も気になるところです。

E-4xx以外の歴代olympus製DSLRは電池が共通。一方、極小グリップのE-4xxだけは、ストラップ取り付け金具がボディ前面にある。クラシカルカメラ同様、ストラップを右指に絡められる感じで好ましく思っていた。

3/1/09

新品ボディ購入後、E-300をOHに出したいのでオリンパスに見積依頼(web~)をしました。現在「ズイコークラブ」のスタンダード会員(年会費無料)なので修理料金10%割引。これはこれで助かりますが、修理料金が¥18,400-を超えるなら入会金+年会費を支払っても修理料金30%割引のプレミアム会員の方がお得。オリンパス社のオンラインショップでの5%割引もあるので、E-620を購入時には使いたい。

品名	スタンダード	プレミアム	差額
会費	無料	入735 年2,940	3,675
E620(単体/kit)	89,800/99,800	85,310/94,810	4,490/4,990
ポイント割引(max)後	71,840/79,840	68,248/75,848	
キャッシュバック(18%)後	58,909/65,469	55,964/62,196	

支払金額はポイント割引(max)後の金額だから3月のお小遣いが貰えるまで予算不足だし、キャッシュバックは吸い上げられるシステムなのだ(泣)。

2/28/09

隣の空き地に健気な花を咲かせるのは地面に沿うように生える雑草。こんなときはライブビューが欲しくなります。フリーアングル液晶があれば撮影は随分楽になりでしょうね。ボディ内蔵手振れ補正もついているE620を購入予定です。



E-300/ZD35。



E-300/ZD35。

今年のアシビと12月に赤い実のついていた木の花。



E-300/ZD35。



E-300/ZD35。

将来を託せる理想のエンジンはリーズナブルな価格で一度市販されましたが、他メーカーが似非新技術で足を引っ張り、消費者に真価が伝わることはありませんでした。コモンディーゼルや電気自動車に期待することは極太低速トルク型動力。特に電気自動車は変速機なしで発進から最高速度まで加速できますし、待機時エネルギー消費がありません。

2/15/09

このところ暖かい日が続いています。



E-300/ZD40-150。



E-300/ZD40-150。

FourThirdsレンズカタログに掲載されているMTF曲線は、オリンパス、パナソニック、シグマのスケールがある。シグマはc社と同じ低周波10本、高周波30本。c社によると『10本/mmのMTF特性が0.8以上あれば優秀なレンズといえる』。で、オリンパスは低周波20本、高周波60本。このキットレンズでも低周波90%、高周波70%からMTF曲線が始まっている。

サイドバー(なのか?)にolympusが運営するコミュニティ『FOTOPUS』に投稿した写真へのリンクを作りました。

2/9/09

純正ラジオを取外してみると、ラジオ本体は自動車体金属部と接触していません。で、テスターで抵抗値を読みながらアースポイントを確認し、ラジオ本体とリード線でビス止めしました。AMラジオの「バチバチ」系の雑音に劇的な結果がありました。どなたかの参考になれば幸いです。
ラジオ筐体アースの効果を認めたので、アーシングの必要はなくなりました。しかもボディのアースポイントは普通の六角ナットで、エンジンのアースポイントがE-10、E-12でした、というオチ付き。

2/6/09

私が悩んでいるラジオのノイズは、横を走る原付や自車が発する点火系と思しきノイズを拾うことで、電源(アース)の暗ノイズではありません。また、当時本国ではAMラジオ機能がなかったという情報、純正ラジオ取外し解説を見てると純正ラジオ本体がアースされていない模様でした。

E-30のオートフィルタには無関心でしたが、カタログ(印刷物)で見たら「アリかな」と思いました。この機能は使わないでしょうけど、プリズムファインダーとか最高1/8000で同調1/250のシャッターなど、基本性能はよろし。

2/2/09

ラジオのノイズ対策にsmartkにアーシングを行う予定で、ラチェットハンドルとソケット(E10、E12)を注文しました。本体は@565/m(-20~80°C,8sq)のケーブル2mで自作予定です。

この自動車へのアーシングはシフトタイミングの改善効果で定説になっていた。for_twoと同じ機構の変速機ながらfor_fourのスムーズな変速に『理想的』と評した時もあったが今年の車検の代車(約50k走行のfor_four1.5)は酷かった。

1/31/09

安価なAマウントDSLRを買うべく物色していましたが、今年は新品four_thirdsボディを買ってE-300をOHIに出す予定でした。危ないところでした。

1/26/09

焦点距離とは何ぞや。というのは、焦点距離は300ミリのレンズは、どこからどこを測った数字が30cmなのか、と。焦点距離よりレンズ全長の方が短いレンズはざらですし、焦点距離20ミリってのは、どのマウントで規定しているフランジバックより短いのではないですか?と。・・調べたら分かった(焦点距離 フランジバック、第2主点 焦点距離)。で、手持ちのAF500RFなのですが、フィルムだったりCCDだったりする記録媒体のサイズがどう影響するのか?を考えたわけです。

1/25の写真は現像時にクロップしている。これはE-300(8Mpixel)のCCDの一部分を使って撮影しているわけで、例えば10.8*8.1mmで5MpixelのCCDが記録した画像と同じものと考えてみた。実際nikon_D3等は「クロップモード」があるわけで、考え方に間違いはないと思う。すると、E-300は「32Mpixelのライカ版(フルサイズ)の中心1/4部」を使用するクロップモードではないかと。このように考えるとZuikoDigitalが非常に高い光学精度を求められていることも(ようやく)納得できるし、高画素化の限界も分かってきた。以前書いたが、four_thirdsでは『換算』すると中望遠の35ミリマクロレンズを装着したE-300のファインダーをのぞきながら被写体に向かって歩を進めると、距離感が誇張された広角レンズの見え方をする。見え方とは感覚で、80ミリレンズを着けたnikon_FEのファインダーをのぞきながら歩を進めると、私には中望遠レンズの見え方だし、75ミリが標準レンズのマミヤ6使いは標準レンズの見え方をするのだろう、と思う。

で、私は『換算〇〇ミリ』というカタログ表記は無視することにします。「焦点距離500ミリのレンズがfour_thirdsでは1000ミリに化ける」なんてことはないよと。歴史的にもレンズの焦点距離の定義は変わっておらず、変わったのはイメージセンサのサイズです。ライカ版で300ミリの手持ち撮影は苦しいけど150ミリなら手持ち撮影できるし、ライカ版の中心部を使うfour_thirdsは手振れ耐性があるのかも?。同じことが『フルサイズ』機に対する『APS-C』サイズ機にも言えるわけで、僻むことはない。理論的に画像劣化が避けられない周辺部を捨てるか生かすか、選択をただけのことです。『〇倍ズーム』で売るコンパクト機ならまだしも、廉価版とはいえ高級路線のSLR機で『35ミリ換算値』を採用したことが間違いだったのかも。

現在のイメージセンサは1画素≠1色ではないのですが、フィルムはどのくらいの解像度があったのでしょうか?

1/25/09

今、nikonに戻りたいとは思っていませんしcanonは未だに縁がありませんが、sony(旧minolta)は欲しいかも。原因は世界唯一のAF可能なレフレックスレンズ、AF500RF。Aマウントレンズを4/3ボディにマウントするアダプタの購入希望をとある企業に出したこともありましたが、AF500RF専用ボディがあっても良いかと思うようになりました。A900の直線的なデザインも気に入っています。現実的なのはA200くらいですけど。

今日はE-300をSLIK Grand Master Sportに装着してメジロの撮り直し。手振れの心配をしなくて済みますし、撮影の合間もカメラを手放せます。ラジオを聞きながら30分程度の撮影でしたが随分楽をさせていただきました。



現像時にクロップ。E-300/ZD40-150。



現像時にクロップ。E-300/ZD40-150。

1/24/09

古くからの読者はご存知かも知ですが、当地は九州です。今朝はさらさらの雪が積もっていて、妻を送っていくのに自動車の滑り止めが必要でした。積雪は年に数回あるなしですので、20年来「yeti snow_net」を使っています。自動車を変えていますので、今のチェーンは3個目です。もたもた走っている自動車をブッチしましたよ。



現像時にクロップ。E-300/ZD40-150。



E-300/ZD40-150。

1/16/09

玄箱HGのページを更新。fedora編を追加しました。もっとも、玄箱HGはLinuxで稼働させることが目的ではなく、どのパソコンからでもアクセスできる写真置場というのが本来の目的です。大切なデータのバックアップを怠りなく。

1/9/09

年末から玄箱HGのfedora化に取り組んでいます。インストールするソースは『できる 玄箱Fedora化』配布の『Fedora7 install kit』に含まれるtarアーカイブ。Macユーザには一工夫が必要です。

手動でパーティション作成した玄箱HGにftpを使って送り込むという手口を試みたが、玄箱HGは起動しない。ので crossover_Macを使って『Fedora7 install kit』の実行ファイルを起動させようとしたが応答なし。VirtualBox.app上のwinXPで起動させ、玄箱HGのFedora化に成功。
hda1、hda3をそれぞれtarアーカイブしておけば、次からは、上記の手順(それぞれのtarイメージをupload、展開)で復元できる。
ただし、fedora7 kitではyumにエラーが生じるので、その点を修正しておく。と吉。
fedora8化、fedora9化、fedora10化の成功報告もあり、頼もしい。研究事項はbootシーケンス。hda1上の/bootから起動し、hda3をマウントしている。



E-300/ZD35。

12/11に実母がくも膜下出血で入院し大変な年末年始を過ごしました。ICUで2週間。最初の5日で1割負担の限度額に達していました。処置が早く経過も順調で、家族目には後遺症といえるものは見受けられません。運の良さを感じました。

日中肩で息をする様子を配達の人が見ていて、夜中から頭痛・嘔吐、翌朝は火花が見えていたそうです。市内に住む友人の運転で隣町の脳神経外科(約30分)へ外来診察。午後、MRI、血管造影。1800~2230、クリップ。

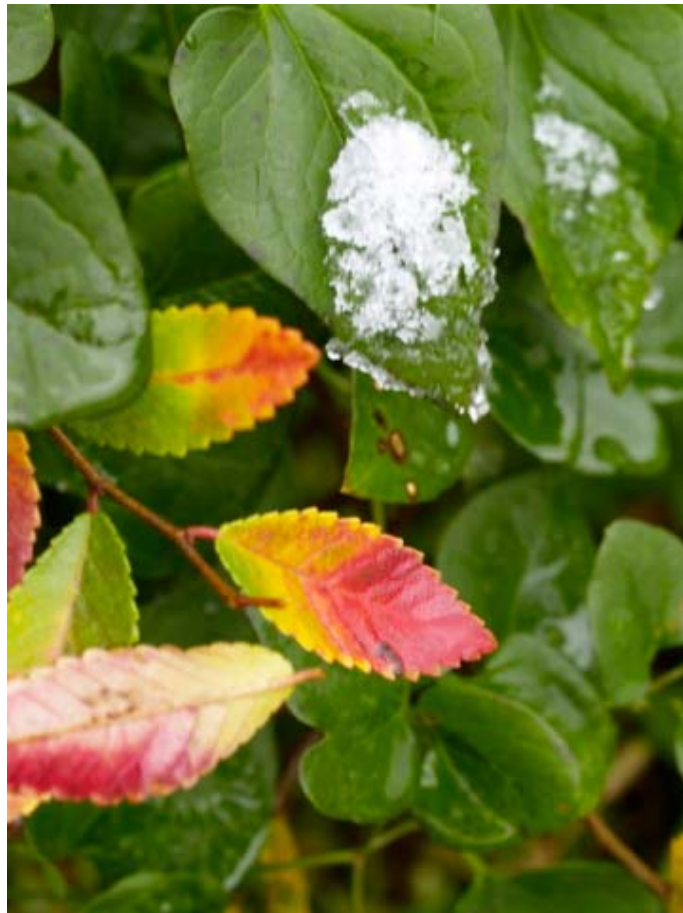
12/8/08

当初からE-300で撮影したrawデータはNASに保存し、OlympusMaster2でraw現像をしています。少し前に他社製raw現像ソフト(試用版)でデフォルト設定の出来上がりを試し、購入するならOlympusStudio2と決めました(注1)。当時のOM2(v2.07_Mac)とOS2の際立った違いがraw現像処理速度だったのですが、OM2_v2.11で明らかに処理速度が高速化しています。つまり、当面はOlympusStudio2を買う必要がなくなったわけで、素直に助かります。なお、jpeg画像はホームページ掲載用にRaw現像しています。

注1)*.orf以外のrawデータがあるなら他社製ソフトのCPは高くなりますが、その予定はないし。

12/6/08

朝起きると雪が積もっていました。風が強く被写体ぶれ。



E-300/ZD35。

11/23/08

法事で妻の実家に行きました。iso200での撮影です。下3枚の写真はOlympusMaster2でraw現像してサイズ変更以外は無加工です。下2枚はものすごい色を出していると思います。ノイズが心配でしたが状況によっては積極的に使うべきですね。ちなみにホワイトバランスは5300k固定。つまり、気にしていません。



E-300/ZD40-150。iso200。めずらしくspot測光。



E-300/ZD40-150。iso200。spot測光。赤。



E-300/ZD40-150。iso200。spot測光。薄い黄緑。

Manual_nikonが長かったのですが、観光地でアジア系旅行者がDSLRを持っているのに負けた気がして（笑）、最低限の投資リスク（中古機）で買ったのがE-300です。FourThirds規格提唱の理由とか作例とか4/3ユーザのページとかを調べての上でしたが、シャッターダイヤル（リング？）がレンズマウントにあるヘンテコカメラメーカーでしたから、ある意味ダメ元で。今は「この発色を望めるカメラはあるのでしょうか？」と心配しています。

11/22/08

地元のパン屋で食パンを買いました。川に浮かぶ鴨と今日の黄葉。



E-300/ZD40-150(トリミング)。



E-300/ZD40-150。

11/16/08

仕事のことで余裕がありませんでしたが、雨に洗われた紅葉を撮影しようと自動車で出かけました。



E-300/ZD40-150。

manual nikonを使っていた頃、紅葉を撮影した記憶はありません。E-300+ZuikoDigitalだから出かける気になったのだと思います。「同じフィルムで同じモノを撮影してもn社とc社のカメラでは色が違っていた」ことを理不尽に感じていた私ですが、そのことを話したら、妻はまるで当たり前のことのように納得しました。

11/6/08

a22/f9をvncで操作することもあります、Macminiのモニタサイズが1024*768なので、a22の画面(1024*768)ははみ出てしまいます。17型モニタを買うべきかにか〜と思いながら、googleで『-scale』オプションを装備するvncクライアントがあることが判明。Mac用を2日間探してみましたが、CrossOverMac7.1でwin用vncクライアントが正常に動作しました。

vncサーバ(a22)で『-geometry 832*624』とか小さいサイズを設定してみたが、例えばシステム設定ウィンドウがa22の画面からはみ出てしまい『okボタン』が見えなくなって困った。『-scale』はvncサーバの1024*768画面vncクライアントで縮小表示する仕組みだから期待したが、フォントが読みにくいし余計な動作をするためか動作が重い。

やはり17型(1280*960)以上のモニタを買うべきかもしれませんね。

10/31/08

panasonicのmicro4/3機G1に触れる機会がありました。比較対象が15年位昔使っていたビデオカメラのビューファインダー(記憶)では失礼ですが、ネオ一眼と比べてもドットの見えない滑らかさにびっくりしました。レンズを取り外すと画素が見えましたが、常にライブビューですから当然でしたか。第一印象は「良好。購入を検討するに値する」でした。

『旧MotorolaのPowerPC部隊で構成されるLPiAの開発チーム(出展:<http://pc.watch.impress.co.jp/docs/2008/1027/kaigai473.htm>)』。

「a22/fc9でyumがurlエラー」の件は、名前解決ができていないことが原因でした。ssh接続で操作していたのでネットワーク設定を疑いませんでしたが、外部ホストへpingをして判明しました。ネットワーク設定を済ませると、yum updateができました。早速『yum install vnc-server』と『yum install netatalk』。fedora9提供?のnetatalkは暗号化パスワード対応で、OSX10.5.5で無問題にAFP接続ができました。

一通り落ち着いたし、『# find / -name xxx』でファイルシステムエラーが出ており、再インストールしたいと思っている。

10/27/08

本当に必要なのは妻が使うノートパソコン(本人はそう思ってはいないけど)だったことを思い出し、osx86の下心を内包する悩みは「見送り」という形で解決しました。

出自がLinuxPPCで、その後YellowDogLinux(macppc)とFedoraCore(x86)、後にFedoraを使っていたわけですが、x86機用DVDドライブがないというHWの制約により インストールCDの配布がなくなったと誤解していたので、a22にはFedora7以降をinstallしていません。そこで、CD-R*1枚でinstallメディアを作成でき、メンテナンス期間が長いUbuntuに乗り換えました。

約10ヶ月Ubuntuを使ったが、どうしても馴染めない。例えば、Fedora(YDL)で/etc/rc.d/init.d/に相当するディレクトリのパスをサッと書けないし、GnomeよりKDE、aptよりyumに馴染んでいる。

で、まずはRedHat Enterprise LinuxクローンのCentOSをA22にインストールしてみた。yum install netatalkをお願いしても『んなものはない』と言われるので、makeを試みたがエラーが出る。どうせカーネルがappletalkに対応していないのだろうと、カーネルのビルドを試みたがエラー。ここで手を尽くしてもnetatalkの件とは無関係かもしれないし、yumでinstallできるに越したことはない、別のrpm系ディストリビュータを探すことにした。

すると、重大な誤解をしていたことが判明。fedoraproject.orgでFedora9のインストールCDをダウンロードできます(過去記事も訂正します)。

で、Fedoraを試してみたが、yumで『urlがおかしいよ』とエラーが出る。Mac_mini(coreduo/10.5.5)のvirtulbox.app上にinstallしたFedora9も同じ症状が出て週末が終わった。虚偽を語った報いだろうか。

『Fedoraと働くのは退屈しませんね』(HAL9000。木星爆縮前)

10/23/08

以前IBM_Netvista_A22を買った中古PC店でQ35Express+C2Dを搭載したhpのスリム型がOS付¥45k台で出ていまして、

A22はCDDなのでDVD.isoで配布されているfedoraXは物理的にインストールできない。インストール時だけでも手持ちのDVD-Multiドライブに交換する方法はあるが、fedoraXはメンテナンス期間が短いのでインストール頻度が高くなってしまう。

注: Fedora9のインストールCDをDLできる。

A22にDVD-ROMドライブを買おうか、hp_dc7800を買おうかと、ここ数日ムーム一言いながら悩んでいます。

10/21/08

EFI採用マザーボードって希少ですね。で、BIOS搭載PCで起動できるように加工したネコ科のinstall_DVDでHDDにEFIエミュレータをインストールする。ってことでしょうか。

10/19/08

9/28/08に撮影したE-300.orfを、OlympusMaster2、SilkyPix3(Free)、CaptureOne4(Tryal)のデフォルト値で現像し原寸で保存し、カラーマネージメント設定をしたFirefox3で表示しすることで現像ソフトを比べてみました。結果、処理は遅いもののOlympusMaster2が良いです(人様にお見せするほどの比較画像ではないので削除しました。)

10/18/08

2~4枚目の写真を撮るのに26枚の撮影をしました。撮影のリズムなんて程のことはありませんが、いつものことながら、途中で液晶モニタは見ません。屋外だと暗くて見にくいですし(旧型?)。撮影枚数が増えても金銭的成本は無視できますから、良い時代になったものです。で、背面液晶・内蔵ストロボを省略し、ペンタプリズム・手ぶれ防止を搭載したマニュアルライクな4xxがあればなあと。



近所の神社参道。E-300/ZD40-150。冬の日差しはコントラストの低い被写体に良いと思う。



RAW現像で明度を調整。E-300/ZD40-150。



これだけ対象があるとどこかにピントが当たる？E-300/ZD35。

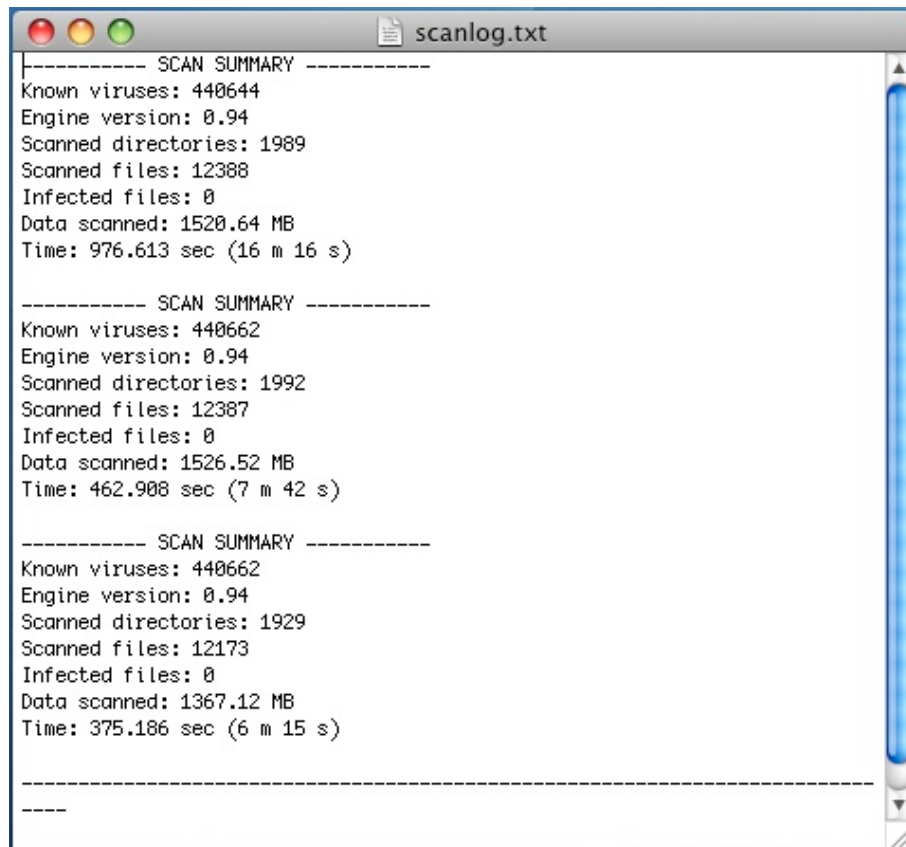


きれいな丸ボケがありましたので。E-300/ZD35。

10/12/08

HHK_L2(US)黒は、マウスボタンでスリープ解除するとキーボードを認識しない×1回、起動直後にキーボードを認識しない×1回がありました。キーボードの任意のキーを押すことでスリープ解除すると概ね無問題です。

T2300(CoreDuo/1.66GHz)の在庫を見つけたので注文しました。¥6300-でした。PPC604e以来のマルチCPUになります。早速インストール。体感上也高速化できましたが、clamscanでは2倍以上の高速化が確認できました。RAW現像も楽しみです。



10/11/08

電源を供給するための『USB二股ケーブル』があることをwikiで知り、HHK_L2(US)黒のUSBポートの電源端子に手を加えました。スリープ復帰後のキーボード認識問題は解決するか？

10/9/08

せっかく書いていたのにupを怠っていました。

初めてのHHKは白いiBook(800)用に買ったHHK_L2(US)/白でした。その後PowerBookG4(AL/1GHz)に合わ

せてHHK_L2(US)/黒を買い、白を職場用にしました。PowerBookG4からMac_miniに代替わりしてもHHK-L2(US)黒とマウスは同じ組み合わせで使っていましたが、スリープから復帰するとキーボードを認識しない問題に悩んでいました。HHK_L2の販売元PFUに問い合わせたら「マウスはMac本体につないで下さい(の意)」とアドバイスを頂戴しました。

ダメ元で白を持ち帰り、白にマウスをつないでみたが、無問題。背面ディップスイッチ(SW0:USB-Downstream-port)の設定かもしれない。白は黒よりメカニカルなタッチだし、しばらく入れ替えておこう。
初購入時に「Macでも使えるか?」の質問に「US配列ならOK。入力モードの切り替えは「コマンド」キー+「スペース」キー」と教えてくれたし、PFUのサポートは良いと思う。

10/8/08

『手のひらサイズラジオ(ICF-50V)』をお供に久しぶりにsma@tkを洗車したり、私(と生きている時代が重ならなかった祖母との共同名義になっている)のヒノキ林に自生している栗の実を収穫したり、お墓の周囲を草刈する合間に、Mac_miniを再度クリーンインストールしていました。

clamAVを簡単にインストールする方法(メモ書)

1. 『clamXav』をインストール
2. `export CFLAGS="-arch i686"`
3. 『GMP』をダウンロード(、展開、移動)
`./configure --host=none-apple-darwin --enable-cxx、`
`make LDFLAGS="-arch i686"`
`make check > make-check.out 2>&1、(エラーがなければ)`
`make install`

OSX10.6.xでclamav0.96.3をmakeする場合はbzip2が必要
`sudo port install bzip2`
4. 最新版clamAVをダウンロード(、展開、移動)
`export CFLAGS="-arch i686"`(2、3の直後なら省略可)
`export LDFLAGS="-O3 -march=i686 -L/opt/local/lib" ..bzip2対応`
`./configure --prefix=/usr/local/clamXav`
`make`
`make install`
5. 後処理など
「6/29/08」。
google検索ワード:「mac clamav intel」、「僕は見ていた」

もう一つ。自転車でお買い物ついでにe-300を持って外出しようとして、昔使っていたデジパック型カメラバッグにe300+40-150を入れてみると、収まりの悪いこと。で、グリップのないe-4xxを買う言い訳ができたような気がします。くぷぷ。

10/5/08

独身時代に私が使っていたCD-MD-ラジオと妻が持ってきたCD-MD-ラジカセは、AM放送を聞こうにも自宅(屋内)では雑音しか入りません。ところが、列車旅行用にと買ったsonyの『手のひらサイズラジオ(ICF-50V)』は大丈夫でした。とりとめもない(って失礼ですね)ラジオ放送の声は癒されますね。妻は「おじいちゃんみたい」というし、ネコたちは聞きなれない声を警戒していました。

思い切ってMac_miniのOSをクリーンインストールしました。どうせ使い切れない容量の内蔵HDDなので、/Usersを第2パーティションに移動してシンボリックリンクを貼ろうか。とか思っています。ところで、OSX10.5_DVDの「Disk Utility」は起動ディスクに保存された内容を維持しながらパーティションを追加できる優れものでした(昨日までの状態をdmgにしたので初期化しましたけど)。これまでもこのように環境移行していましたので『Time Machine』の世話になる気はありません。

PMG4を使っている頃から「クラッシュしたらどうしようもないし、危険性が2倍になるだけ」という考えで、HDDを単一のボリュームとして使ってきました。今回は、データの退避場所があっても良いのではないかと理由で久しぶりにパーティションを作成しました。で、clamAVのインストールで手を焼いています。きちんとまとめ書きをしなければ。

10/4/08

過去のページもタグを見直しました。参考にしたのは『Another HTML-lint』。勉強になりました。感謝。

10/3/08

大腸の内視鏡検査で日帰り入院しました。前日から流動食、当日2Lの下剤入り水を摂取した後、検査室にはOlympusの内視鏡が待っていました。結果は異常なしでポリープの除去もなし。やれやれ。入院したのは4人部屋で、先に入院していた高齢者2人のどちらかが持ち込んだAMラジオの音声がいい味を出していました。

数回の落下で割れてしまったiPod touchのケースを注文したかったし、小型ラジオをamazonで購入。次回にストック用にもう一つのケースとcoreduo(T2300E)を購入予定。

改修前のこのページをHTML4.01 Transitionalとしてチェックしてもらおうと、マイナスの点数がつきましたので、タグを見直しました。

9/28/08

今日は雨が降るとの予報。長袖を出してもらうほどすこぶる涼しい朝でした。
ネギの花。ツユクサ。不明植物(蔓)の実。ハゼランの実。2年前に山で拾った栗の実の2世。カメラはE-300。







9/26/08

Kodak製CCD搭載ってだけでLeica_S2がDSLRの本流のような気がします。電子化されようが、そこにあるべきシャッターダイヤルもうらやましい。nikonでもcanonでもなく、Leicaがこういう製品を開発して発表したということ。写真を撮るということの本質を知り、カメラに進化の余地があると考えているからできることだと思います。ただ、レンズを含めて「大きい」。私にはOlympus_E-Systemで十分というのも事実です。

およそ80年前に登場した『ライカ判』は既に必然性を失っているのに。いつまでも『フルサイズ』の穴の中でAFの精度や速度や測距点の数を競ってはいけません。

FourThirds、microFourThirdsに『将来性がないと判断したら撤退する』ととれるパナの姿勢は腹立たしく思いました。パナがレンズ交換式デジタルカメラを続けている理由は『sonyにDSLR製品があるから』に過ぎないのでしょう。sonyのCMOSでもLive_viewはできるわけですし、Live_viewできない代わりにファインダー品質を高めた製品があっても良いと思うのですが。

9/24/08

35ミリフィルムのサイズに固執する理由はないとばかりの新規格30×45mmの「ライカプロフォーamat」イメージセンサ。面積は36×24mmの1.56倍。『フルサイズ』メーカーの言い分が楽しみです。あちら側の擁護者が「FourThirdsは小さすぎる」というのは分かりきっていますが。

古雑誌からデータを拾ってみると、core2duoの性能はさすがです。このデータだけで考えると、AACエンコードにはクロックとファイルコピーが関係しますので、coresoloとcoreduo/1.83を比較すると $1.22 \times 1.07 = 1.3054$ 。で、実際の性能比1.48を1.3054で割ると1.1337。他のファクターを無視する(して良いのか?)とiTunesのAACエンコードにおけるDualCoreの効果は13%となります(coresoloとcoreduo/1.66では11%)。

Mac_mini	CoreSolo1.5	CoreDuo1.66	CoreDuo1.83	Core2Duo1.83
動作クロック	1.00	1.11	1.22	1.22
AACエンコード	1.00	1.16	1.48	1.83
1GBファイルコピー	1.00	0.94	1.07	1.21
1GBフォルダコピー	1.00	1.04	1.19	1.13

9/19/08

初めからCPUのupgradeを考えて安価なcoresolo版Macminiを購入しましたが、気がつくとCoreDuoは値ごろ感が出ていました。1.66GHzのcoreduoで良いか。と思っていたら。

1.66GhzのCoreDuo(yonah)にはVT(仮想化)対応のT2300とVT非対応のT2300Eがあり、今日現在amazonではT2300E(中古)が¥6.3kで、VTに対応したものとしてはT2400(中古)が¥9.2k。VTは、virtualbox.appでwinOSを走らせる場合のように、ホストOSとは別のOS(ゲストOS)を走らせるときに有効な機能ですが、coresoloでもvirtualbox.appでubuntuを動作できたり、ゲストOSとして動かしたいのはパソコン用OSではなくファミコンのOSだったりする。だがx86とMOS6502は「命令コードに互換性のないCPU」なので、この場合は仮想化ではなく、エミュレーションである。また、winAPIを実装するwineはエミュレータでも仮想化ソフトでもない。

ZD40-150をe300に装着して気付いたのですが、私のZD35ミリF3.5はMF時にフォーカスリングを小刻みに左右に回すとファインダー像がぶれて見えます。ZD40-150では発生しない症状なので調整に出したところ、『このレンズは繰出し量が大いなので、構造上バックラッシュも大きくとっています。お送りいただいたレンズのブレ量は基準値内でした。』とのこと。地元地域のサービスステーションに送った後、東京へ転送されての結果なら良しとしなければ。

microFourThirdsでレンジフォーカスするのはアリかも！ってな冗談はともかく、現状ネオ一眼のファインダーの見え方は好きになれません。しかし、FourThirdsが『デジタル時代の』レンズ交換式カメラとして誕生したことを考えると、ファインダー光学系に固執する必然性はないかもしれませんね。従来のファインダーはピント・構図を確認するものでしたから、ライブビューや電子ビューファインダーは電子的に出力される状態を確認できる機能を獲得した「進化したファインダー」とも言えますね。課題はドット密度でしょうか。

9/13/08

e300+zd40-150です。等倍にするとブレ・ボケはありますが、本当にシャープな写りです。地這いの朝顔は立体感すら感じませんか？いわゆる初心者向けレンズなのですが、不満を感じることはないかもしれません。



9/8/08

『(atomは)2次キャッシュの容量やFSBの速度はPentium4と同程度。実質的な処理速度でも、Willamette・NorthwoodのPentium4と同程度である(出展:wiki)』ならば、3GHz級のnetburstを1/2程度にunderclockできたとしても意味が薄いですね。

Mac版とLinux版も提供予定(wineかも?)というGoogle_Chromeですが、BETA版とはいえ利用情報の収集に不明瞭な点があるというweb記事(<http://www.itmedia.co.jp/anchordesk/articles/0809/04/news071.html>)が出ていました。で、Firefox3.1(Alpha2)_for Macを使ってみると、firefox3.0.xに比べてペー

ジの表示が明らかに早い。私はGeckoで良いや。

DSLRですが、ZD40-150を買おうかな、と。

京都旅行の計画がありますが、35ミリ(マクロ)だけでは心許ない。14-42はカメラとセットで買ったほうがお得。で、40-150はダブルズームキットのレンズながら、円形絞りを採用していたりと、侮れない描写をする(らしい)。広角より望遠の方が好みだし。

妻から『カメラを触らなくなった(飽きたのでしょうか)。』と言われます。私の主な被写体は花ですが、鳥肌が立つくらい青虫・毛虫が嫌いなので、昔からこの時期は休眠です。OLYMPUSのオンラインショップでポイント20%まで利用可能キャンペーン中ですので、ポチりました。

9/2/08

Macmini(coresolo)にvirtualbox.appをインストールしました。winxpsp1のアクティベーション画面まで進行することを確認(寸止めた理由は、このwinxpは妻のpentium3(700)/256MB(Max)ノートにと用意したのだから)しました。ubuntu8.04はinstall途中でフリーズ。「virtualbox用仮想マシン」版は動作しましたが、terminalでの「ping」とかネットワーク関係コマンドが機能しません。この辺りはvrtualbox側で設定できそうでしたが、今のところ必要に迫られているわけではありませんし、飽きたので。

興味があるのは「osx86」ですが、試してみようにもtualatinより新しい世代のPCがないという健全さに(笑)ですね。コストと労力と時間と法律上の問題を考えるとMacを買ったほうが賢いのは間違いありません。反面、今のラインアップではMac_ProにしかないPCI-Expressの拡張性とか、CPUやメモリや内臓ドライブ交換の容易さ、選択可能なマザーボードやCPUの種類など、Macにはない大きな自由(と責任)があります。

ハイパースレッディングはSilverthorneに引き継がれたし、netburstの全てが失敗だったわけではないと思えるようになっていく。クロックアップは設備投資なしで処理性能を高めるよい手段ではあるし、uopそのものをキャッシュする考え方は悪くない。エネルギー効率を無視してより高いクロックで動作させるための手法(深いパイプラインとか)、が誤りだったと。記念碑的にLGA775のnetburstを買っておこうか、と思ったりする。

意外と低発熱というcedar_millを搭載できる中古PCを調べてみましたが、core2duoにupgradeできたりと『使える』仕様で、価格もそれなり。で、atomを搭載したeeeboxとかに目が行ってしまいました。

8/22/08

ipodtouch/2011にpwnagetool202を適用していますので、apple認定ソフトもそうでないものもinstallしています。そうでないものの一つがterminalで、top等実装していないコマンドもありますが、モニター・キーボード・無線LAN内蔵手のひらサイズのUnix?機を実感できます。ipodtouchとMac(PC)とのファイル転送に『DiskAid』。Mac用とWin用があり、母艦にこのソフトウェアをinstallすると、ipodtouchをUSB外部ストレージとしてマウントしてくれます。

ftpコマンドで*.html書類のputを試みたが“backspace”キーが効かない。タイプミスが許されない環境じゃ無理なので断念。

ipodtouchのterminalからでも、DiskAidからでも見える『/Media/DCIM』というディレクトリは何だろうと思っていたら、スクリーンショット置場という情報が。スクリーンショットは『ホームボタンとスリープボタンの同時押し』。で、DiskAidで回収しました。

8/21/08

ようやくMacmini(coresolo)/10.5.4でclamav0.93.3をコンパイルしました。これまでのバージョンでも毎起動時に/Usersをスキャンしてもらっていますが、ウイルスを見たことがありません。サンプルは検知するので安心していましたが、Macのシェアが増えると安心できなくなりますね。netatalkを除外して、kurobox_hgとIBM_netvista_a22をapt-get upgrade。数世代落ちの低スペック機ですが、十分働いてくれています。

4/3の新ジャンル『Micro FourThirds』が発表されました。フィルム時代のシステムを利用しているメーカーは『大型素子=高級→コンパクトデジカメとの差別化』で売っていくようですから、間違いなく一石を投じましたね。後付けでない素性の良さというか、デジタル時代におけるレンズ交換式カメラのあり方を一から考えたolympusが正解と思っています。で、多少尖った中級者向けにコダックCOD搭載が復活すると嬉しい。

appleがarmと長期契約を結んだという噂ですが、apple以外のベンダーを想像するほうが難しい書き方でしたね。妥当でしょう。で、PAsemi買収の意味は何でしょう？

iPodtouchのOS(FW?)を2.0(2.0.1)にupgrade済。ケースはパワーサポートの『iPod touch Airジャケット』。

7/21/08

Newton_MessagePad130に始まり、Palm系のClieSJ33で一度は終わったPDAライフでした。
Linux/silverthorneとかLinux/LimePCとかに期待したのですが、結局始まりのApple/ARMに戻ったのも必然なのでしょう。

ezhtml.exeで編集したhtml書類をmi.appで再加工する。これだけのことなのですが、テキストエンコードがらみ(UTF-8)で文字化けしてしまい困っていました。で、coteditor.appだと解決します。冷静に考えると、Rosettaのいたずらではなかろうかと。

7/16/08

MIDとしてiPod_touch(8GB)再整備品を購入しました。OSのバージョンでは既に旧型ですが、お値段がよかった。

iPhone祭が始める前の再整備品を買いそびれ、事あるごとに在庫確認をしていたが、touchの出品？がなかった。それが、たまたま有給をとった日に出品を見つけたのは、ある意味運命かと。Apple Careも同時購入。

7/3/08

coregaの『1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 5ポート搭載 パワーコントロール機能搭載 スイッチングハブ』を注文しました。去年からの宿願「ファイルサーバ(kuroboxhg)とメイン機(Mac_mini)とをギガネットでつなぐ」が完成します。

日立GSTの指名買いを続けていますが、Travelstar_5k250の120GBを¥6090-(キットカット)で買いました。

中古CPUを物色しましたが、今回は見送り。WOLができないし、LinuxのインストールDVDから直接installできるようになったか調べていないし、mac_miniの使い勝手はそれほど良くない。過大なコストをかけない方が吉と思い、CoreDuoを探している。

設置方法にもよるのかもしれませんが、現状ではMac_mini背面USBポートのアクセスが悪かったので、(ハブにしようかとも思いましたが)USB延長コード¥420を一緒に買いました。

6/29/08

Mac_mini(coresolo)にOSX10.5をinstallして、PowerBookG4の環境を移行しました。HHK-L2(US)でキー配列が狂う問題も発生しません。10.3.xからのupgradeで苦労したのは↓でした。

アプリ	用途	ツール
clamXav	ログイン時にパターンファイルを取得	lingon
clamXav	指定ディレクトリをログイン時にスキャン(ログ吐出。感染ファイルをゴミ箱に移動。)	lingon(スクリプト)

スクリプト

```
# vi /usr/local/clamXav/bin/clamscan1
./etc/rc.common
/usr/local/clamXav/bin/clamscan -r /スキャンするディレクトリ -i --log=/Users/user/Desktop/scanlog.txt --move=/Users/user/.trash
```

「TrimTheFat.app」を使って*.appからPPCコードを削除しましたが、「mi」がPPCコードだったことを再認識。Rosettaの世話になるのも悪くないです。

6/26/08

PowerBookG4(1GHz,1GB,AI)。OSX_10.3.xでの限界を感じて10.5.xにupgradeしたものの、DSLRのRaw現像など、HWの限界を感じることはあるのは事実。MacBookでも買うか、とwebショップを彷徨っていました。13インチモニタに不安もあったので、有給で立ち寄った家電量販店で実機確認し問題なし。ついでにiPod_touch、iMac、AirMac_extreme、Mac_miniを見物しました。

意地と財政難でPowerBookG4を使っていますが、＜妄想＞次期iPhone(iPod_touch)はPPCかも＜妄想＞との思いで気が楽になりました。合わせて実弟がPBG4を買い取ると後押ししてくれたので、MacBook購入じゃなく、Mac_mini(coresolo)への乗換えを決めました。Mac_mini(coresolo)も賞味期限を過ぎた感じがしますが、Core2duoへのupgradeで延命できますし。次期購入候

補はHDD、メモリの交換が容易なMacBookで。

6/25/08

契約月が11月なので、7/11にはiPhoneを買いませんよ。windows携帯では可能な通話機能だけの契約はできなそうです(※)し、hpの廉価版ミニノート(6/30発売)より高額な本体価格も水を注された感じです。

※softbank店頭で確認済。『iPhone 3Gをご利用のお客さまは、基本料金プランに加え、「パケット定額フル」(月額5,985円)および「S!ベーシックパック(i)」(月額315円)に必ず加入いただくことになります』(引用元: SoftBank)。hpのミニノートも難航しているようだが。

auとiPod_touchを持ち歩くことを考えると一つで済むメリットは大きいのですが、次期iPhone(とiPod_touch)はPA-Semiの流れを汲むPowerPCを採用するかも。ということで。ところで、Atomは私が期待していたようにはならないようです。

6/12/08

フレッツ光の件。工事業者は80M以上出ている(リンク速度?)と言っていたのですが、回線速度サイトでチェックしてみると20~30MB/sでした。ADSL(8M)では3MB/s程度でしたから、けた違いの速さです。事実、536MBのMacOSX_10.5.3_comboアップデートを(Firefox2で)DLしてみると3xxxKB/秒でなスコアが出て、数分で完了します。

次期MacOSXではPowerPCをサポートしないという話が頻出しています。PPCしかなかった10.4発売中にTransitionが始まりましたから、PPCはわずか1世代のOSしか生き残れなかったことになります。異例の早さと思うのです。背景としては、10.5でシステム条件をPPC_G4/867MHz以上としましたが、2008年のiMacは最高3.08GHzの64bit-Dual_coreですから、性能の開きが大きすぎることは事実でしょう。

ただ、素直に納得できないのは、ARMベースのiPhoneとiPod_touchが『OSX』で『Safari』を走らせる現実。leopardが稼働している1GhzのG4で、新機能はない? snow_leopardが走らないとは思えない。Intelの圧力ではないかと。こんなに優遇しているのだからPPCは止めないかと。で、反骨気質のAppleはP.A.Semiを買収し。なんちて。

iPhone(iPod_touch)はわずか1世代でエコシステムを作りました。製品寿命はMacよりはるかに短いでしょうから、例えば次世代iPhoneがPowerPCベースの製品になってもtransitionは速やかに終わるでしょうし、世代の違うiPhoneでアプリケーションの互換性を図る必要もMacほど重要ではないはずです。HW1台あたりの収益はMacとは比べ物にならないでしょうが、iTunes_Storeの売り上げとか、購入サイクルとか、購買層の大きさがそれを補ってあまりあるのでしょう。

6/8/08

工事のため交互通行区間とか、長い信号でアイドリングストップを心がけるようにしました。効果あり。ついでに、減速時はエンジnbrakeを多用していましたが、惰性走法に代えました。

フレッツ光プレミアム(光電話+光インターネット)に切り替えました。NTTの事前説明で『ルータ機能を切ってください』と言われて心配していましたが、Foneraも正常に稼働しています。体感速度はあまり変わらないかも?

5/25/08

日本hpが発表した『HP_2133_Mini-Note PC』はもろにストライクゾーン。難をつけるならVIA_C7搭載と、廉価モデルに青歯が省かれている点でしょうか。AtomなりSilverthorneではない理由が何か知りたいものです。フル機能のwinOSが必要かどうかなど、HP_2133_Mini-Note PCの価格の前では色あせませす。



ただ、フレッツスポットですら県内2大都市にしかない現状(だからこそFONに参加したし期待もしている)、出先で何ができるというのか。

5/18/08

昔、F@Hで同一UnitをXPC7447/1.0GHzとceleron/1.0GHzとで実行したことがありましたが、性能は見事に拮抗していました。Leopardを走らせているPowerBookG4/1.0GHzをP6/1.0GHz環境と同等と考えると、P6つまりセロリン1.0GHzでもMIDとしては文句ない性能ですよ。否、その性能でe-300のRaw画像を現像している私は・・。Silverthorneはどの位置にあるのでしょうか。

世界的には新型iPhoneの話題で盛り上がっていますが、私的にはアップルストアでiPod_touchの再整備品を見るとポチリたくなります。iPhone1に遅れて新型iPod_touch発売されると思っていますし、BlueToothは欲しいので、何とか思いとどまっています。でも、現行機もwi-fi、キーボード、モニタ内蔵のパームサイズUNIX端末なんですよ。と書くとなんか欲しくなる「ちっちゃいものクラブ」会員は、次期購入自動車をSmart_CDIと決めていたりします。日本では未発売ですが。

5/12/08

La Foneraが気に入ったので追加購入。

E-300用にマグニファイヤーアイカップME-1を購入。ファインダーがケラれるという情報を得ていましたし、マニュアルnikonの時も同じような状況でしたから全然OKです。four-thirds現行旗艦機E-3に匹敵するファインダー倍率となったのか？

5/10/08

QuickSilverを使い始めました。これまで使っていたランチャーでは未登録アプリを実行できませんが、QuickSilverは全てのinstall済アプリを実行できますしfirefox.appのブックマークを開くこともできます。

PowerBookG4(AL)に¥6.2k(Appleストア)のAirMac_Extremeカードを取り付けるのはためらいましたが、¥2k(中古)でしたから躊躇なく。54Mbpsの11b/g規格ですが、速度的には気になりませんね。光導入に向けて、環境整備を考えなければならないのですが、3月末から職場の同僚が長期病気休暇になって孤軍奮闘中

4/23/08

『Apple、チップメーカーのP.A. Semiを買収』(引用元<http://www.applelinkage.com/>)。今年最高の吉報。PowerPCは終わっていない。

4/12/08

intelはWinOS搭載機をUMPCと呼び、Linux搭載機をMIDと呼ぶようです。現行機種ではMyloがMIDに近いと思っていましたが、カスタマイズの自由度が皆無でした。案外というか、意外なことにiPod_touchが最有力です。

¥1980-で買ったFONの無線ルータ(La_Fonera)は11bと11gに対応しているうえ、『内向き』と『公開』の無線ネットワークを作っています。既設ネットワークでDHCPを導入していれば、La_Foneraをネットワークに繋ぐ

だけでFONネットワークを構築できるようです(日本語マニュアル+pdfドキュメント(英語)同梱)。あいにく我が家は固定IPアドレスなので手設定が必要でしたが、そう難しいことはありませんよ。

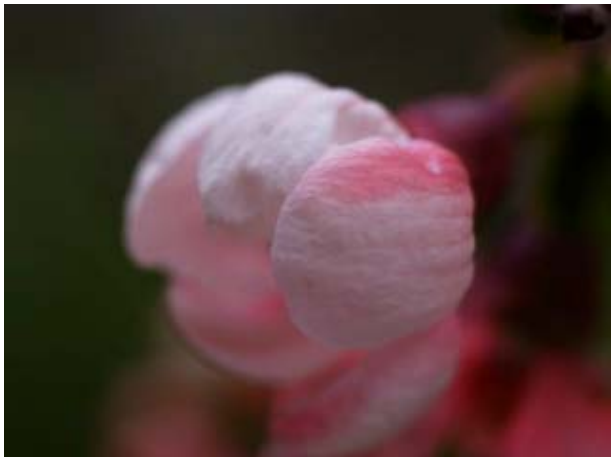
FONの『公開』無線ネットワークに若干なりとも抵抗を感じていましたが、割と安心できるかも。

『公開』ネットワークに接続する時にFONのIDを求められる。
つまり、日本では、La_Foneraを公開している人だけが『公開』ネットワークを利用できる。
接続したfoneroのログ(ニックネーム、時間、通信量)を確認できる。
『公開』ネットワークに割り振る帯域を指定できる。
『内向き』ネットワークはWAP2暗号化で運用できる。

3/30/08

出先で無線インターネット環境が欲しいものです。私が欲しいのなら他の誰かも欲しかろうとFONに申し込みました。

左: ZD35/3.5で薄日の午後。右: ニコンMFレンズで曇天の夕方。華やかな季節になりましたなあ。



3/21/08

leopardで使っているPowerBookG4(AL)が若干不安定でしたし、10.5.2updateは300MB超(install_DVDは10.5.1)なので、1)クリーンインストールし、2)10.5.2にupdateし、3)起動ディスク.dmgを作ることにしました。1)の後、『ソフトウェアアップデート』を起動し・・・で、「何度電源断をさせるのだ。ぼけ。買い替えるぞ。」と思ったほどの絶望的な不調(カーネルパニック)に陥りました。OSはまっさらですからHWを疑わざるを得ません。最近メモリを増設したんで、512MBモジュールを一枚ずつ挿し換えて起動させても変化はありません。メモリモジュール2枚ともダメになるのは不自然ですから、PBG4付属の「Hardware Test」で起動し簡易テストを実行しました。1～3分のはずが8分経っても終了しないので電源断。再度「Hardware Test」で起動すると、予め音量をミュートにしていたのに『じゃ～ん』との起動音がしました。で、30分以上かかったものの、簡易テストは無事終了。嘘のように安定し、当初の目的だった3)のディスクイメージを作成できました。やれやれ。PRAMクリアをした感じでしょうか。昔は定番メンテナンスでしたね。

OSXで動くMacに接続したUSBプリンタをネットワーク越しで他のMac(PC)から利用することができるそうで、Air_Mac_Extreme(Air_Mac_Expressでも可)とUSB接続したプリンタは同様の効果があるということです。

epsonが対応をうたっていない青歯より確実ですし、光導入対応家内インフラ再構築事業の一環として購入予定入。

A.C.クラーク氏のご逝去。氏の予言では人類はもっと進化しているはずだったのだが。ガンダムに軌道エレベータが登場する程度の変化に留まっている。

3/16/08

『LimePC』。NewtonMessagePad130で短いながらARMともつきあいましたが、玄箱PROに対して玄箱HGを選んだのと同様、選択肢があるならPowerPCを支持すると思います。

PowerBookG4(AL)にDDR333-SODIMMの512MBモジュールを購入し、1GBのメモリ空間を確保しました。Mac_mini(coresolo)は2GBですが、約7年前、私の初MacはHDDが750MBでしたよ。

3/11/08

10.5リリースの前から10.3.xの限界を感じていましたが、いざとなったら10.4のMac_mini(coresolo)を使えばよいと思っていましたので、10.4を購入する気はなかったのです。でも、10.5ではG4/867MHz以上が必要になり、また第一世代intel_macのCPUは1.5GHz以上なので、1GHzのPowerBookG4(AL)に「次」はないかもしれないと思い、購入するつもりでした。

「電源を入れてからインターネットが始まるまで9分かかる」win2kでHW的に拡張の余地が残されていない(どこか光学ドライブが壊れている)妻のノートPC(Pen3/750MHz/256MB)も限界なので、PBG4を10.5にupgradeして妻に使ってもらおうと考えた。問題点は無線ネットワーク。PBG4は購入時にAirMacExtreamカードを装備していなかったもので、後からの購入はできない(アップルに問合せ済)。その点は安価なUSBタイプで代用できるが、ベースステーション?が10Mbit/sだから泣けてくる。一方、追加投資なしに最新の無線ネットワークを超える速度(理論値)を実現する手段が天井裏にある。CAT6を新設するまで使っていたCAT5ケーブルだ。

PBG4(AL)のデータ(メールとかwebブラウザの設定とか)をMac_mini(Coresolo)に移行して、PBG4(AL)に10.5.1をクリーンインストール。G4/867MHz以上が必要な最新OSをG4/1GHzで快適に使えるか不安でしたが、杞憂でした。ただ、フォルダのアイコンとか、いよいよ某OSに似て見えるような気がします。で、お約束のトラブル発生。

debian化した玄箱HG(PowerPC603を搭載したNAS)で暗号化パッチを当てたnetatalkを運用していたつもりだったのだが、10.4が「クリアテキストでパスワードを送るよ」という。暗号化パスワードしか送らない設定にすると、NASを再マウントできなくなる現象が発生。懐かしいことに、職場でPowerMacG4(AGP)/10.3を使っていたとき、AppleDiscussion sへ解決方法を投稿した事象だ。そのときの解決方法は「別アカウントの/Users/Libraryを移植する」だったのだが、それでは平文パスワードを使うことになってしまう。本当に暗号化がかかっているのかを確かめるために、A22/ubuntu10.04をインストールしたが、vncだからかNICを検出できなかった。と、A22でもnetatalkをパッケージビルドしたことを思い出し、暗号化パスワードを流したら10.4.xでも10.5.1でも、難なく通った。玄箱HGでnetatalkをパッケージビルド&インストール。

でも妻は「もったいない」ので、光学ドライブが壊れて起動からインターネットが始まるまで9分かかるw2kノートでいいや」という。winOS機の必要性は認めているし、silverthorneかDiamondvilleを搭載したデバイスを買おうと思う。

2/25/08

子供のころを思い出すと

母は『あんたにニコンの黒色のレンジファインダーカメラを壊された』というのだが、そんな記憶はなく、初めて手にしたカメラは頂き物のペンタックスSP。中学生のころだった。その後ペンタックスK2に代替わりしたものの、Kマウントレンズは標準レンズだけだった。当時の私はマウントアダプタで古いレンズを使いまわすのが恥ずかしかったようで、K2を使った記憶はなく、その代わりに、修学旅行用に買ってもらったのだろうか、ミノルタハイマチックEで遊んでいた。SLRを使っていたのだからコンパクトカメラで満足するはずもなく、高校生のころニコンFEを買ってもらった。以来、一人暮らしの大学時代も、今でも一緒に年を重ねている。ニコンFEと同時期にフジのコンパクトAFカメラ、ミノルタのレンズ切替式コンパクトAFカメラを使っていた。銀色の大きなマニュアルカメラが恥ずかしかったのだ。20歳代後半になってライカIIIcに触れ、ミノルタα303Si-Superを買い、それでもニコンnewFM2を買い足して、フィルムカメラ時代を終えた。手元に残ったのは、NIKONがFE、nFM2、AI-S28/2.8、AI-S50/1.8、AI-S85/2、カビたAF60/2.8、ミノルタはAF500/8、気泡入ズマール50/2.8付ライカIIIc。



2/24/08

左: Nikkor50/1.8(kenko AC close-up No.10使用)。右: ZD35/3.5(ほぼ同倍率にトリミング)。共通: E-300、L318B測光、Grand master sport Pro。ニッコールは地味と思っていたが、撮り比べてみるとそんなことはありませんでした。意外な発見でした。



ぼけ具合の違いがわかりますね。

2/16/08

AI-S_Nikkor_85mmF2をE-300に取り付けて写した写真。右: 庭の主、犬の太郎。左: 餌付け中のメジロ。3mくらいの距離から撮影し、トリミングしました。



2/12/08

マウントアダプタは注文済。DSLRでは初めてのものですから、出所明らかな製造元rayqualで。同社にはA(α)マウントレンズを4/3ボディに取り付けるアダプタを要望しましたが、 α レンズは電子絞りで開放絞りしか使えなくなるので製造する予定はないとのこと。レフレックス500ミリはAマウントボディを購入するのが早道らしい。ま、sonyはライカ判サイズのDSLRを発売する予定ですし、ニコンFマウントのレフレックスレンズは玉数が見込めますし。

モードダイヤルの位置とマウント付け根に電子ダイヤル(リング)を搭載してくれないだろうか。電子リングだと、OM同様にマウント付け根をシャッター速度リングに設定できると。

2/9/08

強力なダストリダクションを頼みに、死蔵するつもりでNIKKOR_85mmf2.0をe-300に手マウントして屋外撮影したのが下左の写真で、バラの花周辺をトリミングしたのが右側の写真です。悪くない。否、『世界のニッコールレンズ』を侮っていました。ところで、AFレフレックス500mmF8も手マウントで撮影してみましたが、ライカ判換算1000ミリ！ともなると、光軸もブレもピントもシビアでお見せできるものは撮影できませんでした。



e-300でセルフタイマー撮影をしたとき、AF・AEロックができず、MF・マニュアル露出で撮影したことがありましたので、お出かけ記念撮影用と割り切っても良い。その場合、所有ニッコールは28/2.8、50/1.8、85/2(ライカ判換算56、100、170ミリ)ですから、トラベルスプリントでも大丈夫でしょう。マウントアダプタを買いますよ。

で、マウントアダプターを探してみると、レンズ側が4点締めタイプの(例: yahoo_shop、フジヤカメラ)とレンズ側マウントが3点締めのタイプ(例: discoverphoto)がありました。お値段は¥4980-から¥18900-。nikonカメラのマウントは6点締めでマウントリングに合わせマークはありませんが、5点締めのFマウント互換フィルムカメラが発売されています2。





2/8/08

Cell_BE。『東芝は2008 International CESで48本分のSD解像度の映像をリアルタイムに同時にエンコードし、1画面に映し出す「Cellテレビ」のデモを行った。なお同社はCEATEC JAPANでもSD解像度の映像をHD解像度に、リアルタイムにアップコンバートするデモを行っている』(出典:ITmedia+D/2008年01月08日)。45nmプロセスルールでPPE*2+SPE*32の構想もあったそうな。地の底から湧き上がるような、まるで無蔵の処理性能を見たかった。一方、x86プロセッサとしてはサイズも消費電力量も最も小さいSilverthorne。

一本のレンズとカメラ本体+ダブルズームキットがほぼ同じ金額だとしたら、どうしますか？アマンゾではZD50-200が約¥109kで、E-510ダブルズームキットが約¥95k。

ZD50-200を買ったとすると、重量995gのZD50-200がメインレンズになる。耐荷重2kgのトラベルスプリントはいっぱいいっぱいだ。ライカ判換算400ミリで手ぶれ補正なしの撮影システムとなるとグランドマスタースポーツ(3kg)の出番か。

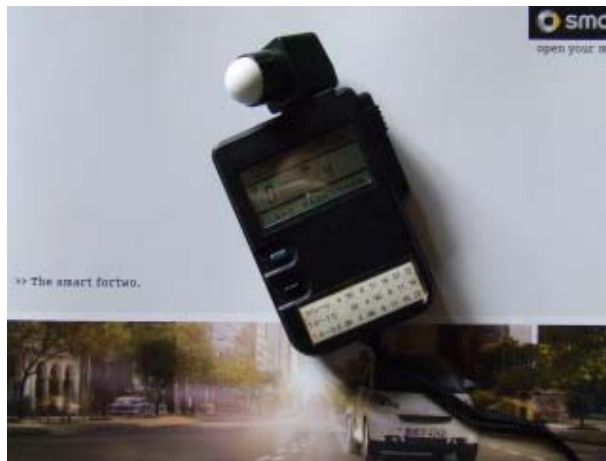
一方、E-510ダブルズームキットを買ったとすると、E-510とED14-42mmF3.5-5.6とED40-150mmF4.0-5.6、それにE-300とZD35f3.5をもつことになる。ライカ判換算28~300ミリと70ミリマクロ、発色の良いボディと軽量な手ぶれ補正ボディのシステムができることになる。最強ではあるまいか。¥95kが払えないが。

2/2/08

Sekonic_L-318Bが修理から戻ってきました。昔はフィルム別に感度合わせをしたものですが、e-300と感度合わせ。e300:ISO100、L318B:ISO160で良い感じでした。↓は、プーさんのお祝い電報ぬいぐるみを雨天の窓際室内光なしで等倍撮影したもの(詳細はexifで)。フィルム時代から「オリンパスはスポット測光」というイメージを持っていて、内蔵露出計も立派なものです。私でも何度か露出補正をすれば左側の写真が撮れるのですが、一発で出せるのが良い。しかし、シャッターダイヤルと絞り環のUIが欲しいものです。

左:L318Bの指示値(倍率補正)で。右:絞り優先AE(spot)





撮影倍率が高くなると外部露出計の測定値を補正する必要がある。それを露出倍率といい計算で出せるらしいのだが、早見表を貼付けているのが私のL318B。

1/30/08

windows互換のオープンソースOS『ReactOS-0.3.3-REL-live』を、hp_d325(Athlonxp2400+,128MB)で試してみました。Live-CD(英語版)ですが、実に小気味良い操作感でした。

庭木の枝に刺したみかんにメジロが来ていました。我が家最大の望遠レンズはfinepix_z3の望遠側(ライカ版換算約100ミリ)で、7~8m離れた10cmほどの被写体に対して無力でした。というか、憧れのZD50-200でも足りないかもしれません。AFレフレックス500mmF8を使いたいのですが、αボディを買うべきですね。

ところが、Olympusはfour_thirds準拠レンズに限って動作していたボディ内手振れ補正を同社製MFレンズでも機能するように改善したfirmwareを公開したのです。マウントアダプタさえあれば・・。

1/24/08

1/14は意図せずに測光モードが変わっていたことが原因でした。スポット測光値を中央重点測光と思って露出補正を当てていたのですから、訳わかめ状態でした。反省として、露出計(sekonic L-318B)を修理に出しました。

中古は精度とか気になりますし、手頃な値段の新品は光球が首振りをしない構造です。で「自分で分解して本体裏側シーンを破損してしまったL-318Bの修理を受けてくれるか」電話で問い合わせたところ、交換部品・工賃・校正の代金と送料および代引手数料込みで¥11,970-。しかも3ヶ月保証付き。修理代金が大雑把すぎ？というか、丸ごと交換なんでしょうね。

1/14/08

隣の空き地のバラや雑草を撮影していたのですが、露出が当たらず、本当にお見せできるものは撮れませんでした。それでもフィルムの頃は現像が出来上がるまで確認できなかったものが、今は背面液晶モニターですぐ確認できるからありがたい。と思うでしょうが、そんな簡単なことじゃない。

一つは露出補正で、確かに結果を見ながら補正をかけられるが、始めから適正露出が分かっていたら構図なりピントに神経を回せる。適正露出を測るのが露出計。フィルムの頃使っていた入射光式露出計が壊れていて難儀をしている。

1/12/08

印刷速度は極端に遅いし縁なしプリントの設定方法が不明等、使えるレベルではありませんが、gutenprint5.1.6(gimp-print)で、PBG4(AL)/10.3.9からBT-MicroEDR2を接続したPM-A840へのプリント出力ができました。純正ドライバでのBT対応をepsonへ要望しました。

BT-MicroEDR2をPM-A840の前面USBポート(A)に挿し、PBG4(AL)/10.3で青歯設定をしていますが、プリンタを認識してくれないのです。10.3では『できない』ことが大杉なのは事実で、Leopardへのupgradeを真剣に考えました。とりあえず『BluetoothUpdate1.5.dmg』をinstallしてみます。ただ、Mac_mini(coresolo)/10.4でもプリンタを認識しないのが肝。PBG4(AL)からのリモート操作だからでしょうか？epson純正青歯でないダメなのでしょうか(しくしく)？

ぷらっとホームに続き、expansys.jpでもfrogpadが買えなくなっています。終息でしょうか(しくしく)。

2008 International CES。MacProはニュース性なし。sonyの『x86系のCPUではないものが搭載されている』

LinuxベースのVAIO Home Media Server(コンセプトモデル)と東芝の「Cellテレビ」。Silverthorneが搭載された東芝製UMPC(サンプル)のCPUの動作クロックは1.60GHz。

1/3/08

無いとやっぱり不便なnetatalkをdebianスタイルでinstallできました。カーネル再構築をする覚悟でしたが、その必要はありませんでした。

```
apt-get source netatalk
sudo apt-get build-dep netatalk
DEB_BUILD_OPTIONS="ssl debuild"
export DEB_BUILD_OPTIONS
sudo dpkg-buildpackage -r
sudo dpkg -i netatalk_2.0.3-ubuntu1_i386.deb
何をしているか、意味不明。
```

自宅庭の不明植物のグミ状の実。こんなつまらない写真を撮り続けたい。



e-300+ZD35mmF3.5(撮影データはexifで)。

1/2/08

日本語ローカライズUbuntuでの最新版は「Ubuntu 7.10 - 2009年4月までサポート」。2007年10月リリースなので、Fedoraに比べると十分長いサポート期間といえます。が、日本語ローカライズ「Ubuntu 6.06 LTS - 2009年6月までサポート」を使っています。CD 1枚構成ではUbuntu 6.06 LTSのパッケージ不足は決定的で、特に開発パッケージは壊滅。wineの./configureで『あれもない。これもない。』と言われっぱなし。なんとかできたから良いけど。



1/1/08

今年もよろしくお願いします。



DVDドライブを内蔵していないIBM_Netvista_A22。Fedora7からCDイメージの配布がなくなり、困っていたのは事実。で、Debian(玄箱HG)つながりで、1枚のCDでinstallできるUbuntuに取り組んでいます。Debian系はコミュニティベースのディストリビューション。対するコマーシャルベース?のディストリビューションの代表がFedoraやYDLという位置づけと解釈してみると、Debian系の方が正しい姿かもしれません。否、Fedora系に親しんでたので勝手の違いに戸惑うばかりですよ。注:Fedora9のインストールCDはDLできます。

12/14/07

<妄想>「Silverthorneが生(x86)コードを処理」</妄想>というより、将来のIA32が先祖返りをするかもしれない。と思ったのは、ある程度以上のパフォーマンスが要求される製品においてはx86_64が主力製品となるのだから、将来のIA32に求められるのは絶対性能ではない。そしてCPUは未来永劫x86コードだけを実行すればよい。という世界観では、IA32がx86コードをuOPに変換して実行する内部RISCのP6アーキテクチャを継承する必要はないと思う。netburstより後のマイクロアーキテクチャーではuOPの数を減らす方向ですから。

12/09/07

玄箱HGに続くPowerPCを搭載した製品を探したんだが、ないねえ。PS3と中古PowerMac以外には。MIPSやARMをPPCの代わりにするよりSilverthorneに期待する方が幸せに近いかもしれないねえ。Silverthorneが生(x86)コードを処理する可能性も残っているし。

12/02/07

玄箱HGに250GBを内蔵し、debian化(ap-getによるパッケージ管理)。afpdを稼働させるためカーネルを再構築。OSX10.5は平文パスワードをはじくとの情報を得たのでnetatalkを自家コンパイルし、ファイルサーバとして稼働中。

↓の「この時期年に一度だけclassic環境が必要」とは年賀状作成のことで、先日購入したepson pm-a840に『本格派の年賀状作成ソフト、カラリオ年賀を無料配布中』というチラシに従いMac版をちょうだいしました。去年まで使っていたソフトウェアで宛名データをCVS出力し(多少の手直しは必要でしたが)、データを移行できました。winOS機のソフトでデータを共有できる訳ですか？

1)xDカードを直接本体に挿入できること、2)派手めな発色、が好印象で、へんてこなチップでのインク管理も失敗を避けるためとも考えられる。妻が使うことを考えると、カメラにケーブルをさしてプリンタと接続するc社より使いやすい。と。で、デジカメプリントも立派なものです。>epson pm-a840
年賀状作成ソフトを購入する方向で妻と相談していたとき、現実(winOS機)がなければ困ることもあるが、我が家にはw2kしかない。winvista機を買うから使ってくれないか、と。で物色中。

11/29/07

PowerBookG4(AL)にFedora8-ppcをインストールしましたが、私の環境ではFirefoxで異常終了が頻発するなど残念な点が目立ちました。今回は10.5を買おうと思うのですが、この時期年に一度だけclassic環境が必要だったり。

1. OSX環境を外付HDDに退避させる

- 1) 外付HDDのデータを退避させる
- 2) Disk Utilityを起動する
- 3) 外付HDDに、内臓HDDと同サイズのパーティション1を作成する
- 4) 外付HDDのパーティション1にPBG4(AL)内臓HDDを復元する

2. OSXでの起動

- 1) 外付HDDの電源を入れ、PBG4(AL)と接続する
 - 2) "opt"キーを押しながら起動し、
 - 3) 起動ボリュームを選択する
- ※defaultではFedoraXが立ち上がる。

11/26/07

IBM_Netvista_A22。最新のFedora8をインストールしようとしたのですが、キーボード選択から先に進めず、結

局FedoraCore6を新規インストールしました。

冷静に考えると、PowerBookG4(AL)にOSXとFedoraを共存させれば良い。

11/21/07

PowerBookG4(AL)の起動ディスクにするつもりで購入した、5インチドライブを2台内蔵できるFirewire外付ケース。居間で常時稼働させるには冷却ファン音がうるさいので、バックアップや常時使うわけではないjpeg書類等の置き場になっていました。この外付ケースはネコくらいの重さがあるし一時的といえど設置場所も必要。そこで、保存しているjpeg書類を別室のMac_mini(coresolo)で見たいときは、1)PBG4(AL)を起動し、2)Firewireドライブをマウントし、3)共有フォルダとしてアクセスしていました。言うまでもなく煩雑なので、この外付ケースをMac_miniとFirewire接続、居間のPBG4(AL)とMac_miniとPBG4(AL)をギガネットでつなぐ計画もしましたが、1)Mac_miniがwol不能、2)ユーザがログインしないとFirewireドライブをローカルマウントしない仕様、で断念したのです。

11/20/07

11/12に書いた「名前に長い日本語を使ったファイル」の問題は、Debian化してnetatalk2.0.3を導入し解決しました。

玄箱HGのページを更新。

11/16/07

KURO-BOX Memoさんを参考にして、玄箱HGのDebian化にすんなり成功しました。ところが、`apt-get install netatalk`でsocketエラー。ってことはカーネル再構築だ。PM8500/YDL3の頃、U-ATAカード(PCI)がらみではまり込んだ`make menuconfig`がなつかしい。いろいろやらせてくれるね。

11/12/07

玄箱標準Linux「MontaVistaLinux」上の、名前に長い日本語を使ったファイルが、OSX(10.3.x)のファインダーから見えず、アプリケーションでそれを利用できない不都合が判明しました。monavistalinuxでnetatalkのmakeを試してみますが、ダメならdebian化に取り組むとしますか。

OSXで玄箱HGの共有フォルダをマウントして、名前に長い日本語を使ったファイルをコピーしようとしたところエラー発生。ただし、FTPでそのファイルをputできるし、ターミナルからは(文字化けするものの)そのファイルは確認できる。つまり、montavistalinuxのnetatalkの問題と思うのです。

また、PowerBookG4(AL)/1GhzのOSのことを考える時期でもあります。Mac_mini(coresolo)付属10.4はファインダーで『ターミナル.app』などとダッサい表記をするのが許せませんでした。PowerBookG4(AL)/1Ghzにしてみれば、多分最後のOSXとなる10.5は如何に？ですな。なあに、いぬxがあるさ。

11/08/07

玄箱HGのページを起こします。

職場のwinXP(SP2)から玄箱HGに『F4K Install Kit』をインストールできました。つまり、私のw2k環境では『F4K Install Kit』が正常に動作できなかったということが確認できました。で、当面は玄箱標準Linuxセットに手を加えることに決定。

- ・玄箱にF4Kを再インストールする都度WinXPが必要。
 - ・「`shutdown -h now`」で本体の電源が切れない。
 - ・「`reboot`」で再起動しない。
- ※以上は私の環境での動作であり、全ての環境で同様の動作を保障しません。

11/05/07

玄箱HGのfedora化ですが、職場のwinXPを借りる方法が残っていました。



ところで、『玄箱〇〇化』とはパッケージ管理のことで、どのディストリビュータからパッケージを導入するか、ということではないかと思えてきました。カーネルのビルドとyumができればうれしいのですが。

11/03/07

玄箱標準Linuxに『sudo』も含まれていました。で、sshとsudoを解放したシステムを乗せたH社80GBをバックアップにできるので、新調したH社250GBをFedora7化することに上げぼげほ(週末になると体調が悪い)。『できる玄箱Fedora化』で紹介されているパッケージを元に手動フォーマット&パーティション、FTP転送をする(注1)が、起動にいたりません。何時まで経っても「ただいま設定中」では、買った甲斐がないので、250GBに標準Linuxセットをインストールし、ssh、sudoを解放した。

注1) windows2000では「インストールキット」が動作しない。

10/29/07

<10/28の記事を書直し>

PowerMacG4(AGP)で使った後、Netvista_A22(FedoraCore6)に使っていたH社80GBのHDDをKURO-BOX/HGに組み込みました。ところが、sshを数回手動起動させるとHDDの異常アクセス?が生じsshを起動できなくなる症状が発生(再セットアップ後も)。手元のM社HDDは何故か玄箱添付のsetup.exeでシステムを転送できない。で、H社80GBをweb上の設定画面から『詳細チェック』中。早くHDDを新調したいかも。その他、気づいていること。

- ・sshを追加しようと調べるとsshはインストール済みでした。というオチ。
- ・「shutdown」で電源が切れるのは良い。
- ・wolは効かないという噂。

玄箱稼働に合わせ、パソコン部屋に置いていたPowerMac8500を別棟の倉庫へ移転しました。玄箱のCPUはFreescale製MPC8241。SoC化しPC133SDRAM対応なものの、プロセスルールはMacに搭載された最終モデルと同じ0.25 μ mだったり。『PowerPC603』で思い出すものといえば、BeBox、Alchemy、Tanzania、互換機、Copland、そして私の初Mac(Performa62xx)、初LinuxPPC機。とにかくPowerPCの灯は守りましたよ。

10/22/07

膨張していたキャパシタを交換し、hp_d325を救出しました。意外と静かです。

PowerPC603eコア(266Mhz)を搭載したNAS組立てキットKURO-BOX/HGを購入。

10/12/07

低ESR/6.3V2200uF/105°C(2000hr)のキャパシタを@73×8で発注。動作温度が10°C下がると寿命は2倍になるらしいので、ボディ内が55°Cの雰囲気でも寿命は64000hr。1日当り10hr稼働として6400日の寿命なら、十分でしょう。ベンダーHPによると『消費電力:最大150W』のAthlon2400+機ですから、自宅に持って帰ったら「ウチデハカエマセン。捨ててらっしゃい。」と、のび太ママに叱られるので、IBM_Netvista_A22を自宅に持ち帰る予定。もともとFedora用に買ったA22ですし、wolも確認済みですし、不安はないのですが、不満は。

LinuxPPCではパッケージ不足に苦勞した挙句Transitionの可能性を確信したものの、IntelアーキテクチャーならMacにこだわ

ることはいわゆる。私のルーツはPowerPCだからPS3にXDRが増設できるなら躊躇せず買っていますよ。でも、今CellBEにしてもうということいえば主にファイルサーバでしょ。そうだ。生産終了になる前に、私が初めて買ったパソコン: Performa62xxのPowerPC603の発展型が搭載されているNAS製品を買おう。

久しぶりにPowerBookG4(AL)をリストアしました。

10/5/07

vncクライアント(PowerBook側)に『Chicken of the VNC』を使っていました。PBからFedoraを操作する場合は(速度もデスクトップの再現性も)不都合はなかったのですが、PBからOSX-10.4.x(Intel)を操作すると、Firefoxのスクロールはもどかしいし、ポインタは『・』にしか見えないし、右クリックが効かない。早い話が使う気になれない。で、今回サーバ(mini-CoreSolo)もクライアントもOSXvncにそろえてみたら、ポインタと右クリックが改善。速度は1000Baseに期待すると。

実は、miniでFirewire接続したHDDをネットワーク共有したかったのですが、loginしていない状態ではAFPマウントできませんでした。で、やむなくPBのFirewire接続HDDに戻しました。NASが必要かな。

PBにカードリーダーを接続し、*.orf(RAWデータ)をmini-CoreSoloに接続したFirewire-HDDに保存する。必要なときは、mini-CoreSoloで現像し、PBで回収する。ってなことをしたかった。そうそう。目下WOLができないのも痛い。

職場でCeleron700機×2台、AthlonXP2400+機×2台が起動不能になりました。さすがにカップ700に興味はわかず、AthlonXP2400+機を見てみるとBIOSも立ち上がらない状態でした。ケースを開いてみると、1台は8個、別の1台は5個のキャパシタが膨らんだり液漏れをしていました。修理できたら私専用PCにしても良いと取り付けたので、がんばってみようかと。

9/30/07

1000Base対応と思っていた5ポートハブが実は100BaseTXなので未完ですが、無事、CAT6ケーブル/15mを天井裏に敷設しました。で、ピアツーピア接続して、「コントロールパネル/ネットワーク/Ethernet」で手動設定(ギガネット)してみると、謎の現象が。

	CAT5	CAT5e	CAT6
PowerBookG4(AL)/1Ghz			1000BaseTX
Mac_mini(CoreSolo)			1000BaseT

TX?。互換性ねえじゃん。1000BaseTと10000BaseTXの両方に対応したハブを探さなければ(miniの画面はPBG4のvncクライアントで見ているのだが(ふぷ))。

9/27/07

ともに1000Base-Tに対応しているMac_mini(CoreSolo)とPowerBook_G4(AL)とでギガビットネットワークを作ることになります。「Apple Remote Desktop」が快適に使えるようになれば吉。つまり、10m超のケーブルを屋根裏に這わせるのです。NASが欲しくなりますなあ。

9/23/07

ついに理想のコンパクトデジカメを発見しました。Finepix_Fxxx。

最近のコンパクトデジカメは、

- 1)晴天時の屋外で液晶モニターが見えないこともあるし、
- 2)光学絞りを装備しておらずISOで露光制御している?とか、光学絞りがあってもNDフィルタとかで、
- 3)バッテリーが切れたらお手上げ。

ところがFxxxは、

- 1)光学ファインダーを装備していて、
- 2)選択式機械絞りで、
- 3)コンビニで買える電池が使用できる。

9/16/2007

実家に預けていたアカネを昨日引き取りました。一晩あけて在来ネコたちに大きな異常は見られません。やれやれ。とりあえず、アカネ写真をご披露。



9/13/2007

うにおは、すこぶる快調です。入院前は(アカネが来る前も)エサを食べた後ウプウプと戻すことが多かったのですが、退院後は一度も戻していません。実家で預かってもらっているアカネをどうしたものかと。

昔集めたMinolta_a9xi、Nikon_F3、Nikon_newFM2のカatalogを再発見しました。

どうやらかないませんでしたが、9xiは手に入れたかった一台でした。一眼レフらしくない、薄っぺらいペンタプリズムが好きでした。

9/10/2007

久しぶりにNikon_newFM2のファインダーを覗いたら、視野枠というのかスクリーンの大きさに驚きましたよ。

うにおは2日間の通院をしましたが吐き気が治まらず、2泊3日の予定で入院していました。退院後の経過は順調です。

9/2 頻繁に戻す

9/3 吐き気を抑える注射

9/4 吐き気を抑える注射

9/5 腹部レントゲン検査、血液検査、入院/点滴

9/6 バリウム検査

9/7 レントゲン検査。前日のバリウムが結腸で留まっている

方針:結腸を検査する。胃に異常がないか検査する

他院に設備を借り、先に内視鏡検査を行い、異常があれば外科手術をする

内視鏡検査(胃、腸×3回)異常なし

結腸に粘膜?の付着物アリ(洗浄×2回)

夜、嘔吐あり

9/8 午前面会。ドライフードを数粒食べる

点滴(血管)が限界近いし、外科的処方はないので、一時退院を考えている

免疫を抑えるため、ステロイドを投与

夕刻退院

うにおの療養のため、あかねを実家で預かってもらっています。相性が悪いのかしら。

8/29/2007

遅ればせながら、Mac_mini(coresolo)をFedora7にupgrade_install済みです。不具合を見つけるほど使い込んでいませんが。。

FC6+wine0.9.4xでは、OlympusMaster2(win)を起動できませんでした。wineの問題なのか、FCの問題なのか、切り分けはできていませんが、OSX_10.4.x+CrossOver_MacでもOlympusMaster2(win)を起動できませんでした。2GBの物理メモリを活用したものです。素直にOSX+OlympusMaster2(Mac)を使えば良いという声が聞こえるような気もする。

PDAとして使用可能なwinCEポータブルナビを研究中。

8/27/2007

数カ月前にFour_Thirdsへ乗換えた私だがNikon_D3は素直に嬉しい。30年近くマニュアルニコンを使っていたから、古巣を懐かしむようなものだろうか。昭和の時代に生まれ世界に誇るFマウントニッコールレンズ

を、そのままの画角で、デジタル時代に活用できる可能性がありがたい。

で、広角レンズ使用時に画像の周辺部が崩壊してくれないと、他社『フルサイズ』CMOS搭載機は存続の危機的にマズイのだが。(ふぶ)

8/26/2007

(加筆修正し、8/27へ)

8/25/2007

新車納車以来初めて妻と白水ダムへドライブ。ETCとドラナビは便利(昼食を食べながら次の目的地を探せないというか、自動車に乗っているときしか操作できないのは不便)ですね。



FotoPusに投稿しています。

8/23/07

ネコたちの病院通いも落ち着いた模様。

「35ミリフィルムより小さいサイズのイメージセンサを採用しているDSLRは、今まで使っているレンズの画角が変わるからなあ。まあ、n社が35ミリフィルムサイズイメージセンサ採用DSLRを発売するまで待つよ。でも、n社こそ(L社のような)デジタルパックを発売するべきだと思うのだが。」デジタル専用規格DSLR『four_thirds』を知るまでの私です。

新規格発足理由の一つ『(フィルムでは問題にならなかった)キツイ角度の入射光は、井戸の底に例えられる、イメージセンサの深層部まで届かない』は、35ミリフィルムサイズイメージセンサ搭載DSLRを出さないn社の良心に読めたのです。確かに、Olympus_e-300+ZD35ミリとC社DSLR+Σ 30ミリで同じ被写体を撮り比べたら、中心部から遠ざかるにつれてC社DSLRの画像が溶けるように崩壊していました。35ミリフィルムサイズセンサ搭載EOS_D5+詳細不明24ミリで撮影された画像、1DS+EF28ミリで撮影された画像でも分かんと思います。ちなみに、n社の良心か否かは不明ですが、このサイトで最廉価機40Dで撮影された周辺部崩壊写真は見つけれませんでした。カメラ・レンズ自体が精密光学機器ですし、フィルム時代の神の思召し(分子の密度)を加工精度で超えようとしているのですから、難しい挑戦ではありますね。

で、35ミリ×23.9ミリの自社開発CMOSを搭載した『Nikon_D3』ですよ。

8/17/07

うにお。8/16の朝から蛇口からの水飲みを確認したので点滴は中止しました。同日午後、8/17朝も蛇口からの水飲みを確認。一安心です。ただ、診察の結果、口内炎は残っているので、引き続きインターフェロンと抗生物質の投与します。

8/13/07

アカネを引き取ってからというもの、一週間のうち5日通院してたりします。はあ。

アカネ	サクラ	うにお	カール
ノミダニ駆除薬投与	健康	健康	健康
抗生物質7日分	健康?	健康	健康
エイズ、白血病検査	抗生物質7日分	健康?	健康
健康	健康	健康	健康

健康
健康
健康
健康

健康
健康
健康
健康

抗生物質7日分
水飲未確認のため点滴
血液検査、エイズ白血病検査、インターフェロン6日分
点滴
治療中

健康
健康
健康
健康

8/6/07

8/5は少し気合を入れたつもりでしたが、構図はありきたりですしピントも甘い。また発色見本でした。

花はMFで撮影しています。35ミリ版の時もマグニファイヤが欲しかったことがありましてし、手軽な三脚と合わせて次期面白い物リストですね。あと紫外線フィルタを研究中。

8/5/07

朝方、久々の青空を朝顔と(左上)。結婚記念植樹のバラ(右上)とミニバラ(左下)。olympus_E-300+ZD35mmF3.5。(重量級三脚使用)



8/2/07

e300のページを新設する時期かも。

7/31/07

たくさんの小さなお友達を連れた、750g(7/23現在。7/28は800g)生後約1ヶ月のネコをいただきました。オスだけど、赤ネコだからあかね。妻のセンスはすばらしい。新聞のちらしでこより棒を作って遊んでやると、四輪ドリフトでコーナーを回ったり、遥か遠方から直ドリで走って来て突如びよ〜んと飛び上がったり。『ラジコンバギー車みたい』と妻。病院で撮ってくれた写真(診察券・カルテ用)は、顔が長いのでキツネネコに似て見えます。在来ネコとの体格差とどんな隙間に入り込むか分からないので、普段はオリの中に隔離しています。オリの外に出ている時、在来ネコたちは遠巻きに見ていますが、油断しているとチビネコに追いまわされています。赤ネコ恐るべしです。

自家製唐辛子を使って自家製ペロンチーノを作りました。小さいの一本だけでしたが、すっげーかれー。

良いででした。カメムシ系害虫がワラワラ集ってくるので、ビニル袋で唐辛子の木？を包んで蚊取り線香を焚いたら、唐辛子の葉が落ちてしまいました。植物由来だから殺虫剤より良からうと思ったのですが。しくしく。

7/23/07

妻の血行対策とかネコの爪トギ予防にと、今年の春先、隣の空き地に1mくらいの畝を作って植えた唐辛子の苗。実が赤く熟れはじめ、目を楽しませてくれます。一方、5月の連休に畝を増設して植えたトマト苗はみごとに繁り、食糧を提供してくれています。来年もがんばろう。

35mmレンズは4/3では「70mm相当」の画角になるのですが、ファインダーを覗きながら被写体に歩み寄ると、やっぱり広角レンズの見え方をしていると感じました。ということは、NikonFEに85mmレンズを付けて被写体に歩み寄ると、中版カメラを使っていた人は広角レンズの見え方と感じ、私は望遠レンズの見え方と感じるのでしょうか？

画像を掲載し始めてから、アクセスが増えたような気がします。

条件を考えると嘘のような数値と思うのですが、demio試乗車(13cv)は20km/L台をマークとか。

7/21/07

『SLIK Grand Master Sport』。NikonFE(newFM2)での山野草の接写でも、500mmF8レフレックスレンズを装着したMinolta α 303Si-Superでも、カメラぶれはなかった。気軽に持って行けない3kgを超える重さが恨めしい。で、一脚を物色中。trekpodに興味があるのだが。

マクロレンズらしいところを。妻が育てている花(名称不明)。内蔵ストロボ使用。



思い起こせば。Nikonマニュアルレンズでは表現できない深い緑色を写したくて、そして、(今でも)他社にはないAF反射レンズを使いたくて、 α をサブ機にしました。

7/18/07

台風4号が去った翌日の空と散歩道に咲いていたツユクサ。E-300で撮影したRawデータをOlympusMaster2(win)でサイズ変更とjpeg化しました。私的には『目を見張る青さ』。購入は正解。



7/09/07

olympus_e-300と2GB_CFとZD35mmF3.5を購入。オープン規格four-thirdsにしました。

選択理由をまとめる。nikonユーザだが、DSLRカメラとはマウント以上の互換性はないレンズしか持っていないので『過去の資産』はない。olympus製4/3用レンズはn社やc社のデジタル専用レンズより豊富(先月調べ)。ペンタプリズムのない特異なスタイルと特徴的とも言われる発色。(本命はe-410だが)予備機は必要と思うタイプ。使い勝手のことは追々。

7/06/07

1984年。『for the rest of us.』。Big Brotherを打ち砕いたMacintosh。だから、『iPhoneを「Wi-Fi専用PDA」にするハッキング』が登場したのは歴史的必然性がある。のか？

県都に出たついでにヤナセでオイルエレメントをもらったら、メルセデスマーク入り黒色小袋に入れてくれた。

7/04/07

自動車のフロアマットを取り替えました。むかしむかし。RX7(FC3)で使っていた『カロ シザルヘンプ』はフロア形状を記憶(本当に！)したものです。同じブランドなのに、ふにゃふにゃ曲がる柔軟さに違和感を覚えました。風合い、見た目は変わらないと思います。なんせ比較の対象が昔話なので。

フロアマットは、1)Ultraプラグコード、2)SX-8000、に続く、祝smartk5年100kキロ走行プレゼントの一環です(樹脂パーツとかルーフ薄皮の経年劣化はどうしよう)。

olympus_e-300を購入予定。

ずっとnikonでしたので不勉強でしたが、伝統的にolympusはマクロと青色の再現性に定評があるとか。e-300は、非ペンタミラー光学系なので、ぱっと見レンジファインダー(パナライカとかolympusペンFF)のスタイルも良い。さらに、国内現行製品では採用されていない(青色に強いらしい)コダックCCDを搭載するとなれば中古機を買う大義名分も。

自動車関連でもう一つ。何気に『Demio』を検索したら「自然給気ミラーサイクル」エンジン搭載との事。rotary_engineでルマン優勝した1991年、eunos 800(一部)に搭載されたリシオルムコンプレッサ+ミラーサイクルエンジンがmazdaの本当の宝と思っています。ラインアップから消えて久しく、突如Fordがオットーサイクルにスクリーコンプレッサを装備したものですから「正しい使い方を教えてやれよ」と思ったものでした。三菱と豊田は『高効率アトキンソンサイクル』とかもったいぶった事を言いながらリリースしたのは子供だましのリーンバーン。昔々のこと。否、今でも圧縮比と膨張比の違いを理解できる人は増えただろうか。

6/29/07

写真投稿サイトに掲載されている画像を見て、ZD_35mmF3.5_macroを気に入りしました。

6/28/07

数年前、甥の運動会時期に某オークションでαボディを買いましたが、four_thirdsはお店で買った方が気持ちは良さそうなお値段です。

中古e-300+35ミリF3.5(macro)で間に合えば金額的には楽なのだが。

6/24/07

志の高いフォーサーズを買うことにします。

E410レンズキットで良いと思いますが、どうしてもマクロレンズが欲しい。50mmF2の評判がよろしいのだが、お値段もよろしい。しかも新しい規格だから中古も少ない。で、始めに中古機+50mmF2を買おうと思っています。

6/16/07

nikonのオンラインショップからクーポンが届いていたのでお店を覗いてみると、レンズの品揃えに唖然とした(カメラ量販店より高額設定なのはお約束)。で、カメラメーカー各社のデジタル一眼レフ(DSLR)専用設計レンズを調べてみた。

xxx	zoom	single_focal	macro
-----	------	--------------	-------

nikon	9	0	0
canon	5	0	1
olympus	9	3	2

注) nikonのオンラインショップでは、9本のラインアップのうち4本は品切中。

6/13/07

カメラの××でデジカメプリントのついでにオリンパスe-410を眺めていると、結婚以来あまり欲しいものを買っていないのだから買えば？と言われました。妻よ。ここはじっくり腰を据えて10年くらい趨勢を見守るべきなのだ。

フルサイズイメージセンサー搭載機がないnikonを嘆いていましたが、four thirdsのレンズカタログを読むと、多くの一眼レフカメラがフルサイズより小さいCCD?を使う理由分かる気がしました。それならnikonかαに戻れば良いという気もしますが、35ミリ換算率が1.5ってのが気持ち悪い。一方、four thirdsの35ミリ換算率は2なので、暗算も楽。

しか〜し。考えてみれば明らかだが、レンズの焦点距離に起因するボケとか被写界深度とかは感光体のサイズに影響されないよ。焦点距離50ミリのレンズが作る像がCCD等のサイズで変わるわけではなく、早い話、36×24サイズの中心部をトリミングしていることに気付いた。きっと、大判→中版→ライカ判と、フィルムのサイズが小さくなるたびに繰り返されたことなんだろう。

6/2/07

Mac_mini(CoreSolo)。メモリを最大搭載量の2GBにしました。標準の512MBでもSwapメモリを利用する場面はほとんどなかった(FC6)ものの、今が底値?と買いました。ところが、Firefoxの初回以降の起動では明らかに速い。良い買い物でした。

フラッシュメモリは書換可能なROMなのでメモリ違いではありますが、Finepix_z3と一緒に買った256MBを使い切ることが多くなったし、1GBのxDカードを買いました。が、512MBならCD-Rに全部コピーできるものの、1GBは半端だったかも。

カメラつながりで。マウントアダプタなしで「ライカレンズ」が使えるシステムカメラE-410が猛烈に欲しくなっています。メディアはxDとCF。

5/13/07

複合命令『x86コード』を『マイクロオペレーション』に分解して処理する『内部RISC』の『P6アーキテクチャ』に、『マイクロオペレーション』を保存する『トレースキャッシュ』を備えた『NetBurstアーキテクチャ』。一方『マイクロオペレーション』を再結合し『マイクロオペレーション』の数を減らすことでクロック当りの処理能力を高めた『Banias』。『Yonah』までのx86の大まかな歴史だが、始めからマイクロオペレーションを入力すれば、CPUはx86コードをデコードする必要はないから納得できない。Intelが『過去の資産』を訴求するメリットはあるが、マイクロオペレーションをネイティブに実行するCPUに、x86コードをコードモーフィングとかエミュレーションで実行させる手法をとれないものか。x86のスケールメリットを求めたAppleに期待しても無駄か。

4/15/07

人事異動の対象になり、久しぶりに「市」へ通勤しています。

3/24/07

このPOWERがCellBE。

Folding@home distributed computing

Client statistics by OS

OS Type	Current TFLOPS*	Active CPUs	Total CPUs
Windows	152	159303	1625114
Mac OS X/PowerPC	7	8724	95350
Mac OS X/Intel	8	2728	7232
Linux	42	24987	215730
GPU	41	692	2185
PLAYSTATION®3	403	16464	17411
Total	653	212898	1963022

Total number of non-Anonymous donators = 621715

Last updated at Fri, 23 Mar 2007 15:58:22

DB date 2007-03-23 15:55:47

『GPU』というのはATIのRadeon X1900のことらしいが、こいつもスゴイ。

3/22/07

更新が滞りがちな「自動車の記録」だが、『Google Docs & Spreadsheets』を利用すれば改善する。のか？

3/19/07

Apple Storeで売っている『XtremeMac HDMI-DVIケーブル ¥2,580』を使えば、PS3とDVI端子を持つパソコンモニタを、又はハイビジョンテレビとPowerBookG4(AL)を接続できるそう。

3/15/07

yellowdoglinuxが動いてもメモリの増設ができないスパコン。それがPS3。

PowerPC750FX(600MHZ)を搭載するEposn LP9800C
canon LBP5900SE(400MHZのPOWERPC750CXR)



32 Node PS3 Cluster

A light weight but powerful cluster, ideal for the development of parallel, Cell optimized code. Seamless code migration a Mercury Cell blade, 1U, or CAB product offers a smart, powerful upgrade path. *This cluster offers a theoretical performance of greater than 5TF!*

- 32 60GB PLAYSTATION®3s.
- HP Procurve 48 port gigabit ethernet switch.
- Yellow Dog Linux pre-installed.
- Y-HPC Cluster Construction suite pre-installed.
- 32 Cat6 ethernet cables.
- RapidMind Cell Development Toolkit, pre-installed.
- HPC Racks, rack shelves, and power distribution not included.



32 Node PS3 Cluster:
\$44779.73



3/13/07

w2kを使っていたときのhtmlエディタ『ezhtml』を思い出したのでwine-0.9.22で試してみたところ、起動するもののキー入力ができませんでした。他のCPUがカスミくらいx86が優れていた。ってことではなく、むしろ進化論的に必死で環境に適応してきた雰囲気、その結果Pegasos2もDisconしていましたとさ。

3/10/07

知らないうちに知らない人たちへメールを送られていたので、exciteのアカウントを削除しました。

3/9/07

体育館ほどの大きさのスーパーコンピュータ:地球シミュレータがテレビで取り上げられると意味もなく涙が溢れ言葉につまる。

Mac_mini(CoreSolo)。fedora.jpの掲示板を参考にrpm -ihv プライベート版libX11 --nodeps(強制インストール)後、wine-0.9.22の挙動がおかしくなった。だからといってプライベート版をyum -y removeしたのが大きな誤りで、依存性が欠如したX Window関連ファイルも道連れに削除したとなれば「ひい～」である。数時間で復旧したが。

今日のコマンド find

```
find path -name '2eds_*' -exec rm {} \;
```

解説しよう。fedoracoreに限らないと思うが、AppletalkファイルサーバにMacから接続すると、へんてこな足跡を残す。そのひとつがフォルダ毎に一つできる2eds_*ファイル。GUIで削除するとなると、めんどくさくてやる気もしないが、コマンド操作なら一瞬だ。

3/3/07

隣の空き地(約90坪)にツクシが生え始めた。忌々しいから写真を撮るまでもないが、今のところげっそりと痩せ細ったツクシばかりだから可愛げもあるが、今年も雑草との終わりなき戦いが始まりますなあ。

2/27/07

親がNikonFEを買ってくれたからずっとnikonを応援していますが、決して先進的ではなかったし、今でもデザインはダサイ。F1の本田さんのスポンサーというイメージが強烈で、本田さんに足を引っ張られる感じで観音さんも好きになれないのだと思うが、普及クラスのコンパクトデジカメでかたくなにファインダーを残しているcanonはカメラメーカーとして実に立派だと思うし、nikonの単3電池対応最新型コンパクトデジカメL12の(またしても)繰出し部下側にずれたレンズが意味不明にダサイと思う。L11と見比べると、設計ミスだったのだろうか？





2/26/07

FC6+wine0.9.22でiTunes6.0.5も動いたのですが、終了には失敗してzonbieになっています(くす)。wine200xxxxxやwine.0.9."一桁"の頃はwineではiTunesのインストールすらできなかったので大きな進歩と思います。



2/25/07

↓HDDを買い出しにいく前に確かめてみると、電源コードが抜けかけていた。とほほ。

2/22/07

妻が『何度パソコンの電源を入れても途中で切れてヒューンて音がするのよ』と。その表現が面白いこと。ネコ2からおしっこをかけられたこともあるノートパソコンですが、とりあえずハードディスクが逝ってしまったのでしょな。「今度電源をいれたらトドメをさすことになることもある。」「交換パーツ(HDD)を用意してデータを掘り出すことを考えた方が良い。」「フェド〜ラにしなさい。」と、(普段は不可能な)命令調の説教をたれた。

妻の用途ならFCxで困ることはないと思うが、例外はiTunes。

FedoraJPの掲示板に出ていた『トリプルブートにできないのですが?』との書き込みに釣られて久しぶりに覗いたappleのDiscussionBoardsでしたが、『BootCamp板』はひどいですなあ。「MacでWindozも動くんだよ」派と「なぜAppleのパソコンはWindozがまともに動かないのでしょうか?」派とお返事ボランティアの織りなす様は、ここはどこの自作サポートBBSでしたっけ?だ。まじきもい。ぺっぺっ。早いとこ避難しておいて良かった。というか、再びこっちの世界に戻るつもりなのだが。

Multi-Bootは思っている程便利じゃない。WinOSを使うつもりならWinOS機を買った方が良いと思うが、windozのライセンスがあるなら仮想化を勧める。ライセンスがなくてもあっても、一度CrossoverMacを試してみなさい。

Apple Discussions

Home > Boot Camp Beta

Boot Campのバブルックベータは、www.apple.com/jp/macosex/bootcamp からダウンロードすることができます。プレビューソフトウェアです。

Pages: 1 [2](#) [3](#) [4](#) [5](#) [6](#) [Next](#) ↻

トピック	作成者	返信
 ドライバインストール中に再起動	umizora	4
 ポインタが全く動きません!	LIME	5
 AirMac Expressで接続できません	みょん	6
 Vistaをインストール	jeY	7
 セキュリティはいかに?	SHOZO	17
 MacBook ProにVistaいれました	susan2000	13
 MAC PRO (標準構成)でVista Ultimate 64bit版インストール後の不具合	もんもん	14
 外部機ボードを認識しません	GATAYAN	1
 Boot Camp アシスタントが起動しません。	JUN	4
 vistaで不明なデバイス	yoshiyan	2
 勝手に電源が落ちて再起動。	shohakus	1
 ついにVistaをインストールしました!	もりりん	6
 無線LANの頻断について	tomono	2

MacOSの頃、windows共有フォルダへのアクセス、非PSネットワークプリンタへの出力、純正非対応の光学ドライブなど、WinOSで普通にできてMacではできないことが多く、特に職場では「使えなかった」ものだ。UNIX(BSD)ベースのOSXになり、Macにできないことはずいぶん減り、以前とは比較にならないほど充実した環境を手に入れることができたものだ。ふがふが。今思えばOSX(PPC)はSystem6の資産を(一部であっても)引き継ぐ最強の環境だったのかもしれない。

2/13/07

先月、2回目の車検を迎えたsm@rtkに、100kキロ目前プレゼント「Ultraプラグコード」を取り付けたところ(点火プラグ同時交換効果か?)、なんとなく低速トルクが増加したような気がしていました。で、これまで数回しかsm@rtkを運転してない妻が「自動車が軽くなったみたい」と言うので、本当なのでしょう。

『VW GOLF GT』のCMを見ながら「昔、スクロールコンプレッサともスパイラルコンプレッサとも呼ばれていたアレ+DSGなら一つの理想形」ともてはやしたら、妻が『乗りたい』と言うので試乗会へ行ったのです。しかし、期待していたアレが捻れ三葉ルーツでは試乗する気もなくなったし、意外なことにGolfはリアシートが平らに畳めないでイヌカゴが載せられないことが判明。そこで、座蒲団一つくらいの段差で収まるPololに妻が試乗した。驚く程エンジン音が静かででしたし、バックでの車庫入れも一発OK。良い経験になりました。

自宅のPowerBookG4(AL)の「ホーム」をバックアップして、クリーンレストアしました。iTunesほか純正アプリもX11もDeveloper Toolsもinstallを見送りましたが、classic環境は意図的にinstallしました。つまり、FCxに逃げ道がある今、羊刈を使ってまで10.5(PPC)を買うかどうか。

2/6/07

昼休みのこと。a22/fc6でjre1.5.0_10をインストールして、とあるインストールノートに従って設定した後、再起動してみると、twnが立ち上がる?目の前が暗くなり、冷汗が流れ出した。こ、これはっ。再起動。うぐっ。またもやtwn。ログイン画面でKDEを指定してもダメ。ああ。自宅に帰ってネコを撫ぜたくなった。HDDのデータを吸い出さなければならぬと気づいて、ターミナルに『ls』を打ち込んだが『そんなコマンドはないよ。けけ。』と言われ、さらに気が遠くなりかけたが、ここにヒントがあった。パスが壊れているのに違いない、と。で、再起動前の作業を思い出すと、確かに『/etc/profile.d/java.sh』に「export PATH=ほにゃほにゃ」と書いた。ならば、と、『/usr/bin/vim』を掘り当て『/etc/profile.d/java.sh』の記述をコメントアウトし、フェドーラの神

に祈りを捧げ、再ログインすると、びんごおお。また経験値を稼いだのか？やれやれ。

2/5/07

職場のA22のサブ機にもなりますので、Mac_mini(CoreSolo)にFC6をインストールしました。BootCampでパーティションを作りました。BootCampの正式版登場後、β版で作成したパーティションが使えなくなる訳ではないですが、OSXなしにFC6をインストールする方法を勉強していきましょう。しかし、10.4に馴染めないのか、Intel-Macに馴染めないのか、Mac_miniのOSX稼働時間は延びません。

私の場合、OSXのclassicがsystem6に始まるMacintoshの流れをかりうじて受け止めていたということでしょう。そのように考えると次期購入Macはどうなるのでしょうか。そして、いつまでPPC版OSXをサポートするのでしょうか？

1/29/07

FC6+OOoでの仕事にも慣れてきましたし、『wine』をconfigureしていると『Xwindows開発パッケージ不足』エラーが出ますし。今の環境をバックアップ環境にできるうえ、経験値がかせげる夢のような作業＝別のHDDに新規インストールを行いました。

別のHDDとはHitachi製80GBのドライブで、PowerMacG4(AGP)/800から取り出した後、外付けFirewireケースに内蔵していました。セクタ不良のような症状が出ていたので、Fedoraで喝入れのつもりでしたが不調のきざしも見えません。ってことは、相性か？

外付けケース用に購入したのは2006年6月発売の『1プラッタ160GBの3.5インチHDD、160GB、回転数7200rpm、キャッシュ容量8MB』“Deskstar 7K160”(HDS721616PLAT80)。

ウイルス対策

```
#yum install clamav
#yum install clamav-update
#vi /etc/freshclam.conf
#freshclam
#clamsccan
```

1/22/07

FC6からwindows共有フォルダへの接続ができない現象について、若干の進展がありました。まず、純正？WindowsXP機の共有フォルダへの接続は問題ありませんが、linkstationというnas上で実現している職場のwindows共有フォルダは、文字コードか何かの不一致でFC6上では文字化けを起こしてしまうことが原因のようです。調整にはまだ時間が必要です。

単3電池対応デジカメの新機種が登場していて、頼もしい限りです。

1/19/07

iPhoneとmylo。本来自由度が高いはずのLinuxを採用したmyloに追加アプリケーションの柔軟性はあるか？

ほわんほわんほわわ〜ん。

回想>結婚後一ヶ月ころ、妻と近所を散歩していたらウチまで着いてきてしまった迷いネコでがネコ1で、妻が「さくら」と命名しました。その頃は桜の時期でもなかったのに「もしかして寝言で『さくらさん』とか言ってしまったのではないかな？」とびくうしました。この場合の「さくら」とはもちろんCCSですよ。おそろおそろ妻に問い合わせてみると『寝言なんか知らないしCCSってなに？』でしたので、かえって恥ずかしい思いをしました。

FC6をKDEで使っています。デスクトップの『システム』アイコンを開くと『リモートの場所』があり、『リモートの場所』>『Samba共有』でwindows共有フォルダにアクセスできることがわかりました。ただ、日本語のファイル名(フォルダ名)は文字化けをします。

1/18/07

2006年7月に購入したMac_mini(CoreSolo)/MacOSXより、2002年6月頃発売のA22(¥11,500)/FedoraCore6の方が仕事に使えるという事実の前に、私は呆然として立ちすくむしかなかった。

proxy(firewall)の内側からyumを実行する方法

『/etc/profile.d/proxy.sh、/etc/profile.d/proxy.cshを書けば良い』とお告げに従ったものの改善されませんでした、/etc/yum.confに「proxy=http://url.to.proxy:port」を追加して解決。

1/17/07

近頃齧歯類がページのタイトルを変えろと言っておる。寝ているうちに足をかじられたらたまらんで、ゴマを擦っておくとするかの。ふがふが。

いかん。いかん。気合いが抜けた。ページのフォーマットが崩れておった。

1/16/07

仕事内容のLinux親和性を検証中。

Canonのドライバ?rpmをインストールしようとしたら依存性エラーの嵐だったり、yumが不能だったり散々でしたが、CUPSで難なくプリント出力ができました(1/16)。

```
sudo yum install libglade
sudo rpm -ihv bjfilterpixus560i-2.4-0.i386.rpm
sudo rpm -ihv bjfiltercups-2.4-0.i386.rpm
```

で、cups(lpd)からbuffaloのプリントサーバ経由でpixus560iへ出力できました(1/18)。

OpenOffice(linux)は実用に足りそうです(1/16)。

NASへのアクセスができていません。当面フラッシュメディアでしのぐか(1/16)。

1/15/07

農の仕事環境は既に開発が終わった窓村2キロで事務所2キロじゃ。机上機と膝上機の2台への組込みが許されておったで重宝したもんじゃ。もちろん同時使用はいかんの。職場で使う机上機の予備機が自宅の膝上機という塩梅じゃ。ふおふおふお。ふが。今の窓村はアクティベーションをするで、事実上一台の農具にしか使用許可はないんじゃない？それに農の農具は、机上機が五番目3の安売り1000番地で目盛りは386、膝上機が五番目3の750番地で目盛りが256じゃから、展望村を手に入れるのは無駄じゃと回りの爺もいうておるし、賞味期限が残り2年と知りながらxp村の家を買うのもバカらしいと思うんじゃ。でものお、農具2台分のxp玄人代は払えねえだで、お布施がいらないという犬村の爺に話でも聞きに行こうと思とるんじゃ。ふがふが。

訳>win2kは飽きたが、職場用に自腹でwinXPを買うのはばからしい。そうだ、OOo(win)の実用性は確かめているので、一度Fedora Core X/Netvista_A22でOOoを試してみよう。

1/14/07

常用極小自動車を車検入庫しました。プラグとプラグコードの交換を依頼していますので、納車が楽しみです。代車は180キロ走行のあ190で、前回のえクラスより気が楽です。

google検索でblogのページがヒットしても求める内容が見当たらない事は珍しくありません。というか、blogに行ってしまったらすると、内容は読まずに(時間の無駄になることが多々なので)googleページに戻り、別のサイトを探します。自分のblogを作るにしても、構成(管理)の自由度が小さいと思うので、blogには距離を置いています。

1/12/07

新ISPへの接続手続きをしておったもんで、昨日の分をあっぷろーどし忘れてしもうた。年にはかてんのお。ふがふが。

1/11/07

『iPod携帯』の表記は『Apple Reinvents the Phone With iPhone』の『iPhone』をひどく矮小なものに意識付けるような気がします。「ほっそりした電話機(Smart phone)なんかイラネ」のガキジャリ.jpには分かりやすいかも(笑)。

FinePix4500の復活により今回は見送ることになった単3型電池対応のデジカメ購入じゃが、CoolPix_L6に比べカメラらしい外見に好感を持っておったFinePix_A600に(米国で)動きがあったそうじゃ。1/1.7型625万

画素のA600が1/1.6型830万画素のA800に進化し、1/2.5型630万画素のA610が追加されたようじゃ。A800とA610はxDカードかSDカードを排他的に使用できるそうじゃ。CoolPixも2月頃新モデル投入か？と思っておったで楽しみだのお。ふおふおふお。

1/10/07

儂はのお、最近見つけた九村を見守っとるんじゃが、iPhoneをNewton_MessagePad以来の幕府謹製PDAとして使える予感がするんじゃ。禿殿が復帰後話題になった？『Mac OS Light』かのお(声:秋山森ノ進)。

CrossOver Mac 6.0.0が正式リリース。が、USB接続でもプリンタサーバ経由のネットワーク接続でも、OSXからは当然出力できますが、cxmac上のwinアプリからはプリント出力ができません。仕事に使わないMac_miniを職場においておくのももったいないので、自宅に退避します。

早速文字コードを誤っていました。

1/9/07

『ライカ版』とも『35ミリ版』とも呼ばれてきたフォーマットに親しんだ身なので、画角・焦点距離が35ミリ版と違ってしまうデジタル一眼レフ機には抵抗があります。だからフルフォーマット機をラインアップしているメーカを応援したい気になりますが、LEICAのDigital-Module-Rが正しい光学機器メーカの姿勢ではないでしょうか。

久しぶりに自動車の記録を更新しました。

1/8/07

遅くなりましたが、今年もよろしくお願いします。

12/28のこと。床にデジカメ(FinePix4500)を取り落としてしまい、起動不能になりました。買い増したFinepixZ3に問題はないのですが、FinePix4500も活躍していましたので、お値段と単3型電池対応で、Coolpix_L6とFinepix_A600に絞り込みました。ところが、FinePix4500の電源を入れてみると、きちんと動作するのです。とさ。

12/25/06

Timex ExpeditionのFast strapは交換できました。クリスマスケーキと年賀状の作成も終了し、妻へクリスマスプレゼントも渡せました。今年も終わった気分ですが、まだ仕事に行かなければならないってのが納得できまへんなあ。

ISPの乗り換えを検討しています。

12/20/06

で、一泊人間ドックで久しぶりにTimex Expeditionを使ったら、このベルトの装着感は最高によろしい。で、Fast wrap(ベルクロバンド)を交換したいのだが、久々の個人輸入になるか？とか、新年からMac_mini(CoreSolo)を職場に持ち込む計画とか、手持ち資産を有効的に運用するの段に入った感じ。

PS3は店頭販売しているのだろうか？とか考えている間に熱が冷めてしまったし、myloでもzero3でもなく『悠久の銀河帝国』で一泊人間ドックの空き時間を消化しましたし。これじゃsomyも儲かりませんなあ。わはは。

12/6に再度Mac_miniを職場に持ち込んでテストしました。NeoOfficeはなぜかサイトが落ちていた(12/7はOK)ので、OOoのX11版で試してみましたが、表計算を起動できないへたれユーザであることが露見。cxmacをこねまわしていたら、日本語フォント以外のプリント出力はできました。

12/4/06

2002年頃win2kでStarofficeを試しましたが、メニューバーが英語表示だったり、wordで作った表組みがwriterでは全く同じようには再現できなかったり、HW性能(Pentium2/350)が足をひっぱったりで、実用的ではありませんでした。今日、Celeron/1000Aのw2kでOpenofficeを試してみたら、乗換えは十分現実的だし

た。つまり、Mac_mini(Coresolo)/OSXでWinOS用Officeの実行(プリント出力)にこだわる必要はないのかも。

cxmac経由でプリント出力を確認できない以上、Office Mac v.Xを『アップグレード半額キャッシュバック』でOffice 2004 for Macに、とも考えましたーRosettaですがー。でも、OSX用Openofficeを使えば、cxmacで問題だったネットワーク上のプリンタへの出力とネットワーク上の共有ドライブへのアクセスが避けられます。これは確かめなければ。

11/30/06

今週中に、これまでのスタイルに戻します。

Mac_mini(CoreSolo)を職場に持ち込んで、Crossover Macは仕事に使えるか、チェックしました。しょぼい職場なので、非PSインクジェットプリンタをプリントサーバ経由でネットワーク共有していて、そのプリンタに出力できるかどうか大きな関門です。PowerMacG4(AGP)で仕事をしているときに使っていた『TurboPrint』はOSX10.4(Intel)に対応していないらしくプリンタの設定ができなかったので、『TurboPrint』の代替ソフト『PrintFab2(UB)』でクリア。ところが、Crossover Mac(cxmac)で動作しているwinOS用アプリからはプリントできませんでした。へなへな～。一方、winOS用しか用意されていないBuf社のプリンタサーバ設定用ユーティリティがcxmacで動作しましたし、重宝するものではありません。

11/21/06

日付の誤りを訂正しました。

11/20/06

CrossOver Mac 6.0 Beta 3はwine-0.9.17をベースにしています。で、『wine』の容器だから『Bottle』なのでしょうが、デフォルトで『windows98』と『windows2000』という『Bottle』が設定されています。winecfg画面で*.exe毎にDLLを指定することも『windowsxp』という『Bottle』を作成することもできるので、『windowsxp』を作成しie7のインストールを試みましたが、失敗でした。もちろん「今のところは」。

筆者注:Crossover Macは如何なるwindowsOSも付属していませんし、如何なるwindowsOSもインストールしてくれません。Crossover Macは、本当のWindowsOSでwindows用アプリが実行されたかのように振る舞う舞台となる、Fake windowsOS環境を提供してくれます。

11/19/06

職場でwin2kを使わなければならなかった理由のアプリがCrossover Macで動きました。

11/15/06

Crossover MacでWindows用M\$-Office2000が動きました。

11/14/06

GX-6200(Low-profile PCI graphicsカード)は、windowstveta(beta)のドライバでAero対応なのですが、『PCIの転送速度が遅いからAGPが登場した』という歴史の事実をベンチマークが再現しますね。初めからAeroはあきらめていましたし、おとなしく810E2対応ドライバのリリースを信じましょう。

11/13/06

PS3は値下げしなくても良かったのに。というか、早急にPS2エミュレータを完成させて内蔵『EE』を省略するか、20GBモデルの価格でHDDなしモデルを追加し20Bモデルを廃止しないと我慢大会になってしまう。Linuxのバンドルされているかどうか未だに分からないので、私はYDL5の公開を待っている。

100,000km走行目前につき、自動車のプラグコード交換を検討中。候補は伝統のULTRA。弱電波地域でラジオの点火系ノイズが小さくなれば言う事なし。

WindowsVista対策?として、Netvista A22にLow-profile PCI graphicsカード(GX-6200)を検討中。Aeroにも対応!?

11/4/06

11/3の記事?を書き直し。

↓ のとおり、CoreSoloとTualatinに大した違いはない。どころか、動作クロックに至っては同じ？1000Mhzなのだから、IBM Netvista A22にWindows vista RC1をインストールしてみたところ、問題点はi810E2のgraphicsドライバがないから640*480でないと256色表示になってしまうことくらいだった。IntelからwinXP用ドライバをDLしてインストールしてみたが互換モードでインストールするようでは青画面エラーになって当然だし、BIOSで設定できる最大(グラフィック)共有メモリ=1MBではAERO云々の資格もないが、やたら高スペックを要求される印象があったので、M\$を見直した。
i810E2のgraphicsドライバの件は、エラー報告と要望メールを出した。善処してくれたら好感度アップなのだが。

1	CoreSolo(Mac_mini)	Celeron(IBM Netvista A22)
cpu family	6	6
model	14	11
stepping	8	1
model name	Intel(R) CPU T1200 @ 1.50GHz	
cpu MHz	1000.000	1002
cache size	2048 KB	512 KB

10/30/06

FedoraCore6をMac_mini(CoreSolo)にクリーンインストールしました。Anaconda(インストーラ)のGUIも、Network設定も、きれいに修正されていました。諸々設定をし直して、PowerBookG4(AL/1Ghz)からssh、vnc、netatalkの確認。これが無償無料なのだから有難い。というか、M\$の長い角は高額すぎると思うのだが、これも今の世を生きてゆくには必要なお布施か。

Windows Vistaの 価格			
エディション	アップグレード版	通常版	アカデミック版
Home Basic	1万4490円	2万7090円	－
Home Premium	2万790円	3万1290円	1万8690円
Business	2万7090円	3万9690円	－
Ultimate	3万3390円	5万1240円	－

(出典:ITmedia)

10/23/06

『スパコンTop500で2002年6月に第2位に5倍の差をつけてトップを獲得して以来、2004年11月にIBMが開発したBlue Geneに首位を明け渡すまで、5期連続でトップを維持し』(以上wikiから引用)、2006年6月現在10位の「地球シミュレータ」は、過去の気象条件から実際に起こった気象を再現できるからこそ、地球温暖化など未来の気象を予測できるのです。そういう性能を要求される『スパコン』は『パソコン』とは次元の異なる処理性能で当然なのでしょう(※1)。

※1100台のPowerMacG5をクラスタ化してtop3に入ったこともありました。

10/22/06

「スマートフォン」タイプのau電話の提供につきましては、現在のところ未定とさせていただきます(by au)。

10/19/06



私とLinuxの馴れ初めはPowerMac8500と『LinuxPPC 1999?』でした。その後アミュレット様から『LinuxPPC 2000 Q4』を頂戴し、PowerMac63xx改AlchemyをLinuxPPC専用機に仕立てました。LinuxPPCはDisconし、アミュレット様がYellowDogLinuxの取扱いを開始したので私も便乗しましたが、YDL4でOldWorld機のサポートがなくなりました。今後に不安を残しましたが、カーネルの再構築(成功)するきっかけになりました(Applleに先駆けFedoraCore3/x86へ移行)。YDL4は64bit CPUに対応していましたし、現にPPC970を2機搭載したATX、PPC750CxeかMPC74xxを搭載できるM-ATXマザーボードは存在しますが、YDL最大の市場はMacintoshユーザですから、YDLの今後は心配でした。PS3がLinuxを搭載することが発表された時、それがYDLである予感がありました。しかし、PS3はYDL5プリインストールではない模様です。YDL5の国内供給元はあるのか？PS3のオプションとして取り扱われるのか？供給体制の確認をします。

10/18/06

Ω SpeedMasterで測定したら、メータが70ど真ん中を指している時の速度は67と68 km/hの間を指していました。メータ誤差は△4.48～△2.04%の範囲内ということでしょうから、30km/Lという燃費は約29km/Lというところでしょうか。メータ誤差が10%もあることが分かったときはがっかりしましたが、車検時に調整を依頼したら良い感じに仕上がって今日にいたります。走行94,000キロ超ですか。長い付き合いになったものです。ところで、半球形ドーム型ミラーに写った像を撮影するような、360° 視野のドライブレコーダとかあったらよいと思うのですが。

iFrog. 内蔵電池の製品寿命と内蔵電池の取替(交換)修理対応の有無及び交換用キートップの有無を確認していました。内蔵電池、キートップとも交換サービスは予定していないとのこと。メーカー送りの送料と日数もバカにならないので、必要になったら新品を買うことを勧められました。買う気が萎え～(使い方はこれで良かったか？小僧)

また文字コードが。

10/16/06

自動車の記録を更新しました。再びの30km/L超は・・・。
新型sm@rt情報としては、三菱がエンジンを供給、2007年発売、米国でも販売、というくらいしか持ち合わせていません。新型でも、軽、RWD、非トルコン、過給器付きであって欲しいものです。

forfourのsoftouch plusも侮れませんが、現在最良の変速機はDSGでしょう。mercedesもA/B系列はベルト・プーリ式CVTなので次期sm@rtにも採用されるのでは？と少し心配です。『コスト的にトルコン+CVTは採用できなかった』てなことになると助かりますが。

一時は改善したかに見えましたが、迷惑メールは～@mac.comにしか届きません。Macサービスの内、利用していたのはメールだけでしたので、最後の半年くらいは有料(¥9.8k-/年)で風俗spamメールを配信してもらっているようなものでした。

10/10/06

芝の種から芽が出ましたが、時期的に地面に移植できるか不安です。
ヒノキ林に自生している栗から大きな実が採れましたので、今日は栗ご飯(うほっ)。

10/06/06

Fedora Core 6 PreはBittorrentだけで配布されています(しくしく)。

別機でCeleron1000AをFSB133Mhz駆動したときは内蔵グラフィック周りも高速化されたせいか高速化が体感できた記憶がありますが、職場でCeleron1000AMhzをCeleron1.3Ghzに交換しても30%高速化した実感はありません。節電のため1000Aに戻します。

Celeron	1A GHz	SL5ZF	27.8w
Celeron	1.3 GHz	SL6C7	?)32.0w
Pentium3-S	1.13 GHz		27.9w
Pentium3-S	1.26 GHz		29.5w
Pentium3-S	1.4 GHz		31.2w

10/05/06

天候もよろしくなってきましたので、IBM Netvista A22を純正CPUのCeleron1.3Ghzに戻してあげることになります。Tualatin512KB(Pentium-S)を入手したいのですが、CoreDuoにも目配りをしていますので、なかなかですね。

意図せず、文字コードをECU-JPIにしていたようです。

10/02/06

昔H'を使っていた時は、別荘(現在の自宅)は通話困難で職場はエリア外でした。それでも2年間はエリア要望を続けたのですが、改善しなかったので、auに乘換えました。今では職場周辺はwillcomの通話エリアになったようですが、自宅周辺と通勤道路沿線のアンテナは増設されていません。auがSmart phoneを発売すれば、willcomのzero3系を選択する理由は希薄になりますし、smart phoneを持っていればzuneをPDAとして使う必要性はなくなります。

で、appleの携帯電話(?)はどの位置に来るのでしょうか？

10/01/06

CrossOver Mac 6.0 Beta 2も日本語はダメです。

9/28/06

HHK-L2(USB/B)が届きました。PowerBookG4(AL)にも似合います(ベージュ色比)ので、自宅用に決定です。ところが、今まで使っていたHHK-L2(USB/W)の『カチャカチャ』したキータッチとは違う、『ゴムゴム』とした感じでした。静かで良いのですが。

9/26/06

classic環境を使う大きな理由の一つはFetch3.xでftp転送を行っていることです。コマンドラインからのftpファイル転送はどうも性に合わないのですが、OSXのFinderからFTP接続できる事を思い出しました。しかし、パーミッションが合わず、だめでした。

9/25/06

昔、Mac雑誌で『half key』の記事を見た記憶はあるのですが、製品名までは覚えていませんので、web検索したらwww.frogpad.comを発見しました。QWERTY配列にとらわれない新奇さと青歯対応でiFrogを応援します。幸いPowerBookG4(AL)もMac_mini(CoreSolo)も青歯を搭載していますので、右脳開発&ものぐさ文字入力ということでしょうか。もっとも、十分以上に気に入っているHHK-L2があるからこそ心のゆとりでもあります。



Half key



9/22/06

重大な誤解をしていました。PS3はCell搭載PowerPCプラットフォームとしても格安なのは間違いありませんが、誤解のせいでお買い得度半減なのです(しくしく)。

正)PS3はBD-ROMドライブを採用
誤)PS3は記録可能なBDドライブを搭載

ということで、この秋に購入予定だったPS3はお買い物リストから落ちました。このままではお小遣いが貯まってしまうので、この変態キーボードを購入しようかと思っています。

注文後に気付いたのがいかにもって感じですが。

隊長！IBM Netvista A22/w2kにつないだHHK-L2(USB/w)で、BIOS画面の呼び出し(F1キー)、外付けテンキー接続時の動作、スリープ？復帰後の動作、PC本体USBポートからの抜き差しなど、問題ありませんでしたっ。

9/20/06

買う前に確かめてみよう、自宅のHHK_L2_us(usb/w)を職場で使っているNetvista A22/w2kにつないでみたところ、日本語入力時にキー刻印？と実際に入力される文字とが異なるし、どうにもよろしくありません。確かめてみて良かったと思いながら、日本語配列なら良いのだろうけどPS/2の方が良いのだろうとか、考えていました。よく考えてみたら、一人で考えても仕方ないのでweb検索してみました。私とは逆の問題で悩んでいた方もいたらしく、『キーボードの配列が変です／101 キーボードとして認識されます』という事例への対応法が書かれているページがありました。結果的には、w2kでのHHK_L2_us(usb/w)の日本語使用の実用性を確認できました。では黒モデルを自宅用に買うか(オイオイ)。

1. HHK-L2(USB)をポートに挿し、ドライバに『HIDキーボードデバイス』を充てておく(独自)
2. regedit を起動し、HKEY_LOCAL_MACHINE ¥SYSTEM ¥CurrentControlSet ¥Services ¥i8042prt ¥Parameters を開き、LayerDriver JPN のデータを kbd101.dll 又はkbd106.dll に変更し、再起動する。

9/19/06

自動車の記録を更新しました。エアコンを常用する時期を過ぎましたが、再びリッター当30キロ(月間)を達成するのでしょうか？

OSXとWinXPのdualブートってのがどうにも理解できない私。一方のバーチャライゼーション。動機としては理解できますが、私の理想？はwine。作者が新バージョンの開発を止めたwine-config-sidenetですが、全てのアプリケーションに対応することを目指すのではなく、例えば『駅スパート』に最適化したwineのDLLオーバーライド設定を読み込むランチャーというかヘルパーはアリと思うのです。多分、Crossoverが目指しているのはそれですけど。

iBook(800)用に購入したHappy Hacking Keyboard Lite 2 英語配列 USBモデルは、本体がPowerBookG4(AL/1000)に変わった今でも愛用中です。一方、職場で使っているIBM Netvista A22はIBM純正日本語キーボードで使っています。刻印？がかすれ気味のキーがあるのは気にしていませんし故障しているわけでもありませんが、HHK/L2(黒)を買おうかと思っています。

9/16/06

FedoraCore6 test3をMac_mini(CoreSolo)にクリーンインストールしました。インストール中のポインタの動作はtest2と同様に異常に重く、ネットワーク設定がうまくできませんでした(test1は問題ありませんでした)が、インストール後は普通に動いてくれます。Firefoxのスクロール速度はずいぶん良くなりました。

9/13/06

Finepix4500で撮影した写真です。

ネコ2 ネコ3

9/12/06

9/11の写真はFinepix4500で撮影しました。このカメラ、今でこそへろへろで写りもしよぼいですが、発売当時は超軽量・超小型・超薄型のスタイリッシュな超高画質デジタルカメラ(税別¥68k)だったのです。¥1kで高額下取りしてくださるのだそうですが、昨年¥6kで修理をしましたので、しくしく泣きながらお断りしました。新たに購入したz3は妻が大切に保管しています。

9/11/06

zuneをPDAとして使用できるなら、記録容量(HDD内蔵)は申し分ないのですが。ところで、『内臓』ってのは『はらわた』ですから、『内臓CCD』って怖いと思うのですが。



自生の栗の実。



食料危機(お皿からっぽ)。

9/10/06

ここ数日雨がちで、しかもどしゃ降り。これは地球温暖化の影響に違いない。温暖化対策＝二酸化炭素の排出を抑えようとする努力に置き換えられていますが、人並み以上に頭脳明晰な私は地球に到達する赤外線量をコントロールするべきであると言っておきます。まずは両極地の氷の減少を食い止め地球の冷却機能を復旧・強化し、海底のメタンハイドレートが溶け出さないようにする。次に永久凍土の融氷を食い止め、凍土に封印されている莫大な量のメタンガスが空気中に出ないようにする。現在の温暖化対策はメタンガスの温室効果を侮っていると思います。現にメタンガスの流出が起きているなら、石油代替燃料として燃焼させ二酸化炭素に変えて放出するべきです。

9/7の2粒と追加収穫した2粒を隣の空き地に植えました

95%が室内のペット撮影と伝えたところカメラ店員のオススメはFinepix系で、妻のお好みにより、つや消しピンク色のZ3を購入しました。フジがいう『高感度だと速いシャッターが切れるから結果的に手ぶれ(被写体

ぶれも)を防ぐ』の理屈はフィルムメーカーとして至極当然です。一方のジャイロ機構は、望遠レンズでは手元で0.3°もブレたものなら被写体は撮影範囲から外れてしまいますので、その対策として「遅いシャッター速度での手ぶれを防ぐ」目的で装備されたのではなかったでしょうか。一眼レフカメラ用の手ぶれ防止機構は観音様が交換レンズに内蔵したのが初めてだった気がします。

速いシャッターを実現する『高感度』と遅いシャッターで撮影できる『ジャイロ』は目的が違うのですが、撮影対象が白トビ気味で背景は暗すぎるストロボ撮影に対しては同様の効果(光量を抑え遅いシャッターで撮影する)を得られますから、妻は違いを理解してくれませんでした。言い方を変えれば、動画を撮影するビデオカメラとか、被写体を写しているデジカメの液晶画面なら、常にジャイロの効果が生かせると思いますよ。

9/7/06

今日、ヒノキ畑の縁に自生している栗の木についているイガが一つ口を開けていて、実が2粒穫れました。写真が撮れたら良いのですが、『天津甘栗』くらいの大きさの実です。良い実は香り高く、濃縮された味がします。イガはまだありますし別の栗の木もありますので、今日の実は隣の空き地に植えておこうと思います。

昔TVで見た記憶ですから間違いかもしれませんが、ドングリとか栗の実は地面に埋めないと発芽しないそうです。実を埋めるのはリスです。越冬のための食料としてリスは木の実をあちこちに埋めますが、食べないまま春になると実は発芽します。そして実は成長して木になり・・。好きな話です。

9/5/06

自動車の記録を更新しました。月間燃費は次のとおりです。正直すごいわ(えへ〜)。毎日の通勤で軽自動車の流れに乗って走らせた燃費で、数値には何ら細工を施していませんよ。国内自動車メーカーには、お金がかかるハイブリッドとか、いまさら3速ATとか興ざめな冗談はやめて、もっと基本的なこと、技術的なことでがんばっていただきたい。

7月:27.8km/L

6月:30.4km/L

5月:28.8km/L

4月:28.0km/L

9/4/06

itmediaの『MSの対iPod「Zune」を勝手に予想する』によると、zuneはWin Mobileを搭載すると書かれていますが、スタイラスペンやキーボードを装備しているようには見えません。一方、Win Mobileを搭載している現行製品はゼロ3も含めてPDA(またはsmart phone)で、単なるメディアプレーヤーはありません。Zune単体で楽曲等の購入及び管理ができるシステムを想定していないならリッチなOSは不用でしょうから、GUIを装備していると考えて当然でしょう。丸い円盤状の部分がタッチパッドのようなポインティングデバイスだとしても、文字入力をするためのインターフェイスが謎なのです。

9/3/06

PSPは動画分野でiPodに対抗できる可能性があったと思うのですが、記録可能なUMDメディア/ドライブがない現状では、HDDより相対的に記録容量が小さくて高額なメモリースティックに自前の動画データを記録するしかありません。じゃ、素直にiPod(5G)はどうよと言われれば、ヤツはメディア再生以外に能がありません。私は携帯マルチメディアプレーヤーよりも、新しいPDAが必要なのでzuneに期待しています。だから次選は賢い電話機ゼロ3。

交通基盤の整備された都会で自動車を使う必要性は希薄でしょうが、私が住んでいる地方都市は私鉄はありませんし、最寄りJR駅に行くまでに自動車で15分かかるとか、自動車なしの生活は想定されていません。で、将来の世代の環境を思い(うそ)、ものすごく燃費の良い自動車でこれから妻と1.5hかけて県都へ行くのですが、近所のスーパーマーケットの駐車場にエンジンをかけたままの自動車に座敷犬が乗っているのを見ると地球は終わったなと思うのです。

9/1/06

大変だ。『CrossOver Mac』が出ってしまった(うほっ)。『8月中にβ版を公開する』と発表していましたので毎日チェックしていました。これで元の「快適Mac講座」を名乗る素地ができました。ところがっ。MS Office 2000 Pro(win)で試してみると、日本語が文字化けしてエラー終了(とほほ)。

8/31/06

『mi』(OSX)と『ez-html』(winOS用)。このページはhtmlエディタとかいうものをこね回して書き直しました。

8/30/06

『Cell』の詳細が明らかになり破滅的に圧倒的な処理性能が次期PowerMacに搭載され、Wintel陣営を粉砕すると信じていた正にそのとき、AppleがTransitionを発表した。私が買うべきパソコンは、PPC-Macなのだろうか、Intel-Macなのだろうか、PS3なのだろうか？と立つべきHWを失った時期の心情を表したのが「PC難民」というお題でした。それから一年が過ぎ、晴れてMac mini(Core Solo)ユーザになった今、主HWはIntelに落ち着いたものの、今度はOSX 10.4が「使い物にならない」状態で、OS難民になっちまったようです。そして、懐かしい「ノ」をちりばめ、まじめに難民を検索した人にご迷惑とならないよう、配慮いたしました。

『ほそのぼそ道』さま作『燃費君』と『燃費君データコンバート用Excelマクロ(仮)』のおかげで、自動車の燃費記録の更新がずいぶん楽になりました。過去の記録を整理し、久々に最近の燃費を掲載しました。

私はこの自動車を新車で購入して以来、¥ 1000-ほどする「内気循環/外気導入切替レバー」を2回折りました。このような輸入車特有？のトラブルをネット上で散見します。また、燃料はハイオクですし、車検など正規ディーラの整備コストは国産ディーラのそれより高額に感じます。だから、燃費が同等の自動車があればすぐにでも買い替えます(てへ)。